

# 8 オールフレッシュ用パッケージエアコン

## 目次

### 8.1.1 オールフレッシュ用パッケージエアコン新冷媒<R407C>

(1)標準仕様	1077
(2)取付可能部品表	
(a)室内ユニット	1078
(b)室外ユニット	1078
(c)取付可能部品併用組込可能組み合わせ表	1078
(d)静風圧部品標準仕様表	1079
(e)静風圧部品形名・仕様表	1079
(3)静風圧部品選定表	1080
(4)外形寸法図	1090
(5)配線要領	1093
(6)電気配線図	1094
(7)能力線図	1101
(8)据付関係資料	
(a)据付工事	1105
(b)冷媒配管工事	1109
(c)雪・季節風に対する注意	1109
(9)重心位置	1109
(10)騒音	1110
(11)別売部品外形図	1112

### 8.1.2 オールフレッシュ用パッケージエアコン<PWT-F形>

(1)標準仕様	
(a)水冷式<PWT-F形>	1115
(b)水冷式ダクト専用形	1116
(2)取付可能部品表	
(a)水冷式<PWT-F形>	1117
(b)水冷式ダクト専用形	1117
(3)別売部品仕様表	
(I)別売部品仕様表	1118
(a)水冷式<PWT-J170G~J710G-F形>	1118
(イ)温水加熱器	1118
(ロ)蒸気加熱器	1118
(ハ)超音波式加湿器	1118
(ニ)蒸気スプレー式加湿器	1118
(ホ)ペーパーパン加湿器	1118
(ヘ)水スプレー式加湿器	1118
(ト)高圧スプレー式加湿器	1118
(チ)風路部品	1118
(リ)フィルドレンフィルタ	1118
(ヌ)予備エアフィルタ	1118
(ル)エリミネータ	1118
(ヲ)進相コンデンサ	1119
(ワ)進相コンデンサ取付アタッチメント	1119
(カ)簡易遠方操作	1119
(ヨ)リモートコントローラ	1119
(タ)遠方操作箱	1119
(レ)余熱排除回路部品	1119
(ソ)遠方表示回路部品	1119
(ツ)再起動遅延回路部品	1119
(ネ)圧力計	1119
(ナ)木台	1119
(ラ)サービス工具	1119
(ム)ガス検知器	1119

(b)水冷式<PWT-J850G~J1120G-F形>	1120
(イ)温水・蒸気加熱器	1120
(ロ)蒸気スプレー式加湿器	1120
(ハ)温水スプレー式加湿器	1120
(ニ)ペーパーパン加湿器	1120
(ホ)電熱器制御回路部品	1120
(ヘ)送風機残留運転回路	1120
(ト)制御回路部品	1120
(チ)エリミネータ	1121
(II)現地手配品推奨部品	1122
(a)高圧スプレー式加湿器	1122
(b)超音波式加湿器	1122
(III)静風圧部品表	1122
(IV)静風圧部品選定表	1125
(4)外形寸法図	
(a)水冷式<PWT-F形>	1126
(b)水冷式ダクト専用形	1128
(6)能力線図	
(a)水冷式<PWT-F形>	1134
(b)水冷式ダクト専用形	1139
(7)騒音	
(a)騒音値 (A特性値)	1141
(b)NC曲線 (グリルタイプ)	1141
(8)冷媒配管系統図	1141
(9)据付関係資料	
(a)据付工事	1142
(I)PWT-F形	1142
(II)PWT-F形<ダクト専用形>	1142
(b)冷媒配管工事	1144
(I)水冷式<PWT-F形>	1144
(II)水冷式ダクト専用形	1144
(c)重心位置	1144

# 8.1.1 オールフレッシュ用パッケージエアコン新冷媒<R407C>

## (1) 標準仕様

項目		セット形名	PFK -P167AW(M)-A-F	PFK -P265AW(M)(U)-A-F	PFK -P335AW(M)(U)-A-F	PFK -P530AW(M)(U)-A-F	PFK -P670AW(M)(U)-A-F	
標準仕様	冷房	定格冷房能力	kW	15.0/16.7	23.6/26.5	30.0/33.5	47.2/53.0	60.0/67.0
		定格消費電力	kW	4.91/5.99	7.50/9.58	8.90/11.30	14.77/18.84	18.54/22.76
		運転電流	A	20.5/21.3	27.4/30.8	31.1/36.2	53.2/60.8	67.2/73.3
		運転力率	%	69/81	79/90	83/90	80/90	80/90
		エネルギー消費効率		3.05/2.79	3.15/2.77	3.37/2.96	3.20/2.81	3.24/2.94
注1	始動電流	A	室内22.8/20.4、室外135/135	室内51/44、室外207/187	室内51/44、室外265/239	室内60/52、室外207/187(1台)	室内112/96、室外265/239(1台)	
室内ユニット	形名	-	PFK-P167AW(M)-A-F	PFK-P265AW(M)-A-F	PFK-P335AW(M)-A-F	PFK-P530AW(M)-A-F	PFK-P670AW(M)-A-F	
	定格電源	-	三相200V 50/60Hz					
	外形寸法(H×W×D)	mm	1748×760×485	1748×980×485	1748×1200×485	1899×1200×635	1899×1420×635	
	外装	-	鋼板粉体塗装 マンセル<5Y8/1>					
	熱交換器形式	-	クロスフィン					
	形式×個数	-	シロッコファン×1			シロッコファン×2		
	風量	m³/min	20	35	45	70	90	
	機外静圧	Pa	80 注2	90 注2	80 注2	110/180	110/190	
	電動機出力	kW	0.75	1.5		2.2	3.7	
	防音・断熱材	-	グラスウール					
	エアフィルタ	-	不織布					
	ドレン/配管サイズ	-	1B			1 1/4B		
	運転音(A特性値)	dB	40/40	47/47	48.5/48.5	48/50	50/53	
	製品質量	kg	110	126	150	239	262	
	室外ユニット	形名	-	PUK-P140AW-A	PUK-P224(U)AW-A	PUK-P280(U)AW-A	PUK-P224(U)AW-A×2台	PUK-P280(U)AW-A×2台
定格電源		-	三相200V 50/60Hz					
外形寸法(H×W×D)		mm	1260×1050×330(+20)	1715×990×840		(1715×990×840)×2台		
外装		-	鋼板粉体塗装 マンセル<5Y8/1>					
熱交換器形式		-	クロスフィン					
形式×個数		-	全密閉形					
始動方式/称呼出力		kW	直入/3.5	直入/5.5	直入/7.5	直入/5.5×2	直入/7.5×2	
1日の冷凍能力		法定トン	1.49/1.80	2.33/2.77	2.89/3.44	2.33×2/2.77×2	2.89×2/3.44×2	
クランクケースヒータ		kW	0.025	0.05		0.05×2		
形式×個数		-	プロペラファン					
風量		m³/min	85	185		185×2		
電動機出力		kW	0.07×2	0.38		0.38×2		
圧力計		-	-					
保護装置		圧力開閉器	-	高圧側3.24MPa、低圧側0.03MPa		高圧側3.3MPa、低圧側0MPa		
		圧縮機	-	CT検知		熱動過電流継電器		
	送風機	-	温度開閉器(内蔵)					
	運転音(A特性値)	AW	47/47	冷房56/56(台付・ド55/55)	冷房57/57(台付・ド55/55)	冷房56/56(台付・ド55/55)	冷房57/57(台付・ド55/55)	
	UAW	-	冷房56/56(台付・ド55/55)	冷房57/57(台付・ド55/55)	冷房56/56(台付・ド55/55)	冷房57/57(台付・ド55/55)		
製品質量	kg	180	215(AW), 230(UAW)	220(AW), 235(UAW)	215×2台(AW), 230×2台(UAW)	220×2台(AW), 235×2台(UAW)		
冷媒配管寸法	ガス配管	mm	φ19.05	φ25.4	φ28.6	φ25.4	φ28.6	
	液配管	mm	φ9.52	φ12.7				
冷媒種類/出荷時封入量	AW	kg	R407C×4.6	R407C×6.0	R407C×6.5	R407C×6.0×2	R407C×6.5×2	
	UAW			R407C×7.0	R407C×7.5	R407C×7.0×2	R407C×7.5×2	
制御方式	-	電子膨張弁						
冷凍機油(種類×封入量)	ℓ	MMMAWPOE×1.76	DAPHNE FVC68D×3.0(AW), 4.0(UAW)		DAPHNE FVC68D×3.0(AW), 4.0(UAW)×2			
電線太さ 室外/室内	-	5.5mm²/1.6mm	8mm²/1.6mm	14mm²/1.6mm	8mm²/1.6mm	14mm²/1.6mm		
内外接続線/リモコン電線太さ	mm²	1.25以上/0.3~1.25						
内外接続線長さ(最大)<室内-室外>	m	200						
冷媒配管長/高低差	m	実長50, 相当長62.5/40(AW)、実長100, 相当長125/40(UAW)						
アース線サイズ(室外/室内)	-	2.0mm²以上/1.6mm以上	3.5mm²以上/1.6mm以上	5.5mm²以上/1.6mm以上	3.5mm²以上/1.6mm以上	5.5mm²以上/1.6mm以上		
配線用遮断器	開閉器(室外/室内)	A	40/15	60/15		60(1台)/30		
	漏電遮断器(室外/室内)	A	40/15	60/15		60(1台)/30		
掲載頁	外形寸法図	頁	1090~1093					
	電気配線図	頁	1095~1099					
	能力線図	頁	1101~1104					

オールフレッシュ用  
パッケージエアコン

注1. 運転特性は次の条件で運転したときの数値です。  
冷房能力(室内側: 乾球温度33.0℃・湿球温度28.0℃、室外側: 乾球温度33.0℃)  
注2. 50Hz地区の場合、モータブリーダ(可変フリー)をφ140(出荷時はφ116.7)に調整した値を示します。  
注3. 値はJIS規格に準じて、反響音の少ない無音室で測定した数値です。  
実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響等の影響を受け、表示より大きくなるのが普通です。  
注4. 運転音は室外ユニット1台あたりの値です。

## (2)取付可能部品表

### (a)室内ユニット

		形 名	仕 様	適用機種
				オールフレッシュ PFAK-F 形
加熱器	蒸気・温水ヒータ	PAC-CG41XH	PFAK-F形：温水13.2kW・蒸気14.0kW	5HP
		PAC-CG42XH	PFAK-F形：温水21.2kW・蒸気23.6kW	8HP
		PAC-CG43XH	PFAK-F形：温水26.5kW・蒸気28.0kW	10HP
		PAC-CG44XH	PFAK-F形：温水42.5kW・蒸気45.0kW	16HP
		PAC-CG45XH	PFAK-F形：温水53.0kW・蒸気56.0kW	20HP
加湿器	蒸気スプレー式加湿器	PAC-CG03SS	5HP:3kg/h・8HP:4kg/h・10HP:5kg/h	5・8・10HP
		PAC-CG04SS	6.0kg/h	16HP
		PAC-CG05SS	8.0kg/h	20HP
	ペーパーパン	PAC-CG31VP	2.6kg/h	5HP
		PAC-CG33VP	5.2kg/h	8・10HP
		PAC-CG35VP	7.8kg/h	16・20HP
	水スプレー式加湿器（ヘッダー1本）	PAC-CG11WS	1.2kg/h	5HP
		PAC-CG12WS	1.6kg/h	8HP
		PAC-CG13WS	2.1kg/h	10HP
		PAC-CG14WS	3.2kg/h	16HP
		PAC-CG15WS	4.8kg/h	20HP
		PAC-CG21WS	2.4kg/h	5HP
	水スプレー式加湿器（ヘッダー2本）	PAC-CG22WS	3.2kg/h	8HP
		PAC-CG23WS	4.3kg/h	10HP
		PAC-CG24WS	6.4kg/h	16HP
PAC-CG25WS		9.6kg/h	20HP	
PAC-CJ71FF		PS-400	5HP	
エアフィルタ類		フィレドンフィルタ(PS-400)	PAC-CJ72FF	PS-400
	PAC-CJ73FF		PS-400	10HP
	PAC-CJ74FF		PS-400	16HP
	PAC-CJ75FF		PS-400	20HP
	予備フィルタ		PAC-CF81YF	
PAC-CF82YF			8HP	
PAC-CF83YF			10HP	
PAC-CF84YF			16HP	
PAC-CF85YF			20HP	
電気部品	遠方操作キット	PAC-CG91RCK		5～20HP
	MAリモコン	PAR-20MA		5～20HP
	サーミスタ取付位置変更部品	PAC-SF40TS		5～20HP
	進相コンデンサ	PAC-CP31～36CA		5～20HP
	進相コンデンサ取付アタッチメント	PAC-CG85CAA		5～20HP
その他	右配管部品（加湿器組込み用）	PAC-CF54RPH		16HP
		PAC-CF55RPH		20HP
	木 台	PAC-CQ30MD		5HP
		PAC-CQ31MD		8HP
		PAC-CQ32MD		10HP
		PAC-CG94MD		16HP
		PAC-CG95MD		20HP
		PAC-CQ04SK		5～20HP
	サービス工具			

### (b)室外ユニット

		形 名	仕 様	適用機種
進相コンデンサ	50Hz	PAC-SF03CA		5HP
	60Hz	PAC-SF02CA		5HP
エアガイド		PAC-SF09AG		5HP
吹出ガイド		PAC-SF08SG		5HP
防雪ダクト		PAC-SF14BD		5HP
ドレンソケット		PAC-SF37DS		5HP
集中排水ドレンパン		PAC-SF17DP		5HP
安全ネット		PAC-SF27AN		5HP
圧力計		PAC-KA63PG		8・10HP
防雪フード 吸込側		PAC-KB72TD		8・10HP
防雪フード 吹出側		PAC-KB82SD		8・10HP
集中排水キット		PAC-KB92DPT		8・10HP
後配管キット		PAC-KB62RPT		8・10HP
進相コンデンサ	50Hz	PAC-620CA		8HP
		PAC-622CA		10HP
	60Hz	PAC-621CA		8HP
		PAC-623CA		10HP

※室内ユニットの別売部品の仕様値等は変更になる場合があります。機種選定の際に別途お問い合わせ願います。

※後配管キットと進相コンデンサの併用はできません。

### (c)取付可能部品併用組込可能組合せ表

オールフレッシュ冷房専用PFK-F（室内PFAK-F、室外PUK）

ヒータ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	備考
① 温水・蒸気ヒータ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
② 大容量電気ヒータ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	受注対応
③ 補助ヒータ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	組込みできません
④ 透湿膜加湿器	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
⑤ 蒸気スプレー加湿器	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	冷房加湿はできません。※2ヒータと同時組込みが必要です。
⑥ 水スプレー加湿器	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
⑦ ペーパーパン加湿器	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
⑧ 吸込ダクトフランジ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	標準組込み済
⑨ ブレナム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	組込みできません
⑩ 外気取入フランジ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
⑪ フィレドンフィルタ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
⑫ 中、高性能フィルタ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	組込みできません
⑬ HEPAフィルタユニット	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
⑭ 右配管部品(加湿器組込)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16,20馬力のみ※1

ご注意 ※1. 16、20馬力ユニットに⑤、⑥、⑦加湿器を組込んで右配管接続する場合は、⑩右配管部品が必要です。

※2. 加湿器は暖房運転で加湿してください。冷房運転での加湿はできません。

※3. 上表に記載の無い別売部品については、基本的には併用組込み可能です。

(d) 静風圧部品標準仕様表

室内ユニット形名	電動機	送風機プーリ	Vベルト	電動機プーリ	51F 設定値 (過電流継電器)
PFAK-P167AW(M)-A-F	0.75kW 全閉外扇形	A224-20	A53	A可変19	3.6A
PFAK-P265AW(M)-A-F	1.5kW 全閉外扇形	A280-20	A59	A可変24	6.5A
PFAK-P335AW(M)-A-F	1.5kW 全閉外扇形	A280-20	A59	A可変24	6.5A
PFAK-P530AW(M)-A-F	2.2kW 全閉外扇形	2B315-24	B67	2B118-28	9.0A
PFAK-P670AW(M)-A-F	3.7kW 全閉外扇形	2B315-28	B66	2B125-28	15A

(e) 静風圧部品形名・仕様表

PFAK-P167・265・335AW(M)-A-F

部品形名	部品名	プーリ	個数	ベルト	個数	電磁開閉器	個数	電動機	個数	備考
PAC-CT01SP	送風機プーリセット	A90-20	1							
PAC-CT02SP	//	A118-20	1							
PAC-CT03SP	//	A132-20	1							
PAC-CT04SP	//	A150-20	1	注3						
PAC-CT05SP	//	A180-20	1							
PAC-CT06SP	//	A224-20	1							
PAC-CT07SP	//	A250-20	1							
PAC-CT08SP	//	A280-20	1							
PAC-CT09MP	電動機プーリセット	A可変-24	1			PAK-6JTH(6A)	1			標準仕様変更銘板付 (1.5kWモータ用)
PAC-CT10MP	//	A可変-28	1			PAK-6JTH(9A)	1			標準仕様変更銘板付 (2.2kWモータ用)
PAC-CJ63MR	電動機							SF-JR1.5kW-4P	1	
PAC-CJ14VB	Vベルト			A44	1					
PAC-CJ15VB	//			A45	1					
PAC-CJ16VB	//			A46	1					
PAC-CJ17VB	//			A47	1					
PAC-CJ49VB	//			A49	1					
PAC-CJ50VB	//			A50	1					
PAC-CJ51VB	//			A51	1					
PAC-CJ52VB	//			A52	1					
PAC-CJ53VB	//			A53	1					
PAC-CJ54VB	//			A54	1					
PAC-CJ55VB	//			A55	1					
PAC-CJ56VB	//			A56	1					
PAC-CJ58VB	//			A58	1					
PAC-CJ59VB	//			A59	1					

注1 プーリ仕様 A 150 - 20  
A形ベルト1本掛 PCφ ボス内径

注2 ベルト仕様 A 34  
A形ベルト ベルト長さ34インチ

注3 PAC-CT01~08SPに付属のベルトは使用できません。  
別途技術資料(静風圧部品選定表)を参照の上、上記PAC-CJ49~59VBをお買い求めください。

PFAK-P530・670AW(M)-A-F

別売形名	部品名	部品内容								備考		
		①送風機プーリ	個数	②ベルト	個数	③電動機プーリ	個数	④電磁開閉器	個数		⑤電動機	個数
PAC-CH41SP	送風機プーリセット	2B170-24	1	B58	2							
PAC-CH42SP	送風機プーリセット	2B180-24	1	B59	2							
PAC-CH43SP	送風機プーリセット	2B190-24	1	B59, B60	各2							
PAC-CH44SP	送風機プーリセット	2B200-24	1	B60	2							
PAC-CH45SP	送風機プーリセット	2B212-24	1	B61	2							
PAC-CH46SP	送風機プーリセット	2B224-24	1	B62	2							
PAC-CH47SP	送風機プーリセット	2B236-24	1	B62	2							
PAC-CH39SP	送風機プーリセット	2B250-24	1	B63, B64	各2							
PAC-CH48SP	送風機プーリセット	2B280-24	1	B65, B66	各2							
PAC-CH49SP	送風機プーリセット	2B300-24	1	B66	2							
PAC-CH50SP	送風機プーリセット	2B315-24	1	B67	2							
PAC-CH51SP	送風機プーリセット	2B355-24	1	B70	2							
PAC-CH52SP	送風機プーリセット	2B165-28	1	B56	2							
PAC-CH53SP	送風機プーリセット	2B170-28	1	B56	2							
PAC-CH54SP	送風機プーリセット	2B180-28	1	B57	2							
PAC-CH55SP	送風機プーリセット	2B200-28	1	B59, B60	各2							
PAC-CH56SP	送風機プーリセット	2B212-28	1	B59, B60	各2							
PAC-CH57SP	送風機プーリセット	2B224-28	1	B60, B61	各2							
PAC-CH58SP	送風機プーリセット	2B236-28	1	B61, B62	各2							
PAC-CH40SP	送風機プーリセット	2B250-28	1	B62, B63	各2							
PAC-CH59SP	送風機プーリセット	2B280-28	1	B64, B65	各2							
PAC-CH60SP	送風機プーリセット	2B300-28	1	B65, B66	各2							
PAC-CH61SP	送風機プーリセット	2B315-28	1	B66	2							
PAC-CH62MP	電動機プーリセット					2B125-28	1					
PAC-CH63MP	電動機プーリセット			B63, B65	各2	2B145-28	1	PAK-21JTH(15A)	1			標準仕様変更銘板付 (3.7kW用)
PAC-CH64MP	電動機プーリセット			B64, B66	各2	2B155-28	1	PAK-21JTH(15A)	1			
PAC-CH65MP	電動機プーリセット					2B145-38	1	PAK-26JTH(22.5A)	1			
PAC-CH66MP	電動機プーリセット					2B155-38	1	PAK-26JTH(22.5A)	1			標準仕様変更銘板付 (5.5kW用)
PAC-CH67MP	電動機プーリセット			B63, B65	各2	2B165-38	1	PAK-26JTH(22.5A)	1			
PAC-CJ65MR	電動機									SF-JR3.7kW-4P	1	
PAC-CJ66MR	電動機									SF-JR5.5kW-4P	1	

汎用・中温用・産業用エアコン  
(オールフレッシュ用)



(3) 静風圧部品選定表

PFAK-P167AW(M)-A-F

50Hz

全静圧 (Pa)	風量 m <sup>3</sup> /min			
	15	20	25	28
100	標準			
	PAC-CT06SP (φ224)			
	PAC-CJ53VB (A53)			
	標準			
	3	2・3/4	2・1/4	2
150	標準			
	PAC-CT05SP (φ180)			
	PAC-CJ51VB (A51)			
	標準			
	3・1/4	3・1/4	3	3
200	標準			
	1			
	PAC-CT05SP (φ180)			
	PAC-CJ51VB (A51)			
	3/4	3/4	1/2	1/4
250	標準			
	PAC-CT03SP (φ132)			
	PAC-CJ17VB (A47)			
	標準			
	3・3/4	3・3/4	3・3/4	3・3/4
300	標準			
	PAC-CT03SP (φ132)			
	PAC-CJ17VB (A47)			
	標準			
	1・3/4	1・3/4	1・1/2	1・1/2
350	標準			
	PAC-CT02SP (φ118)			
	PAC-CJ17VB (A47)			
	標準			
	1・3/4	1・3/4	1・3/4	1・3/4
400	標準			
	PAC-CT02SP (φ118)			
	PAC-CJ17VB (A47)			
	標準			
	1/4	1/4	1/4	1/4
450	標準			
	PAC-CT01SP (φ90)			
	PAC-CJ15VB (A45)			
	標準			
	4	4	4	4
500	標準			
	PAC-CT01SP (φ90)			
	PAC-CJ15VB (A45)			
	標準			
	3・1/4	3・1/4	3・1/4	3・1/4
550	標準			
	PAC-CT01SP (φ90)			
	PAC-CJ15VB (A45)			
	標準			
	2・1/2	2・1/2	2・1/2	2・1/2
600	標準			
	PAC-CT01SP (φ90)			
	PAC-CJ15VB (A45)			
	標準			
	1・1/2	1・1/2	1・1/2	
650	標準			
	PAC-CT01SP (φ90)			
	PAC-CJ15VB (A45)			
	標準			
	1	1		

- 注1. 出荷時の電動機プーリPCφ (可変プーリ) は77.9 (スライドピース回転数 4・1/2) 送風機プーリPCφは224となっています。
2. 機内抵抗はフィレドフィルタ、温水・蒸気ヒータなど別売部品を組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。  
※機種により組込可能別売部品は異なります。
3. プーリ別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機プーリのPCφの調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗40Pa 機外静圧85Pa 風量20m<sup>3</sup>/minです。  
※. 50Hz地区の場合、上記標準仕様にてご使用される時は、電動機プーリPCφ (可変プーリ) を93.9 (スライドピース回転数 1・1/4) にしてください。

表中

1段目	電動機形名
2段目	送風機プーリ形名(PCφ)
3段目	使用ベルト形名(サイズ)
4段目	電動機プーリ形名
5段目	スライドピース回転数

PFAK-P167AW(M)-A-F

60Hz

全静圧 (Pa)	風量 m <sup>3</sup> /min			
	15	20	25	28
100	標準			
	PAC-CT07SP (φ250)			
	PAC-CJ55VB (A55)			
	標準			
	4・1/2	4	3・1/2	3・1/4
150	標準			
	PAC-CT06SP (φ224)			
	PAC-CJ53VB (A53)			
	標準			
	2・3/4	2・3/4	2・1/2	2・1/2
200	標準			
	PAC-CT05SP (φ180)			
	PAC-CJ50VB (A50)			
	標準			
	4	4	4	3・3/4
250	標準			
	PAC-CT05SP (φ180)			
	PAC-CJ50VB (A50)			
	標準			
	1・1/2	1・1/2	1・1/2	1・1/2
300	標準			
	PAC-CT04SP (φ150)			
	PAC-CJ49VB (A49)			
	標準			
	2・3/4	2・3/4	2・3/4	2・3/4
350	標準			
	PAC-CT04SP (φ150)			
	PAC-CJ49VB (A49)			
	標準			
	3/4	3/4	3/4	3/4
400	標準			
	PAC-CT03SP (φ132)			
	PAC-CJ49VB (A49)			
	標準			
	1・3/4	1・3/4	1・3/4	1・3/4
450	標準			
	PAC-CT03SP (φ132)			
	PAC-CJ49VB (A49)			
	標準			
	1/2	1/2	1/2	1/2
500	標準			
	PAC-CT02SP (φ118)			
	PAC-CJ17VB (A47)			
	標準			
	1・3/4	1・3/4	1・3/4	1・3/4
550	標準			
	PAC-CT01SP (φ118)			
	PAC-CJ15VB (A47)			
	標準			
	3/4	3/4	3/4	3/4
600	標準			
	PAC-CT02SP (φ118)			
	PAC-CJ17VB (A47)			
	標準			
	0	0	0	
650	標準			
	PAC-CT01SP (φ90)			
	PAC-CJ14VB (A44)			
	標準			
	4・1/4	4・1/4		

- 注1. 出荷時の電動機P-リPCφ (可変P-リ) は77.9 (スライドピース回転数 4・1/2) 送風機P-リPCφは224となっています。
2. 機内抵抗はフィレドフィルタ、温水・蒸気ヒータなど別売部品を組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。  
※機種により組込可能別売部品は異なります。
3. プーリ別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機プーリのPCφの調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル (熱動過電流継電器) の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗40Pa 機外静圧85Pa 風量20m<sup>3</sup>/minです。

表中

1段目	電動機形名
2段目	送風機プーリ形名(PCφ)
3段目	使用ベルト形名(サイズ)
4段目	電動機プーリ形名
5段目	スライドピース回転数

汎用・中温用・産業用エアコン  
(オールフレッシュユ用)

全静圧 (Pa)	風量 m <sup>3</sup> /min			
	28	30	35	40
100	標準			
	標準 (φ280)			
	標準 (A59)			
	標準 3・3/4			
150	標準			
	PAC-CT07SP (φ250)			
	PAC-CJ58VB (A58)			
	標準 2			
200	標準			
	PAC-CT06SP (φ224)			
	PAC-CJ56VB (A56)			
	標準 1			
250	標準			
	PAC-CT05SP (φ180)			
	PAC-CJ52VB (A52)			
	標準 4			
300	標準			
	PAC-CT05SP (φ180)			
	PAC-CJ53VB (A53)			
	標準 2			
350	標準			
	PAC-CT05SP (φ180)			
	PAC-CJ53VB (A53)			
	標準 0			
400	標準			
	PAC-CT04SP (φ150)			
	PAC-CJ51VB (A51)			
	標準 3			
450	標準			
	PAC-CT04SP (φ150)			
	PAC-CJ51VB (A51)			
	標準 1・1/4			
500	標準			
	PAC-CT04SP (φ150)			
	PAC-CJ52VB (A52)			
	標準 0			
550	標準			
	PAC-CT03SP (φ132)			
	PAC-CJ50VB (A50)			
	標準 2・1/4			
600	標準			
	PAC-CT03SP (φ132)			
	PAC-CJ50VB (A50)			
	標準 1			
650	標準			
	PAC-CT02SP (φ118)			
	PAC-CJ49VB (A49)			
	標準 3			
700	標準			
	PAC-CT02SP (φ118)			
	PAC-CJ49VB (A49)			
	標準 2			

- 注1. 出荷時の電動機 $\gamma$ -リPCφ (可変 $\gamma$ -リ) は116.7 (スライドピース回転数 4・3/4) 送風機 $\gamma$ -リPCφは280となっています。
2. 機内抵抗はフィルドフィルタ、温水・蒸気ヒータなど別売部品を組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。  
該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
3.  $\gamma$ -リ別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機 $\gamma$ -リPCφの調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗55Pa 機外静圧90Pa 風量35m<sup>3</sup>/minです。
- ※. 50Hz地区の場合、上記標準仕様にてご使用される時は、電動機 $\gamma$ -リPCφ (可変 $\gamma$ -リ) を140 (スライドピース回転数 0) にしてください。

表中

1段目	電動機形名
2段目	送風機 $\gamma$ -リ形名(PCφ)
3段目	使用ベルト形名(サイズ)
4段目	電動機 $\gamma$ -リ形名
5段目	スライドピース回転数

PFAK-P265AW(M)-A-F

60Hz

全静圧 (Pa)	風量 m <sup>3</sup> /min				
	28	30	35	40	42
100	標準				
150	標準 (φ280)				
	標準 (A 5 9)				
	標準				
	4				
200	標準				
	標準 (φ280)				
	標準 (A 5 9)				
	標準				
250	0		1/4		
	標準				
	PAC-CT07SP (φ250)				
	PAC-CJ58VB (A 5 8)				
300	1/2		3/4		
	標準				
	PAC-CT06SP (φ224)				
	PAC-CJ56VB (A 5 6)				
350	1・1/4		1・1/2		
	標準				
	PAC-CT05SP (φ180)				
	PAC-CJ52VB (A 5 2)				
400	3・1/4		3・1/2		
	標準				
	PAC-CT05SP (φ180)				
	PAC-CJ52VB (A 5 2)				
450	1・1/2		1・3/4		
	標準				
	PAC-CT05SP (φ180)				
	PAC-CJ53VB (A 5 3)				
500	0		1/4		
	標準				
	PAC-CT05SP (φ180)				
	PAC-CJ53VB (A 5 3)				
550	3・3/4		4		
	標準				
	PAC-CT04SP (φ150)				
	PAC-CJ50VB (A 5 0)				
600	2・1/2		2・3/4		
	標準				
	PAC-CT04SP (φ150)				
	PAC-CJ51VB (A 5 1)				
650	1・1/2		1・3/4		
	標準				
	PAC-CT04SP (φ150)				
	PAC-CJ51VB (A 5 1)				
700	1・1/2		1・3/4		
	標準				
	PAC-CT03SP (φ132)				
	PAC-CJ49VB (A 4 9)				
	標準				
	4				

- 注1. 出荷時の電動機ア-リPCφ(可変ア-リ)は116.7(スライドピース回転数 4・3/4)送風機プーリPCφは280となっています。
2. 機内抵抗はフィードンフィルタ、温水・蒸気ヒータなど別売部品を組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
3. プーリ別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機プーリのPCφの調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗55Pa 機外静90Pa 風量35m<sup>3</sup>/minです。

表中

1段目	電動機形名
2段目	送風機プーリ形名(PCφ)
3段目	使用ベルト形名(サイズ)
4段目	電動機プーリ形名
5段目	スライドピース回転数

汎用・中温用・産業用エアコン  
(オールフレッシュ用)

全静圧 (Pa)	風量 m <sup>3</sup> /min				
	36	40	45	50	54
150	標準				
	標準 (φ280)				
	標準 (A 5 9)				
	標準				
200	1				
	標準				
	PAC-CT06SP (φ224)				
	PAC-CJ56VB (A 5 6)				
250	標準				
	3				
	標準				
	PAC-CT05SP (φ180)				
300	PAC-CJ52VB (A 5 2)				
	標準				
	4・3/4				
	標準				
350	PAC-CT05SP (φ180)				
	PAC-CJ53VB (A 5 3)				
	標準				
	2・1/4				
400	標準				
	PAC-CT04SP (φ150)				
	PAC-CJ50VB (A 5 0)				
	標準				
450	4・3/4				
	標準				
	PAC-CT04SP (φ150)				
	PAC-CJ51VB (A 5 1)				
500	標準				
	3				
	標準				
	PAC-CT03SP (φ132)				
550	PAC-CJ49VB (A 4 9)				
	標準				
	4・3/4				
	標準				
600	標準				
	PAC-CT03SP (φ132)				
	PAC-CJ50VB (A 5 0)				
	標準				
650	3・1/2				
	標準				
	PAC-CT03SP (φ132)				
	PAC-CJ50VB (A 5 0)				
標準					
2・1/4					
標準					
PAC-CT03SP (φ132)					
PAC-CJ50VB (A 5 0)					
標準					
3/4					
標準					
PAC-CT02SP (φ118)					
PAC-CJ49VB (A 4 9)					
標準					
2・3/4					

注1. 出荷時の電動機プーリPCφ(可変プーリ)は116.7(スライドピース回転数 4・3/4)送風機プーリPCφは280となっています。 表中

2. 機内抵抗はフィルドフィルタ、温水・蒸気ヒータなど別売部品を組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。

該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。

3. プーリ別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手記・使用してください。

4. 電動機プーリのPCφの調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。

5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。

6. 標準仕様は機内抵抗85Pa 機外静圧80Pa 風量45m<sup>3</sup>/minです。

※. 50Hz地区の場合、上記標準仕様にてご使用される時は、電動機プーリPCφ(可変プーリ)を140(スライドピース回転数 0)にしてください。

1 段目	電動機形名
2 段目	送風機プーリ形名(PCφ)
3 段目	使用ベルト形名(サイズ)
4 段目	電動機プーリ形名
5 段目	スライドピース回転数

PFAK-P335AW(M)-A-F

60Hz

全静圧 (Pa)	風量 m <sup>3</sup> /min				
	36	40	45	50	54
150	標準				
	標準 (φ280)				
	標準 (A 5 9)				
	標準 4・3/4				
200	標準				
	標準 (φ280)				
	標準 (A 5 9)				
	標準 2				
250	標準				
	PAC-CT07SP (φ250)				
	PAC-CJ58VB (A 5 8)				
	標準 1・1/2				
300	標準				
	PAC-CT06SP (φ224)				
	PAC-CJ56VB (A 5 6)				
	標準 1・1/2				
350	標準				
	PAC-CT05SP (φ180)				
	PAC-CJ52VB (A 5 2)				
	標準 4・3/4				
400	標準				
	PAC-CT05SP (φ180)				
	PAC-CJ53VB (A 5 3)				
	標準 3・1/4				
450	標準				
	PAC-CT05SP (φ180)				
	PAC-CJ53VB (A 5 3)				
	標準 1・3/4				
500	標準				
	PAC-CT05SP (φ180)				
	PAC-CJ54VB (A 5 4)				
	標準 1/4				
550	標準				
	PAC-CT04SP (φ150)				
	PAC-CJ51VB (A 5 1)				
	標準 3・3/4				
600	標準				
	PAC-CT04SP (φ150)				
	PAC-CJ51VB (A 5 1)				
	標準 2・1/4				
650	標準				
	PAC-CT04SP (φ150)				
	PAC-CJ51VB (A 5 1)				
	標準 1・1/4				

- 注1. 出荷時の電動機プーリPCφ (可変プーリ) は116.7 (スライドピース回転数 4・3/4) 送風機プーリPCφは280となっています。 表中
2. 機内抵抗はフィルドフィルタ、温水・蒸気ヒータなど別売部品を組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
3. プーリ別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機プーリのPCφの調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル (熱動過電流継電器) の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗85Pa 機外静圧80Pa 風量45m<sup>3</sup>/minです。

1段目	電動機形名
2段目	送風機プーリ形名(PCφ)
3段目	使用ベルト形名(サイズ)
4段目	電動機プーリ形名
5段目	スライドピース回転数

汎用・中温用・産業用エアコン  
(オールフレッシュ用)

PFAK-P530AW(M)-A-F

50Hz

全静圧 (Pa)	風量 m <sup>3</sup> /min						
	56	60	65	70	75	80	84
100Pa	標準(φ118)						
	PAC-CH51SP(φ355)						
	B70						
	標準(2.2kW)						
150Pa	標準(φ118)						
	標準(φ315)						
	B67 (標準)						
	標準(2.2kW)						
200Pa	標準(φ118)						
	PAC-CH48SP(φ280)						
	B65						
	標準(2.2kW)						
250Pa	標準(φ118)						
	PAC-CH47SP(φ236)						
	B62						
	標準(2.2kW)						
300Pa	標準(φ118)						
	PAC-CH46SP(φ224)						
	B61						
	標準(2.2kW)						
350Pa	標準(φ118)						
	PAC-CH44SP(φ200)						
	B60						
	標準(2.2kW)						
400Pa	標準(φ118)						
	PAC-CH43SP(φ190)						
	B59						
	標準(2.2kW)						
450Pa	標準(φ118)						
	PAC-CH42SP(φ180)						
	B58						
	標準(2.2kW)						
500Pa	標準(φ118)						
	PAC-CH41SP(φ170)						
	B58						
	標準(2.2kW)						
550Pa	PAC-CH62MP(φ125)						
	PAC-CH42SP(φ180)						
	B58						
	標準(2.2kW)						
600Pa	PAC-CH62MP(φ125)						
	PAC-CH41SP(φ170)						
	B58						
	標準(2.2kW)						

- 注1. 標準仕様 電動機プーリ: 2B118-28 送風機プーリ: 2B315-24 ベルトサイズ: B67  
 サーマル: PAK-6JT(9A) 電動機形名: SF-JR2.2kW  
 2. 表中のプーリ径はPCφを記載しています。外径はPCφより11mm増加します。  
 3. 標準時は機内抵抗: 40Pa 機外静圧: 110Pa 風量: 70m<sup>3</sup>/minです。

表中

1段目	電動機プーリ形名(PCφ)
2段目	送風機プーリ形名(PCφ)
3段目	ベルトサイズ
4段目	電動機形名(容量)

PFAK-P530AW(M)-A-F

60Hz

全静圧 (Pa)	風量 m <sup>3</sup> /min						
	56	60	65	70	75	80	84
100Pa							
150Pa							
150Pa	標準(φ118)						
	PAC-CH51SP(φ355)						
	B70						
200Pa	標準(2.2kW)						
	標準(φ118)						
	標準(φ315)						
200Pa	B67 (標準)						
	標準(2.2kW)						
	標準(φ118)						
250Pa	PAC-CH49SP(φ300)						
	B66						
	標準(2.2kW)						
300Pa	PAC-CH62MP(φ125)						
	PAC-CH48SP(φ280)						
	B65						
300Pa	標準(2.2kW)						
	標準(φ118)						
	PAC-CH39SP(φ250)						
350Pa	B63						
	標準(2.2kW)						
	標準(φ118)						
400Pa	PAC-CH47SP(φ236)						
	B62						
	標準(2.2kW)						
450Pa	PAC-CH62MP(φ125)						
	PAC-CH47SP(φ236)						
	B62						
450Pa	標準(2.2kW)						
	PAC-CH62MP(φ125)						
	PAC-CH46SP(φ224)						
500Pa	B61						
	標準(2.2kW)						
	標準(φ118)						
550Pa	PAC-CH44SP(φ200)						
	B60						
	標準(2.2kW)						
600Pa	標準(φ118)						
	PAC-CH43SP(φ190)						
	B59						
600Pa	標準(2.2kW)						

- 注1. 標準仕様 電動機プーリ：2B118-28 送風機プーリ：2B315-24 ベルトサイズ：B67  
 サーマル：PAK-6JT(9A) 電動機形名：SF-JR2.2kW  
 2. 表中のプーリ径はPCφを記載しています。外径はPCφより11mm増加します。  
 3. 標準時は機内抵抗：40Pa 機外静圧：180Pa 風量：70m<sup>3</sup>/minです。

表中

1段目	電動機プーリ形名(PCφ)
2段目	送風機プーリ形名(PCφ)
3段目	ベルトサイズ
4段目	電動機形名(容量)

汎用・中温用・産業用エアコン  
(オールフレッシュ用)



PFAK-P670AW(M)-A-F

50Hz

全静圧 (Pa)	風量 m <sup>3</sup> /min				
	72	80	90	100	108
100Pa	100Pa				
150Pa					
150Pa	標準(φ125)				
	標準(φ315)				
	B66 (標準)				
	標準(3.7kW)				
200Pa	標準(φ125)				
	PAC-CH59SP(φ280)				
	B65				
	標準(3.7kW)				
250Pa	PAC-CH63MP(φ145)				
	PAC-CH60SP(φ300)				
	B66				
	標準(3.7kW)				
300Pa	PAC-CH63MP(φ145)				
	PAC-CH59SP(φ280)				
	B65				
	標準(3.7kW)				
350Pa	PAC-CH63MP(φ145)				
	PAC-CH40SP(φ250)				
	B63				
	標準(3.7kW)				
400Pa	PAC-CH63MP(φ145)				
	PAC-CH58SP(φ236)				
	B61				
	標準(3.7kW)				
450Pa	PAC-CH63MP(φ145)				
	PAC-CH57SP(φ224)				
	B61				
	標準(3.7kW)				
500Pa	PAC-CH63MP(φ145)				
	PAC-CH56SP(φ212)				
	B60				
	標準(3.7kW)				
550Pa	標準(φ125)				
	PAC-CH54SP(φ180)				
	B57				
	標準(3.7kW)				
600Pa	標準(φ125)				
	PAC-CH53SP(φ170)				
	B56				
	標準(3.7kW)				
650Pa	標準(φ125)				
	PAC-CH52SP(φ165)				
	B56				
	標準(3.7kW)				

表中

- 注1. 標準仕様 電動機プーリ: 2B125-28 送風機プーリ: 2B315-28 ベルトサイズ: B66  
 サーマル: PAK-6JT(9A) 電動機形名: SF-JR3.7kW  
 2. 表中のプーリ径はPCφを記載しています。外径はPCφより11mm増加します。  
 3. 標準時は機内抵抗: 50Pa 機外静圧: 110Pa 風量: 90m<sup>3</sup>/minです。

1段目	電動機プーリ形名(PCφ)
2段目	送風機プーリ形名(PCφ)
3段目	ベルトサイズ
4段目	電動機形名(容量)

PFAK-P670AW(M)-A-F

60Hz

全静圧 (Pa)	風量 m <sup>3</sup> /min				
	72	80	90	100	108
100Pa	[Crossed out]				
150Pa					
200Pa	[Crossed out]				
250Pa					
250Pa	標準(φ125)				
	標準(φ315)				
	B66 (標準)				
	標準(3.7kW)				
300Pa	標準(φ125)				
	PAC-CH60SP(φ300)				
	B66				
	標準(3.7kW)				
350Pa	標準(φ125)				
	PAC-CH59SP(φ280)				
	B65				
	標準(3.7kW)				
400Pa	標準(φ125)				
	PAC-CH40SP(φ250)				
	B63				
	標準(3.7kW)				
450Pa	標準(φ125)				
	PAC-CH58SP(φ236)				
	B61				
	標準(3.7kW)				
500Pa	標準(φ125)				
	PAC-CH57SP(φ224)				
	B61				
	標準(3.7kW)				
550Pa	標準(φ125)				
	PAC-CH56SP(φ212)				
	B60				
	標準(3.7kW)				
600Pa	PAC-CH63MP(φ145)				
	PAC-CH58SP(φ236)				
	B61				
	標準(3.7kW)				
650Pa	標準(φ125)				
	PAC-CH55SP(φ200)				
	B60				
	標準(3.7kW)				

表中

- 注1. 標準仕様 電動機プーリ: 2B125-28 送風機プーリ: 2B315-28 ベルトサイズ: B66  
 サーマル: PAK-21JT(15A) 電動機形名: SF-JR3.7kW  
 2. 表中のプーリ径はPCφを記載しています。外径はPCφより11mm増加します。  
 3. 標準時は機内抵抗: 50Pa 機外静圧: 190Pa 風量: 90m<sup>3</sup>/minです。

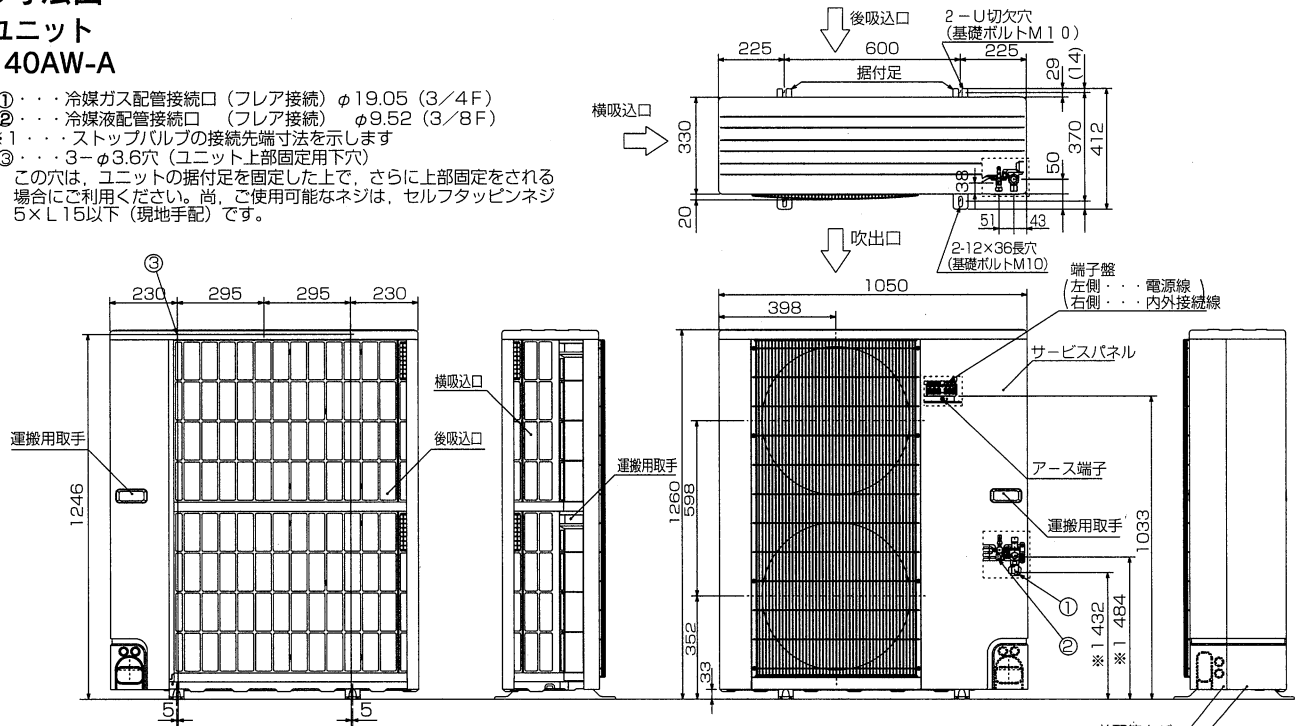
1段目	電動機プーリ形名(PCφ)
2段目	送風機プーリ形名(PCφ)
3段目	ベルトサイズ
4段目	電動機形名(容量)

汎用・中温用・産業用エアコン  
 (オールフレッシュ用)

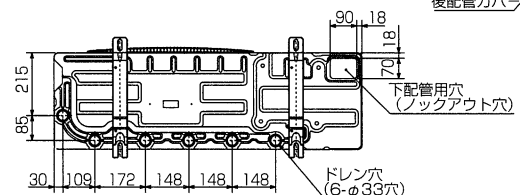
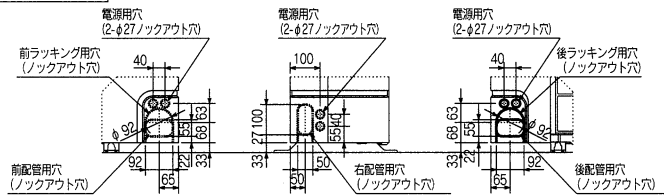
# (4)外形寸法図

## (a)室外ユニット PUK-P140AW-A

記号説明 | ①・・・冷媒ガス配管接続口 (フレア接続)  $\phi 19.05$  (3/4F)  
 ②・・・冷媒液配管接続口 (フレア接続)  $\phi 9.52$  (3/8F)  
 ※1・・・ストップバルブの接続先端寸法を示します  
 ③・・・3- $\phi 3.6$ 穴 (ユニット上部固定用下穴)  
 この穴は、ユニットの据付足を固定した上で、さらに上部固定をされる場合にご利用ください。尚、ご使用可能なネジは、セルフタッピングネジ 5×L15以下 (現地手配) です。



### 配管ノックアウト穴詳細 (前面)



## PUK-P224・280(U)AW-A

### <付属品>

- ・冷媒<ガス>接続管・・・1個 (ユニットに取付済)
- ・接続管用パッキン・・・1個 (ボールバルブ付近に取付)
- ・電線管取付板 (本体同色塗装)  $\phi 40$ ,  $\phi 33$ ・・・各1個
- ・タッピングネジ 4×L12・・・4本

注1. 下配管取出しをする場合は 底面配管通し穴を基礎で ぶさかぬようにしてください

接続管 P224形:  $\phi 25.4$ <ロー付> P280形:  $\phi 28.6$ <ロー付>

注1

ノックアウト穴 底面配管通し穴

ノックアウト穴 底面配管通し穴

ノックアウト穴 底面配管通し穴

ノックアウト穴 底面配管通し穴

ノックアウト穴 底面配管通し穴

ノックアウト穴 底面配管通し穴

ノックアウト穴 底面配管通し穴

ノックアウト穴 底面配管通し穴

ノックアウト穴 底面配管通し穴

ノックアウト穴 底面配管通し穴

ノックアウト穴 底面配管通し穴

ノックアウト穴 底面配管通し穴

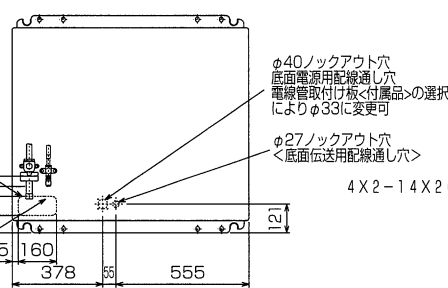
ノックアウト穴 底面配管通し穴

ノックアウト穴 底面配管通し穴

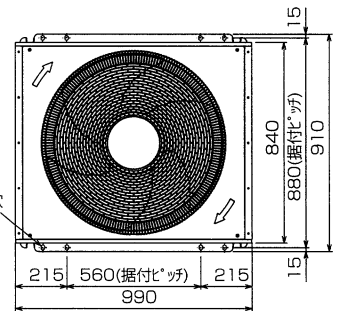
ノックアウト穴 底面配管通し穴

ノックアウト穴 底面配管通し穴

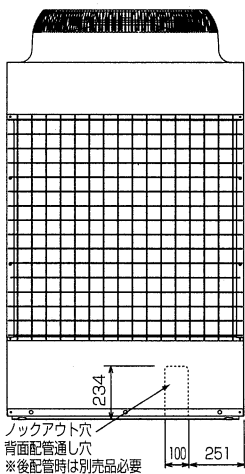
ノックアウト穴 底面配管通し穴



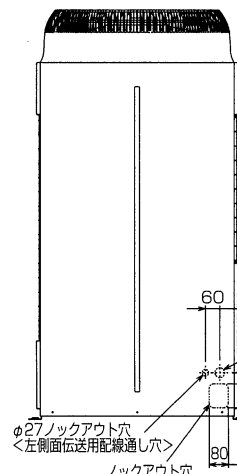
断面 X-X



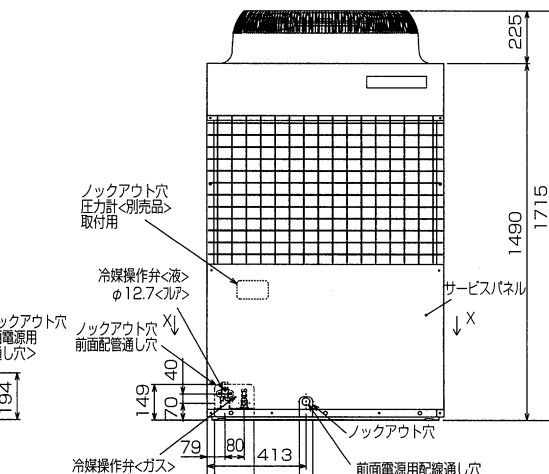
平面図



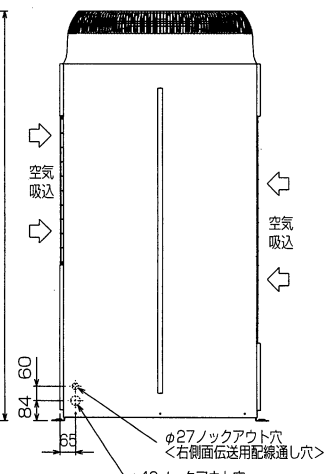
背面図



左側面図

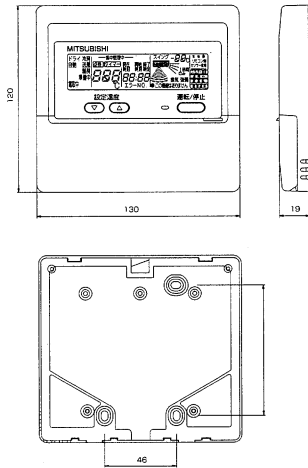


正面図

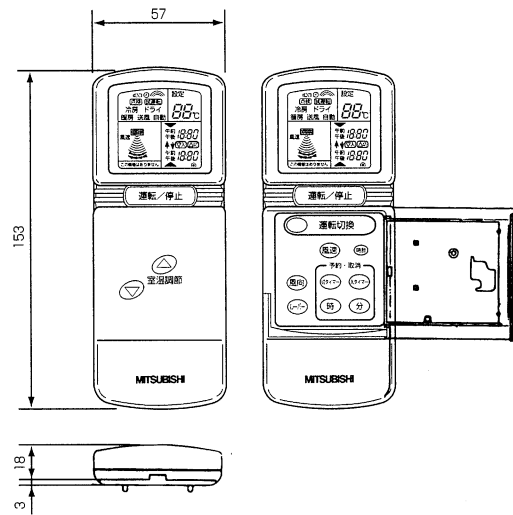


右側面図

(b)リモコン  
ワイヤードリモコン (室内ユニット操作部)



ワイヤードリモコン

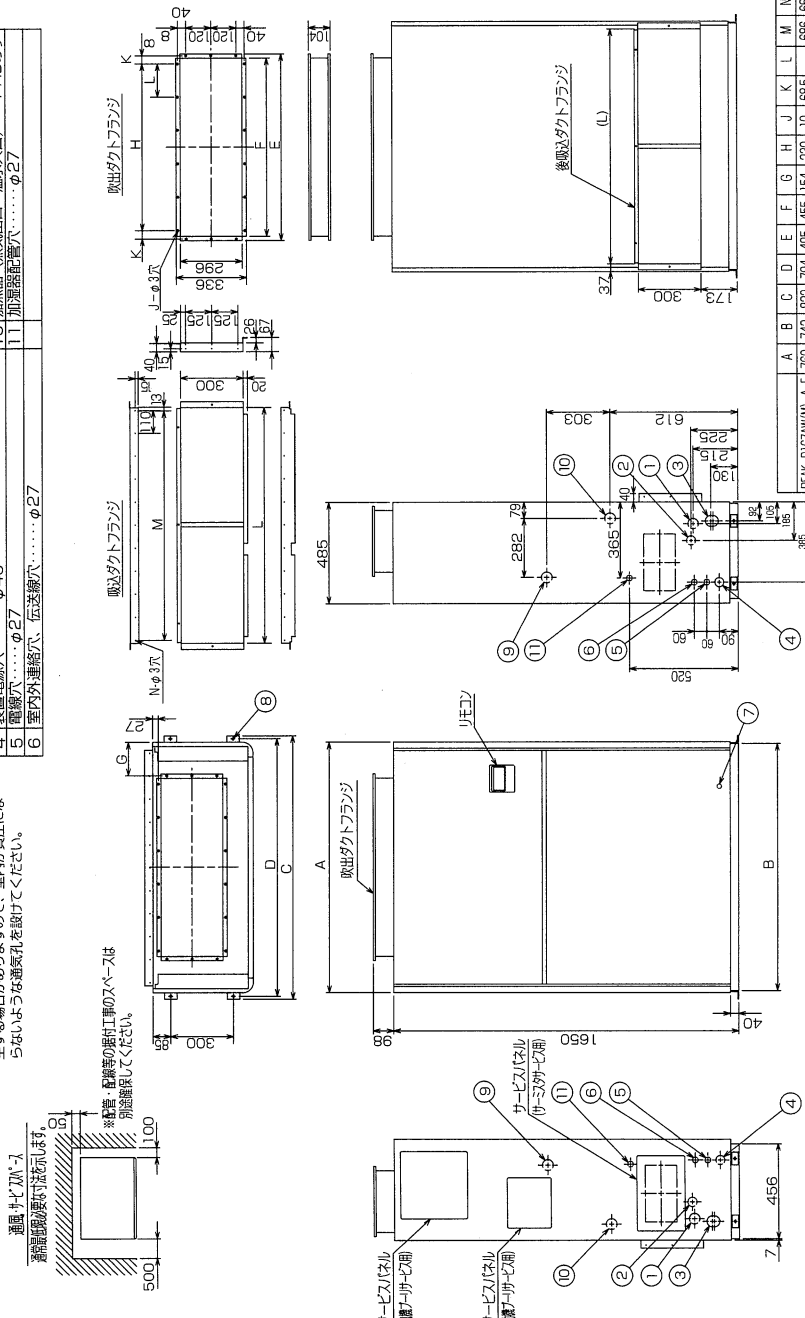


(c)室内ユニット

PFAC-P140・265・335AW(M)-A-F

NO	名称	名称	
1	冷媒配管<ガス>.....P167φ19.05、P265φ24、P335φ36計	7	アース端子 (制御盤内に設置)
2	冷媒配管<液>.....P167φ9.52、P265φ12.7、P335φ12.7計	8	室外ポート穴.....φ12
3	ドレン穴.....1B	9	加熱器 (蒸気入口・温水出口) .....1/4Bめす
4	装置電源穴.....φ43	10	加熱器 (蒸気出口・温水入口) .....1/4Bめす
5	電線穴.....φ27	11	加速器配管穴.....φ27
6	室内外連絡穴、伝送線穴.....φ27		

- 注1. 伝送線と電圧200V以上の配線は必ず分けた配線としてください。  
 注2. 故障する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような断気孔を設けてください。



A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	
PFAC-P167AW(M)-A-F	760	742	822	794	485	455	154	230	10	88.5	-	686	660	20
PFAC-P265AW(M)-A-F	980	962	1042	1014	715	675	108	640	16	293.5	160	936	880	24
PFAC-P335AW(M)-A-F	1200	1182	1262	1234	885	835	160	800	18	393.5	160	1126	1100	28

汎用・中温用・産業用エアコン  
 (オールフレッシュ用)

NO	名称	NO	名称
1	冷媒配管<ガス>.....φ50φ54,φ67φ70,φ86φ90	6	室内外連繋穴、伝送継穴.....φ27
2	冷媒配管<液>.....φ12.7φ17	7	アース端子(前種類別設置).....5ヶ所
3	ドレン穴.....φ11/4φ8	8	基礎ボルト穴.....4-φ12
4	排気配管穴.....φ52	9	加熱器(蒸気・温水).....1 1/2 Bめす
5	電源穴.....φ37	10	加湿器配管穴.....φ27

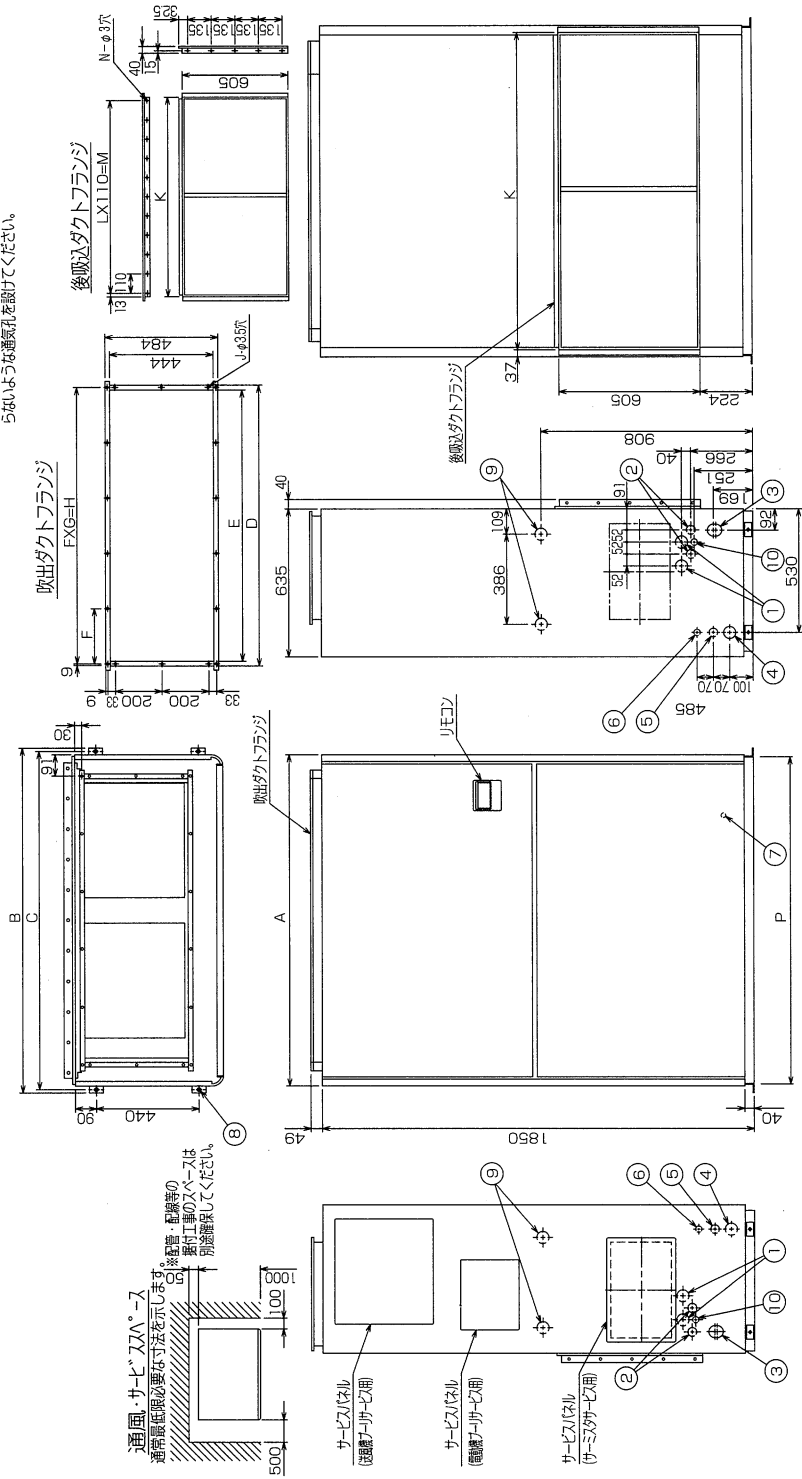
A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	
PFAK-P530AW(M)-A-F	1200	1258	1230	1046	1006	257	4	1028	16	1126	10	1100	32	1178
PFAK-P670AW(M)-A-F	1420	1478	1460	1255	1215	247	5	1235	18	1346	12	1320	36	1398

※別売の加湿器(送液管を除く)を組込んで右取組み出しにする場合は  
別送、別売右配管部品(加湿器組込用)が必要となります。

注1. 伝送機と電圧200V以上の配線は必ず分けられた線路としてください。  
設置する部屋の気密性が高い場合、室内の負圧となり、部屋の扉が  
開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内の負圧にな  
らないよう換気孔を設けてください。

注2. 開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内の負圧にな  
らないよう換気孔を設けてください。

注3. 設置する部屋の気密性が高い場合、室内の負圧となり、部屋の扉が  
開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内の負圧にな  
らないよう換気孔を設けてください。



## (5) 配線要領

### (a) 配線設計

1. 「電気設備に関する技術基準を定める省令」「内線規程」及び電力会社の規定に従ってください。
2. 電気配線工事は電力会社の認定工事店で行ってください。

#### 警告

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」、及び据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電源回路に容量不足や施工不備があるとユニットが正常に運転できなくなったり、最悪の場合、感電、発煙、発火等の原因になります。

3. 電源は必ず専用の分岐回路からとり、漏電しゃ断器を取り付けます。
4. ユニットの外部では、制御回路の電線（室内外伝送線・MAリモコン線・集中管理用M-NET伝送線）と電源配線が直接接しないように5cm以上離して施設してください。
5. 配線の接続はネジの緩みがないように確実に行ってください。
6. 天井裏内の配線（電源・室内外伝送線・MAリモコン線・集中管理用M-NET伝送線）はネズミ等により、かじられ切断する場合があります。できる限り鉄管等の保護管内に通してください。（※制御回路の電線と電源配線を同一鉄管に入れないでください。）
7. MAリモコン用・室内外伝送線用・集中管理用M-NET伝送線用端子台には200V電源を接続しないでください。（故障します。）
8. 室内ユニットとリモコン及び室外ユニットを必ず配線接続します。
9. D種接地工事は室外ユニットで行います。
10. 制御配線は以下の条件からお選びください。

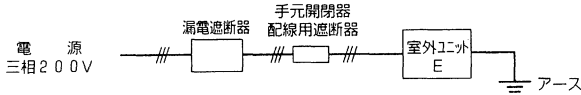
#### 注意

室外ユニット側で確実にアースを行なってください。アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電、発煙、発火及びノイズによる誤動作の原因になります。

### (b) 主電源の配線太さ及び開閉器容量

#### (I) 室外ユニット

##### ●配線系統図(例)



##### ●主電源の配線太さ及び開閉器容量

形名	最小電線太さ (mm <sup>2</sup> )		漏電遮断器 *1, *2	手元開閉器		配線用遮断器 (NFB) (A)
	幹線	分岐		開閉器容量 (A)	過電流保護器 (A) *3	
室外ユニット	P140形	5.5	φ2.0mm以上	40A 30mA 0.1s以下	60	40
	P224形	8	3.5以上	60A	60	50
	P280形	14	5.5以上	100mA 0.1s以下	60	60

(注)

- \*1. 電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。
- \*2. 漏電遮断器で地絡保護専用のものは、手元開閉器又は配線用遮断器を組み合わせて使用してください。
- \*3. 過電流保護器は、B種ヒューズを使用する場合について示します。

#### 警告

配線は、所定のケーブルを使用し確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

#### 注意

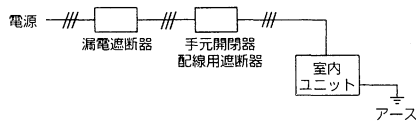
漏電遮断器の取付けが必要です。漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。

#### 注意

正しい容量の遮断器やヒューズ以外は使用しないでください。大きな容量のヒューズや針金・銅線を使用すると故障や火災の原因になります。

#### (II) 室内ユニット

##### ●配線系統図(例)



##### ●主電源の配線太さ及び開閉器容量

形名	電源太さ		漏電遮断器 *	手元開閉器		配線用遮断器
	電源配線	アース		開閉器容量	過電流保護器	
PFAK-P167.265.335AW(M)-A-F	1.6mm	1.6mm	15A (NV30-C(当社))	15A	15A (B種ヒューズ)	15A (NF30-C(当社))
PFAK-PS30AW(M)-A-F	1.6mm	1.6mm	30A (NV30-C(当社))	30A	20A (B種ヒューズ)	30A (NF30-C(当社))
PFAK-670AW(M)-A-F	1.6mm	1.6mm	30A (NV30-C(当社))	30A	30A (B種ヒューズ)	30A (NF30-C(当社))

\*漏電遮断器は、感度30mA 0.1s以下を使用してください。

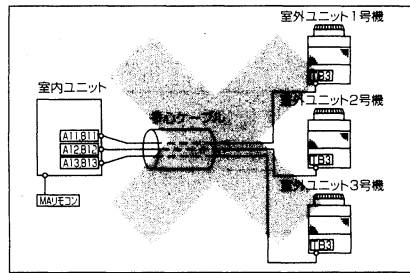
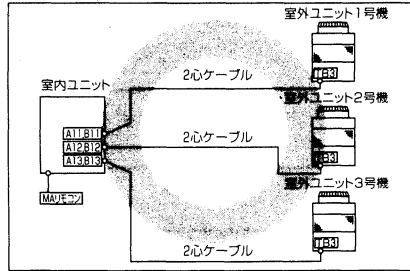
- 注1. 電源には、必ず漏電遮断器を取付けてください。
- 注2. 漏電遮断器で地絡保護専用のものは、手元開閉器または配線用遮断器を合わせて使用してください。
- 注3. 電源配線に当たっては「電気設備に関する技術基準を定める省令」及び「内線規程」に従ってください。

#### 注意

正しい容量のブレーカやヒューズ以外は使用しないでください。大きな容量のヒューズや針金・銅線を使用すると故障や火災の原因になります。

### (c) 制御配線の種類と許容長さ

- 制御配線には、「室内外伝送線」・「MAリモコン線(2リモコンの場合)」・「集中管理用M-NET伝送線」があります。
- システム構成により、伝送線の種類及び許容長さが異なります。配線工事の前に、必ず以下の(1)～(3)をご覧ください。
- また、以下に示すように、伝送線が長い場合やノイズ源がユニットに近接している場合は、ノイズ障害防止のためにユニット本体をノイズ源から離すと共に、シールド線の仕様を推奨します。
- ※室内外伝送線用配線は、2心線をご使用ください。(下図○印)
- 系統の異なる室内外伝送線用配線を多心の同一ケーブルを使用して配線しますと、室内外伝送信号の送・受信が正常にできなくなり、誤動作の原因になりますので絶対に行わないでください。(下図×印)



A11, B11 : 伝送線用端子台  
A13, B13 : 伝送線用端子台  
TB3 : 伝送線用端子台

#### (I) 室内外伝送線配線

システム構成	単一冷媒システムの場合		複数冷媒システムの場合	
	伝送線の長さ	120m未満	120m以上	長さに無関係
配線の種類	対象種別例 (ノイズ判定)	ビル、診療所、病院、通商事務所など インバータ機器、自家発電機、高圧送電線、 無線通信機などによるノイズの発生が想定される施設	全ての施設	
	線種	VCTF・VCTEK・CVV・CVS・VVR・VVF・VCT 又はシールド線 CVS・CPEVS	シールド線 CVS・CPEVS	
線数	2心ケーブル			
線径	1.25mm <sup>2</sup> 以上			
室内外伝送線最長	最大120m	最大200m		

#### (II) MAリモコン配線

配線の種類	MAリモコン	
	線種	線径
	VCTF, VCTFK, CVV, CVS, VVR, VVF, VCT	2心ケーブル
		0.3~1.25mm <sup>2</sup> 注1 (0.75~1.25mm <sup>2</sup> ) 注2
総延長	最大200m	

#### (III) 集中管理用M-NET伝送線配線

(※PFAK-P・AWM-A-F形の場合)

##### ①集中管理リモコン配線

システム構成	単一冷媒システムの場合		複数冷媒システムの場合	
	伝送線の長さ	10m未満	10m以上	長さに無関係
配線の種類	対象種別例 (ノイズ判定)	全ての施設		
	線種	シールド線 CVS・CPEVS		
線数	2心ケーブル			
線径	1.25mm <sup>2</sup> 以上			
集中管理リモコン配線最長	最大200m			

##### ②M-NETリモコン配線

配線の種類	M-NETリモコン		
	伝送線の長さ	10m以下	10mを超える場合
	線種	VCTF, VCTEK, CVV, CVS, VVR, VVF, VCT	(3) (1)集中管理リモコン配線と同一仕様となります。
	線数	2心ケーブル	
	線径	0.3~1.25mm <sup>2</sup> 注1 (0.75~1.25mm <sup>2</sup> ) 注2	
集中管理リモコン配線最長	最大10m		

注1. 作業上0.75mm<sup>2</sup>までの線径を推奨します。

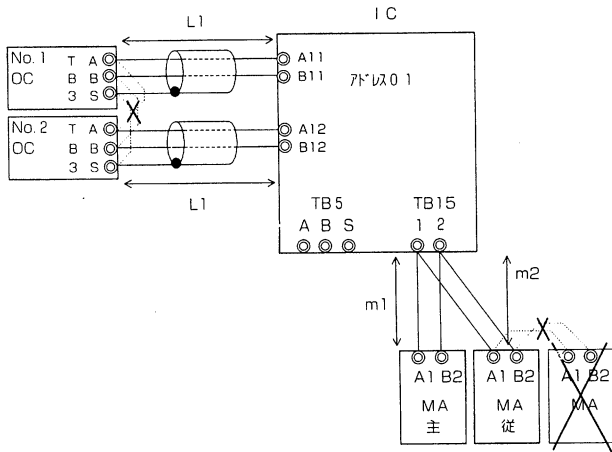
注2. コンパトリモコンの端子台へ接続する時は、( )内の線径としてください。

#### (IV) システム接続例

##### MAリモコンを用いたシステム

単一冷媒システムの場合 (PFAK-P・AW-A-Fの場合)

##### 制御線配線例



#### 許容長

< a. 室内外伝送線 >

最遠長 (1.25mm<sup>2</sup>以上)

$$L1 \leq 200m$$

< b. MAリモコン配線 >

総延長 (0.3~1.25mm<sup>2</sup>)

$$m1 + m2 \leq 200m$$

< c. 集中管理用M-NET伝送線 >

接続不要です。

#### 配線方法・アドレス設定方法

< a. 室内外伝送線 >

室外ユニット(OC)の室内外伝送線用端子台(TB3)のA、B端子と室内ユニット(IC)の室内外伝送線用端子台のA、B端子を渡り配線します。(無極性2線) (下表参照)

※伝送線が長い場合やノイズ源が近くに近傍している場合は、シールド線の使用を推奨します。

No.1 室外機	A11, B11
No.2 室外機	A12, B12

[シールド線の処理]

シールド線のアースは、OCの室内外伝送線用端子台(TB3)のS端子へ接続します。

< b. MAリモコン配線 > ※2リモコンまたはゲルア変換しない場合は不要です。

[2リモコン運転の場合]

2リモコンとする場合は、ICの端子台(TB15)の1, 2端子とMAリモコン(別売)の端子台を接続します。

※接続したMAリモコン(別売)の主従切換スイッチを従リモコンに設定してください。

(設定方法は、[5-3リモコン] 室内外伝送線の接続-MAリモコン[主リモコン/従リモコン]の設定方法]およびMAリモコンの据付説明書を参照ください。)

< c. 集中管理用M-NET伝送線 >

接続不要です。

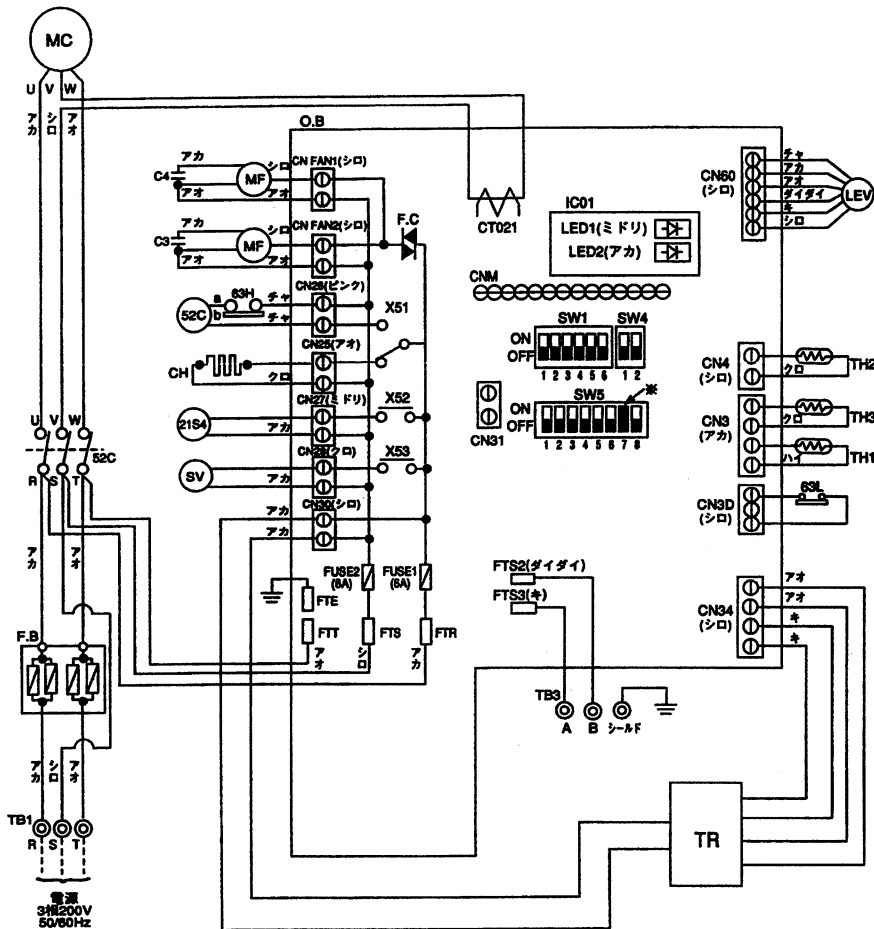
#### 禁止事項

1. 同一冷媒室外機同士での渡り配線は禁止です。  
室外機の端子台には配線1本しか接続できません。
2. リモコン同士での渡り配線は禁止です。  
リモコンの端子台には配線1本しか接続できません。
3. 同一グループの室内ユニットに主リモコンと従リモコンの3台以上のMAリモコンは接続できません。

#### (6) 電気配線図

##### (a) 室外ユニット

PU(H)K-P140AW-A(-BS,-BSG)



#### 記号説明

記号	名称
MC	圧縮機用電動機
MF	送風機用電動機<インナーサーモ付>
TH1	サーミスター<配管温度検知>
TH2	サーミスター<圧縮機吐出配管温度検知>
TH3	サーミスター<二層管温度検知>
C3, C4	コンデンサー<送風機用電動機>
CH	クラックケースヒータ
52C	電磁接触器<圧縮機>
21S4	電磁弁<四方弁>
SV	電磁弁<ガスバイパス>
LEV	電子膨張弁
63H	圧力開閉器<高圧保護用>
63L	圧力開閉器<低圧保護用>
TB1	端子盤<電源線>
TB3	端子盤<内外接続線>
F.B	ヒューズ<30A>

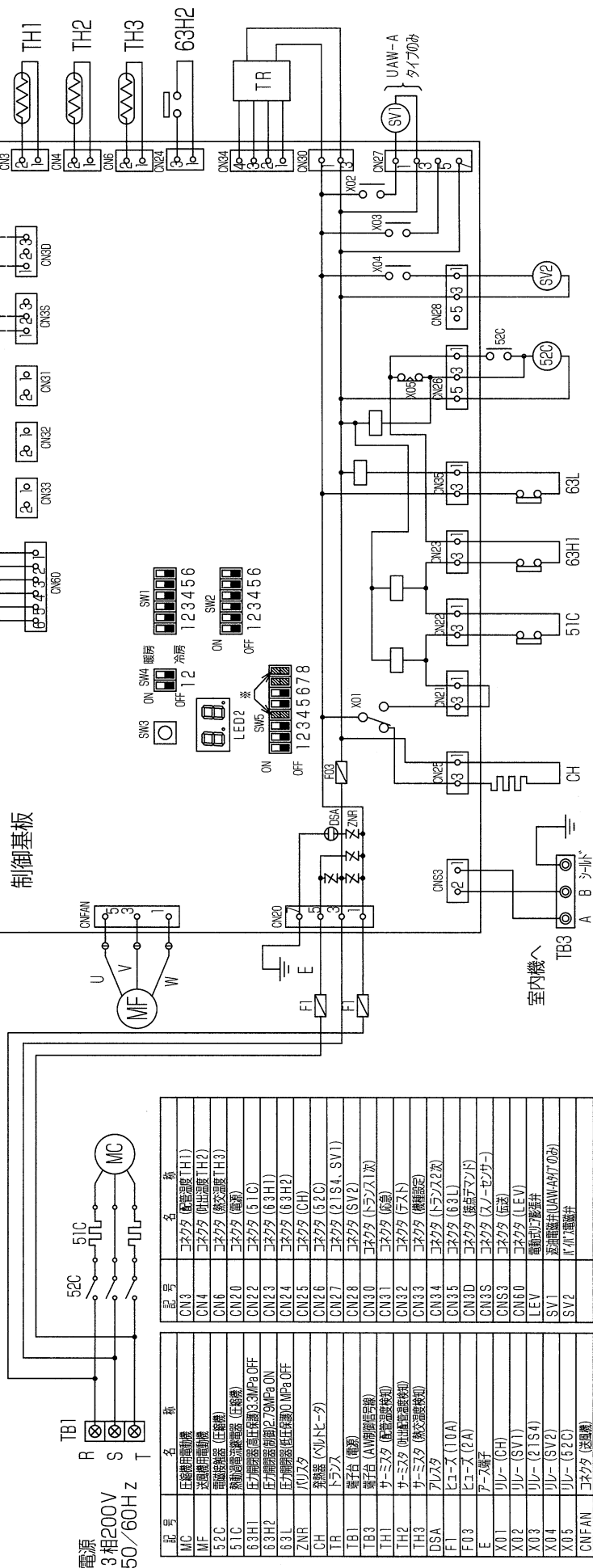
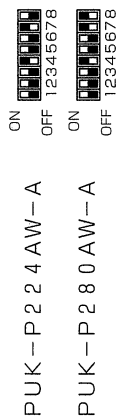
記号	名称
O.B	室外コントローラーボード
FUSE1<O.B>	ヒューズ<6A>
FUSE2<O.B>	ヒューズ<6A>
X51<O.B>	リレー<圧縮機/クラックケースヒーター>
X52<O.B>	リレー<四方弁>
X53<O.B>	リレー<電磁弁>
F.C<O.B>	ファンコントローラー<MF>
SW1<O.B>	スイッチ<強制霜取り, 異常クリア, 冷媒アドレス>
SW4<O.B>	スイッチ<試運転>
SW5<O.B>	スイッチ<機能固定>
CN31<O.B>	コネクタ<応急運転>
CT021<O.B>	電流検出器
LED1(ミドリ)<O.B>	発光ダイオード<運転点検表示>
LED(アカ)<O.B>	発光ダイオード<運転点検表示>
TR	トランス

- 注1. ユニツトはD種(第三種)接地工事を必ず実施してください。  
 注2. TB3は伝送用端子台ですので、動力線は接続しないでください。  
 注3. 出荷時、SW5※は下記の状態になっています。

PUHK-P140AW-A ON OFF 12345678

PUK-P140AW-A ON OFF 12345678

※出荷時SW5は下記の状態となっております。



- 注1. ユニットはD種 (第三種) 接地工事を必ず実施してください。
- 注2. TB3は伝送用端子台ですので、動力線は接続しないでください。
- 注3. 破線は現地手配を示します。

記号	名称	記号	名称
MC	圧縮機用電動機	CN3	コネクタ (電圧検出 TH1)
MF	送風機用電動機	CN4	コネクタ (吐出温度 TH2)
52C	電機送風機 (圧縮機)	CN6	コネクタ (電圧検出 TH3)
51C	強制送風機 (圧縮機)	CN20	コネクタ (電源)
63H1	圧力調整器 (高圧保護) 3.5MPa OFF	CN22	コネクタ (51C)
63H2	圧力調整器 (高圧保護) 2.5MPa ON	CN24	コネクタ (63H1)
63L	圧力調整器 (低圧保護) 0.1MPa OFF	CN25	コネクタ (63H2)
ZNR	圧力調整器 (低圧保護) 0.1MPa ON	CN26	コネクタ (CH)
CH	圧力調整器 (低圧保護) 0.1MPa ON	CN27	コネクタ (52C)
TR	変圧器 (V/LTC-2)	CN28	コネクタ (21S4, SV1)
TB1	端子台 (電源)	CN30	コネクタ (SV2)
TB3	端子台 (AW制御信号線)	CN31	コネクタ (トランス1次)
TH1	サーミスタ (吐出温度検知)	CN32	コネクタ (検出)
TH2	サーミスタ (吐出温度検知)	CN33	コネクタ (51C)
TH3	サーミスタ (吐出温度検知)	CN34	コネクタ (トランス2次)
DSA	圧力調整器 (高圧保護)	CN35	コネクタ (63L)
F1	ヒューズ (10A)	CN36	コネクタ (接続端子)
F2	ヒューズ (2A)	CN38	コネクタ (スローセクター)
E	アース端子	CN53	コネクタ (伝送)
X01	リリ-(CH)	CN60	コネクタ (LEV)
X02	リリ-(SV1)	LEV	電機送風機
X03	リリ-(21S4)	SV1	送風機用(UAW-A)のみ
X04	リリ-(SV2)	SV2	圧力調整器
X05	リリ-(52C)	CNFAN	コネクタ (送風機)



(b)室内ユニット

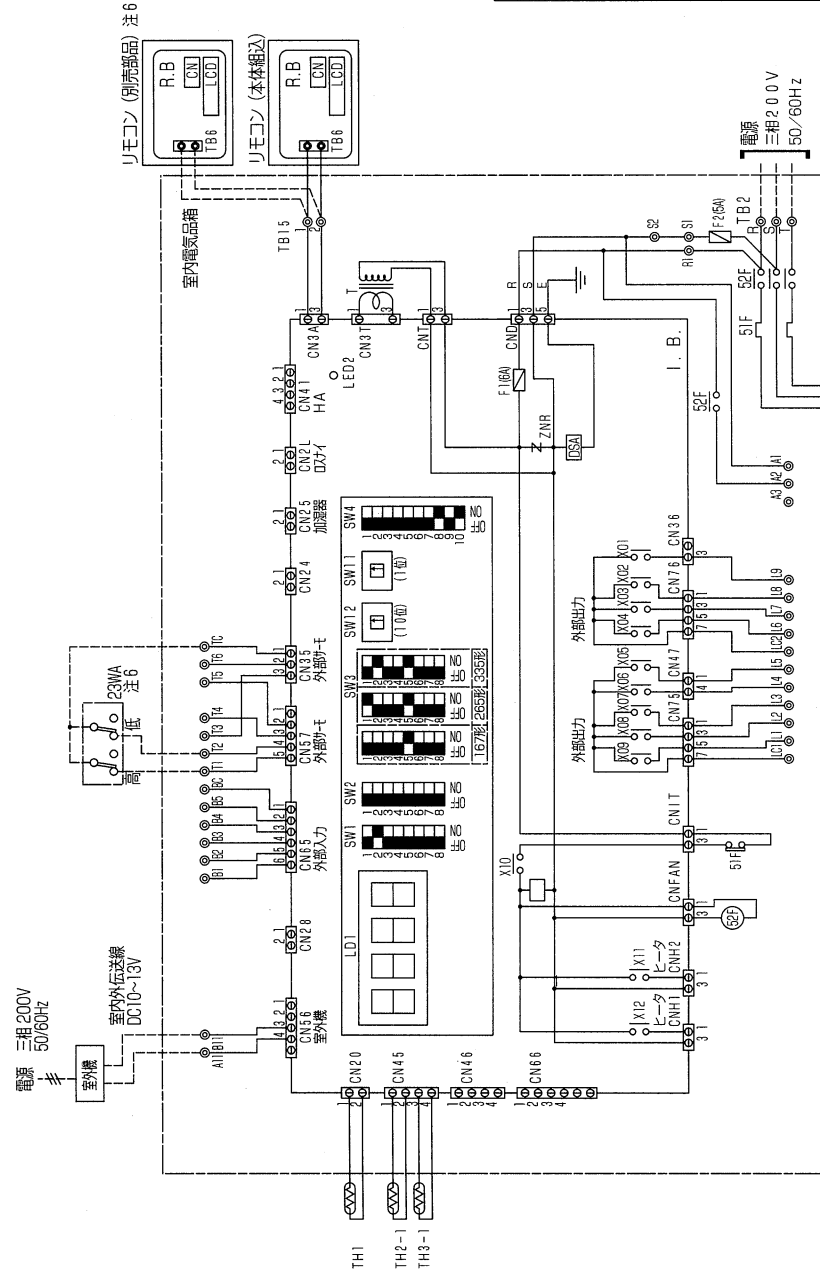
PFAK-P167・265・335AW-A-F

記号説明

記号	名	記号	名
MF	送受信機	TH1	サーミスタ (側いのみ空気温度)
51F	熱動過電流保護器	TH2-1	サーミスタ (1 熱交換温度)
52F	補助電圧 (夜間使用)		
TB2	電源端子台	TH3-1	サーミスタ (1 熱交換温度)
TB15	MAU用端子台		
L.B.	室内基板		
ZNR	バリスタ	SW1 (IB)	スイッチ (標準設定)
CN25	コネクタ (加温器)	SW2 (IB)	スイッチ (標準設定)
CN41	コネクタ (HA)	SW3 (IB)	スイッチ (能力設定)
CNH1	コネクタ (暖房ヒータ1)	SW4 (IB)	スイッチ (標準設定)
CNH2	コネクタ (暖房ヒータ2)	SW11 (IB)	スイッチ (能力設定用10位)
CN1T	コネクタ (51F)	SW12 (IB)	スイッチ (能力設定用10位)
CNFAN	コネクタ (52F)	R.B	リモコン基板
CN2L	コネクタ (D51F)	CN	コネクタ (標準ジョータイク)
T	トランス	TB6	端子台 (室内ユニット接続)
F1F2	ヒューズ	LCD	液晶表示器
X01~X12	補助電圧 (室内基板内)	DSA	アンプ
LD1	発光ダイオード (表示)		
LED2	発光ダイオード (リモコン受光)	23WA	温度調節器 (現地手配)

外部接続端子の説明欄に詳しくは別紙の配線用ヒータ温度、温度ヒータを記入した場合は示す。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部電源入力端子	レベル	B1	RC 過電流保護	ONでRC動作になります	微小電流測定を接続ください。 電圧100mVを越える場合はMax200mVまで は、必ず100mV以内で電圧測定を受け して電圧に入力してください。 接地線は、別紙の電圧測定の要領に 本機に接続してください。 本機に接続する場合は、必ず接地線 ので制動電圧に取付け可能なこと向您です。 低温電圧と電圧測定は別の機器を 通してください。 同じ機器が通ると、動作の制限と なります。 パワースタ、AC200V電の入力を行う場合は 別紙の電圧測定キット PAC-GSS FRCKJ を ご使用ください。 外部入力接続する場合は、制動電圧 SW15をON、外部入力端子を接続する場合は SW16をONにしてください。 ※電源自動制御は外部入力端子接続時の 設定方法が異なります。 詳しくは取扱説明書を確認ください。
	回路電圧	B2	冷却運転ON-OFF	B2~B5端子は必ず 1端子のみに入力して ください。2端子以上 入力するとユニット は停止します。	
	回路電圧	B3	暖房運転ON-OFF		
	回路電圧	B4	送風運転ON-OFF		
	回路電圧	B5	自動運転できません		
外部リモコン端子	レベル	TC	B1~B5端子の共通端子	外部リモコンは接続要領に 従って正しい電圧の無いよう に接続してください。間違 って接続すると正しく動作 しません。	外部リモコンは接続要領に 従って正しい電圧の無いよう に接続してください。間違 って接続すると正しく動作 しません。 T1,T2の端子に設定電圧 が低くなるように電圧調整 してください。 ※電源自動制御は外部入力端子接続時の 設定方法が異なります。 詳しくは取扱説明書を確認ください。
	回路電圧	T1	冷却運転ON-OFF		
	回路電圧	T2	送風運転ON-OFF		
	回路電圧	T3	暖房運転ON-OFF		
	回路電圧	T4	自動運転ON-OFF		
	回路電圧	T5	自動運転ON-OFF		
	回路電圧	T6	自動運転ON-OFF		
	回路電圧	TC	B1~B5端子の共通端子		
外部出力端子	無電圧	L1	冷却運転出力	注説明欄の場合に 無電圧の端子出力を します。	出の端子の端子電圧はAC200V 25Aです。それ以上の負荷は接続して ください。それ以上でご利用になる場合は リレー受けしてください。
	電圧	L2	52F ON出力		
	電圧	L3	サーモ ON出力		
	電圧	L4	冷却運転出力		
	電圧	L5	使用しない		
	電圧	L6	L1~L5端子の共通端子		
	電圧	L7	異常出力 (室内、室外共通)		
	電圧	L8	異常出力 (室外ユニット)		
	電圧	L9	使用しない		
	電圧	L10	使用しない		



- 注1. (太破線)：現地配線を示します。  
 2. SW3-1~6の設定は機種により異なります。  
 3. 配線は、内線図に従って接続してください。  
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表を参照ください。但し、別添部品 (加温器、ヒータ) を組んで、本体に同一電源にする場合は再選定が必要となります。◎印は標準品、○印は標準品差込みコネクタを示します。  
 6. 室内温度調節のため下表に示す①または②の内容を実施ください。

開閉器	過電流保護器	電線太さ
167形	265形	335形
15A	15A	15A
15A	15A	15A
1.6mm以上	1.6mm以上	1.6mm以上

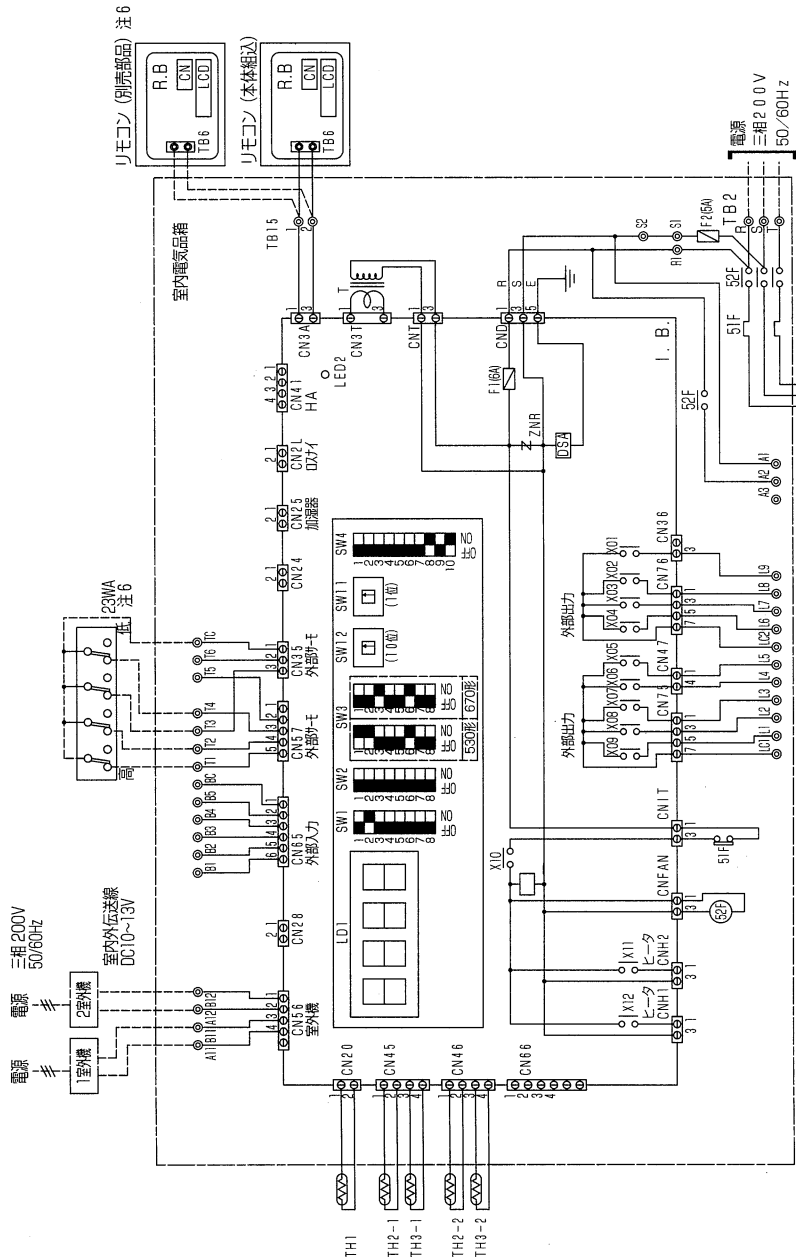
内容	SW設定の変更
① 温度調節器23WA (現地手配) を接続する。	DIPSW 1-6 をONにしてください。
② リモコン (別添部品) を接続し、室内に設置してそのリモコンパワーを使用する。	DIPSW 4-2 をONにしてください。 本体取付の印に従って、室内に設置するリモコンを、主に設定してください。 詳しくは据付説明書及びリモコンの取付説明書を参照ください。

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスタ (暖い側の室温検出)
51F	熱流過電流保護器	TH2-1	サーミスタ (1 熱交換検出)
52F	補助電圧 (送風機用)	TH2-2	サーミスタ (2 熱交換検出)
TB2	電源端子台	TH3-1	サーミスタ (1 熱交換検出)
TB15	MAUリモコン用端子台	TH3-2	サーミスタ (2 熱交換検出)
I.B.	室内制御基板	SW1 (IB)	スイッチ (機種設定)
ZNR	リモコン	SW2 (IB)	スイッチ (自己診断)
CN2.5	コネクタ (加温器)	SW3 (IB)	スイッチ (能力設定)
CN4	コネクタ (HA)	SW4 (IB)	スイッチ (能力設定)
CN41	コネクタ (暖房ヒータ1)	SW11 (IB)	スイッチ (機影切)
CNH1	コネクタ (暖房ヒータ2)	SW12 (IB)	スイッチ (ヒータ設定用1位)
CNI1	コネクタ (51F)	R.B.	リモコン基板
CNEAN	コネクタ (52F)	CN	コネクタ (同軸ケーブル用)
CN2L	コネクタ (ロスタ)	TB6	端子台 (室内ユニット接続)
T	トランス	LCD	液晶ディスプレイ
F1.F2	ヒューズ	DSA	7.1スタ
X0.1~X1?	補助電源 (室外基板内)	2.3WA	温度調節器 (原則手動)
LD1	発光ダイオード (表示)		
LED2	発光ダイオード (リモコン検出)		

外部接続端子の説明欄に関する内容は別添の暖房用ヒータ (暖房、湯ヒータ) を組み込んだ場合を記します。

仕様	端子番号	各端子の内容	説明	ご注意
外部入力端子	B1	RC/運転切換え	ON/FC操作にのみ有効	外部入力、外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
	B2	冷却運転ON-OFF	B2~B5端子は必ず1端子のみに入れてください。2端子以上入れません。	外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
	B3	暖房運転ON-OFF		外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
	B4	送風運転ON-OFF		外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
	B5	自動運転できません		外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
外部入力端子	TC	B1~B5端子の共通端子		外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
	T1	冷却運転2段階検出		外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
	T2	冷却運転1段階検出		外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
	T3	冷却運転2段階検出		外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
	T4	冷却運転1段階検出		外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
	T5	電源検出しなし		外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
	T6	電源検出しなし		外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
	TC	T1~T6端子の共通端子		外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
外部出力端子	L1	冷却運転出力		外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
	L2	52F出力		外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
	L3	サーモ出力		外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
	L4	暖房運転出力		外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
	L5	使用しなし		外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
	L6	暖房出力 (室内、室外共通)		外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
	L7	暖房出力 (1室用ユニット)		外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
	L8	暖房出力 (?室用ユニット)		外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
	L9	使用しなし		外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。
	LC2	L6~L9端子の共通端子		外部ヒータの接続は、必ずしも必要ではありません。必要に応じて接続してください。



1. SW3-1~6の指定は機種により異なります。
2. 配線は、内線指図に従って接続してください。
3. 配線は、送風機用電動機、電源線は必ず530形にしてください。
4. 閉回路、過電流保護器、電線太さは必ず530形にしてください。
5. 本体と同一電源とする場合は再設定が必要となります。
6. コネクタは必ず530形にしてください。
7. 室内温度調節のため下表に示す①または②の内容を実施ください。

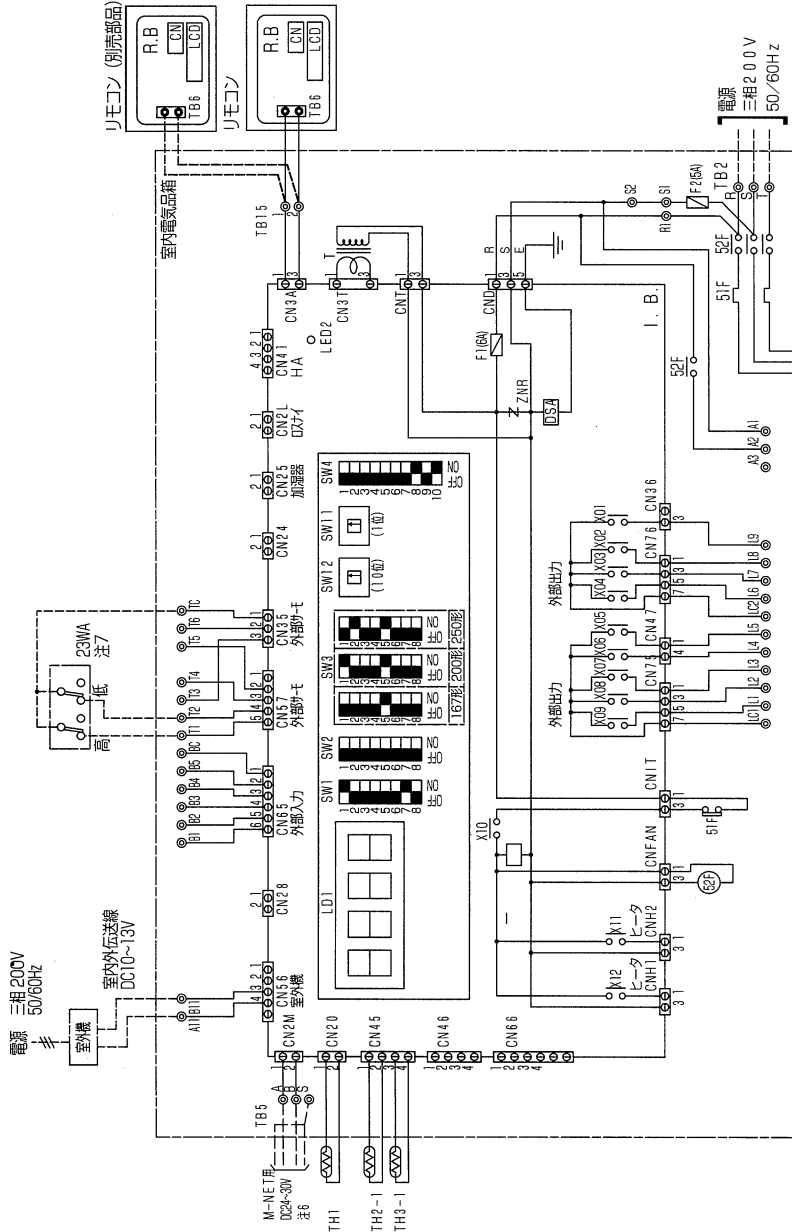
内容	SW設定の変更
① 温度調節器23WA (現地手配) を接続する。	DIPSW 1-6 をONにしてください。
② リモコン (別売部品) を接続し、室内に設置してそのリモコンサーモを使用する。	DIPSW 4-2 をONにしてください。 本体取付の状況に従い、室内に設置するリモコンを「主」に設定してください。 詳しくは据付説明書及びリモコンの取付説明書を参照してください。

汎用・中適用・産業用エアコン  
> オールフレッシュ用

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	汎用機用電源機	TH1	サーミスタ (側いみ空温感)
51F	熱電流保護電器 (交流機用)	TH2-1	サーミスタ (1熱交換機温感)
52F	補助保護電器 (交流機用)		
TB2	電源端子台	TH3-1	サーミスタ (1熱交換機温感)
TB5	室内管理用M-NE T接続端子台		
TB15	MAJ用端子台		
I.B.	室内制御基板		
ZNR	ヒューズ	SW1 (LB)	スイッチ (機種設定)
CN25	コネクタ (加減速)	SW2 (LB)	スイッチ (自己診断)
CN41	コネクタ (HA)	SW3 (LB)	スイッチ (能力設定)
CN44	コネクタ (制御ヒータ)	SW4 (LB)	スイッチ (機能切替)
CNH1	コネクタ (制御ヒータ)	SW11 (LB)	スイッチ (外み設定用1の位)
CNH2	コネクタ (制御ヒータ2)	SW12 (LB)	スイッチ (外み設定用10の位)
CN1T	コネクタ (GTF)	リモコン基板	
CNFAN	コネクタ (G2F)	CN	コネクタ (室内ユニット用)
CN2L	コネクタ (ロケイ)	LED2	発光ダイオード (表示)
T	トランス	LCD	液晶表示器
F1,F2	ヒューズ	DSA	アンプ
X01~X12	補助保護電器 (室内基板上)		
LD1	発光ダイオード (表示)		
LED2	発光ダイオード (リモコン検出)		

リモコン (別売部品) 注6



- 注1. SW3-1~6の配線は機種により異なります。
- 注2. 配線は、内線図に従って接続してください。
- 注3. 開閉器、過電流保護器、電線サイズは右表参照ください。
- 注4. 但し、別売部品 (ヒータ 加減速 基板) を組み込んで、本体と同電源にする場合は再設定が必要となります。
- 注5. ◎印は端子台、⊙印はコネクタ、Ⓜ印は基板裏み込みコネクタを示します。
- 注6. M-NE T接続時には、必ず伝送用給電ユニット (別売) が必要です。
- 注7. 室内温度調節のため下表に示す①または②の内容を実施ください。

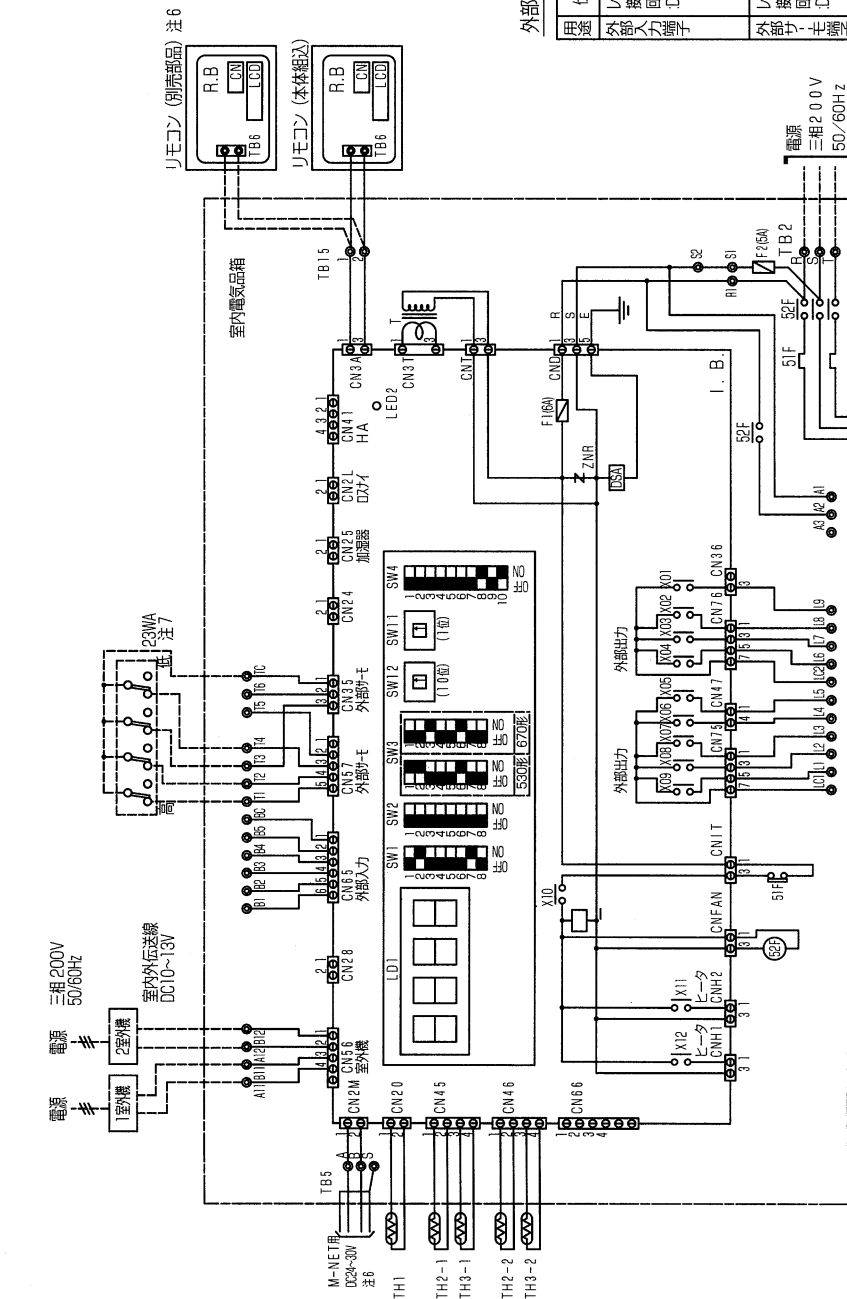
開閉器	167形	200形	250形
過電流保護器	15A	15A	15A
電線サイズ	1.6mm以上	1.6mm以上	1.6mm以上

内容	SW設定の変更
① 温度調節器33MA (現地手配) を接続する。	DIPSW 1-6 をONにしてください。
② リモコン (別売部品) を接続し、室内に設置してそのリモコンサーモを使用する。	DIPSW 4-2 をONにしてください。 本体取付の印を、従って、室内に設置するリモコンを「主」に設定してください。 詳しくは据付説明書及びリモコンの取付説明書を参照ください。

外部接続端子の説明図原に示す内容 (別売品の温度ヒータ (熱気、温ヒータ) 大容量電圧ヒータ) を追加した場合を示します。

用途	端子	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	B1	レベル	ONでR/C動作に切替ります	外部入力、外部サーモは1つはしつ入力、別1電源線は必要ありません。
	B2	接続点	RC/遅延時間	容量100mFを超える場合 (Max200mFまで) は、必ず100mF以下で電圧降下を受け、遅延時間を調整してください。
	B3	接続点	電源ON-OFF	遅延時間調整は、遅延時間調整用として専用入力してください。
	B4	接続点	電源ON-OFF	遅延時間調整は、遅延時間調整用として専用入力してください。
	B5	接続点	電源ON-OFF	遅延時間調整は、遅延時間調整用として専用入力してください。
外部出力端子	BC	B1~B5端子のコモン端子	外部サーモは非標準品に接続して使用する場合は、電源線は別途接続してください。	外部サーモは非標準品に接続して使用する場合は、電源線は別途接続してください。
	T1	冷房回路	冷房回路	冷房回路は、冷房回路専用端子に接続してください。
	T2	冷房回路	冷房回路	冷房回路は、冷房回路専用端子に接続してください。
	T3	冷房回路	冷房回路	冷房回路は、冷房回路専用端子に接続してください。
	T4	冷房回路	冷房回路	冷房回路は、冷房回路専用端子に接続してください。
外部出力端子	L1	冷房回路出力	冷房回路出力	冷房回路出力は、冷房回路専用端子に接続してください。
	L2	冷房回路出力	冷房回路出力	冷房回路出力は、冷房回路専用端子に接続してください。
	L3	冷房回路出力	冷房回路出力	冷房回路出力は、冷房回路専用端子に接続してください。
	L4	冷房回路出力	冷房回路出力	冷房回路出力は、冷房回路専用端子に接続してください。
	L5	冷房回路出力	冷房回路出力	冷房回路出力は、冷房回路専用端子に接続してください。

記号	記号	名称	記号	名称
MF	TH1	送風機用電動機	TH1	サーミスタ (暖い空気温度)
51F	TH2-1	送風機用熱感測器 (送風機用)	TH2-1	サーミスタ (1級室温温度)
52F	TH2-2	送風機用熱感測器 (送風機用)	TH2-2	サーミスタ (2級室温温度)
TB2	TB5	電源端子台	TB5	室内用MAU-NE1用送風機端子台
TB1.5	L.B.	室内用電源基板	TB1.5	サーミスタ (1級室温温度)
ZNR	TAUSタ	リモコン	SW1 (LB)	スイッチ (2極常閉)
CN2.5	CN4.1	コネクタ (加温)	SW2 (LB)	スイッチ (自己診断)
CN4.1	CNH1	コネクタ (HA)	SW3 (LB)	スイッチ (能力設定)
CNH1	CNH2	コネクタ (暖房ヒータ)	SW4 (LB)	スイッチ (機能切替)
CNH2	CNFAN	コネクタ (暖房ヒータ?)	SW1.2 (LB)	スイッチ (外部設定用100位)
CNFAN	T.1	コネクタ (5.1F)	R.B	リモコン基板
CN2.L	T.2	コネクタ (5.2F)	CN	コネクタ (暖房ヒータケーブル)
F.1.F.2	XO1~X1.2	トランス	TB6	端子台 (室内ユニット接続)
LD1	LED2	LED	LCD	液晶ディスプレイ
LD2	DSA	温度調節器 (標準)	DSA	温度調節器 (標準)
	2.3WA	電源		



- 注
- SW3-1~6の設定は機種により異なります。
  - 配線は、内蔵配線に従って接続してください。
  - 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。
  - 但し、別売部品 (加温器、リモコン) を組込んで、本体と同一電源にする場合は再設定が必要となります。
  - ◎印は端子台、⊖印は基本差込み、コネクタを示します。
  - M-NE1接続時には、必ず伝送用給電ユニット (別売) が必要です。
  - 室内温度調節のため下表に示す①または②の内容を実施ください。

開閉器	530形	670形
過電流保護器	30A	30A
電線太さ	20A	30A
	1.6mm以上	1.6mm以上

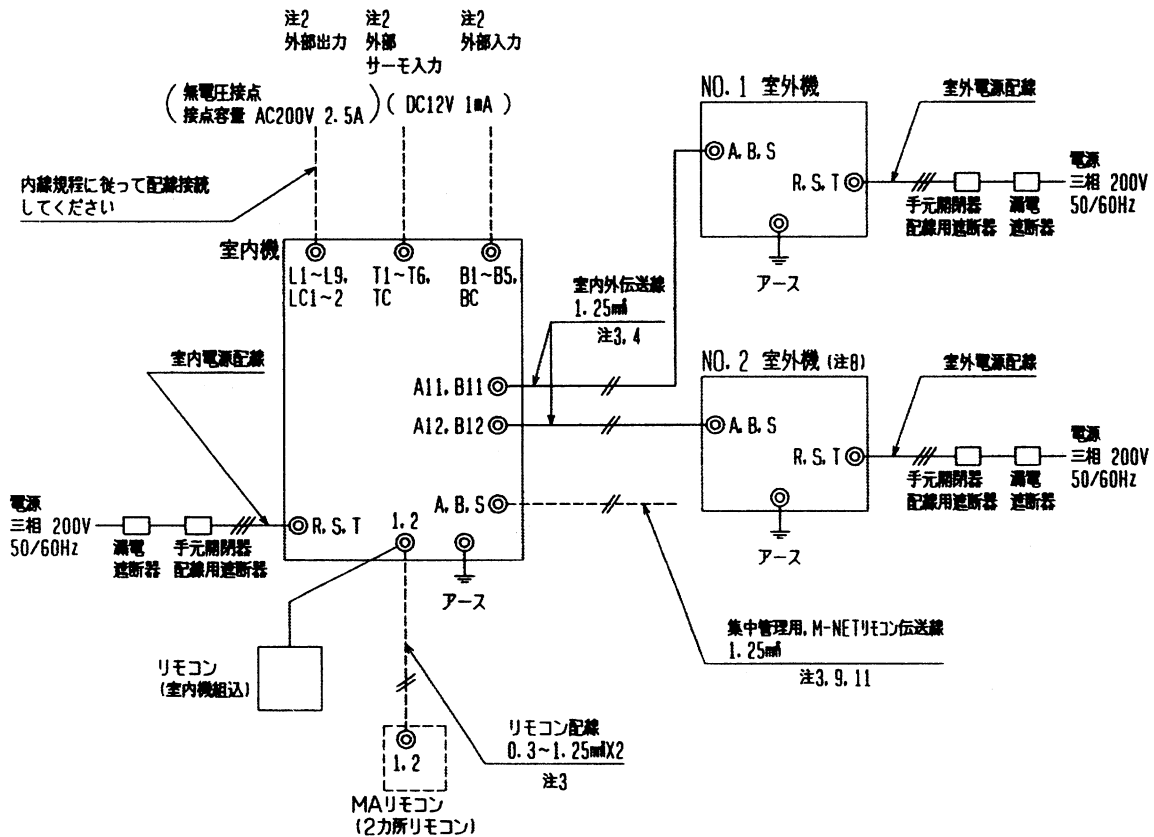
内容	
① 温度調節器2.3WA (現地手配) を接続する。	SW設定の変更
② リモコン (別売部品) を接続し、室内に設置してそのリモコンサーモを使用する。	DIPSW 1-6 をONにしてください。 DIPSW 4-2 をONにしてください。

詳しくは据付説明書及びリモコンの取付説明書を参照ください。

外部接続端子の説明欄に関する内容は別冊の配線用ヒート(蒸気・温水・水)を組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レバ力 接続入力 回路電圧 DC12V	B1 B2 B3 B4 B5	RC: 蒸気切換え 冷房運転ON-OFF 暖房運転ON-OFF 送風運転ON-OFF 自動運転でもせん	ON/RC操作にのみ B2~B5端子は必ず 1端子のみに力を入 れください。端子以上 は力を入れません。 B1は必ずONに設定 してください。	外部入力、外部サーモの入力レベルは、 外部電源の電圧に接続してください。 外部電源の電圧は、必ず100mV以内で電圧変動を抑制し、 必要に応じて電圧変動を抑制してください。 外部電源の電圧は、必ず100mV以内で電圧変動を抑制し、 必要に応じて電圧変動を抑制してください。 外部電源の電圧は、必ず100mV以内で電圧変動を抑制し、 必要に応じて電圧変動を抑制してください。
外部出力端子	レバ力 接続入力 回路電圧 DC12V	BC T1 T2 T3 T4 T5 T6	B1~B5端子のモト 冷房運転2 暖房運転1 送風運転1 送風運転2 送風運転3 送風運転4	外部サーモは接続する 際、必ず100mV以内で電圧変動を抑制し、 必要に応じて電圧変動を抑制してください。 外部電源の電圧は、必ず100mV以内で電圧変動を抑制し、 必要に応じて電圧変動を抑制してください。 外部電源の電圧は、必ず100mV以内で電圧変動を抑制し、 必要に応じて電圧変動を抑制してください。	外部電源の電圧は、必ず100mV以内で電圧変動を抑制し、 必要に応じて電圧変動を抑制してください。 外部電源の電圧は、必ず100mV以内で電圧変動を抑制し、 必要に応じて電圧変動を抑制してください。
外部出力端子	無電圧 接続 出力 回路電圧 DC12V 電線太さ 2.5A	L1 L2 L3 L4 L5 L6 L7 L8 L9 LC2	冷房運転出力 5.2F ON出力 サーモ ON出力 暖房運転出力 使用しない 異常出力 (室内、室外共通) 異常出力 (1室外ユニット) 異常出力 (2室外ユニット) 使用しない L6~L9端子の共通端子	左記の状態の場合 無電圧の電圧出力を します。	出力の電圧は、必ず100mV以内で電圧変動を抑制し、 必要に応じて電圧変動を抑制してください。 外部電源の電圧は、必ず100mV以内で電圧変動を抑制し、 必要に応じて電圧変動を抑制してください。

(c) PFK-Fシリーズ機外配線図



- 注 1. ◎印はネジ端子台を示します。
2. 室内機の外部接続端子は、現地で外部（サーモ）入力および、外部出力を使用する場合のみ配線接続してください。各端子の配線接続方法は室内ユニット電気配線図、技術資料を参照してください。
3. 室内機～室外機間の伝送線、及びリモコン配線に極性はありません。
4. 室内外伝送線（シールド線）のシールド側は必ず室外機のシールド（S）端子に接続してください。
5. 電源には、必ず漏電遮断器を取付けてください。
6. 漏電遮断器で地絡保護専用のものは、手元開閉器または配線用遮断器を組み合わせ使用してください。
7. 電源配線に当っては、「電気設備に関する技術基準を定める省令」及び「内線規程」に従ってください。
8. NO.2室外機及び室内機～NO.2室外機間の伝送線は、2冷媒回路システムの場合を示します。
9. M-NET接続時には必ず、伝送用給電ユニット（別売）が必要です。
10. M-NET接続に関する内容は、室内ユニット PFAK-P・AWM-A-F 形の場合を示します。
11. M-NET伝送線（シールド線）のシールド側は室内機のシールド（S）端子にて渡り配線してください。また、アース接地は、システムコントローラの伝送用給電ユニットのシールド（S）端子にてアース接地してください。

①室内機 電線太さ及び開閉器容量

形名	電線太さ		漏電遮断器 ※	手元開閉器		配線用遮断器
	電源配線	アース		開閉器容量	過電流保護器	
PFAK-P167,265,335AW (M) -A-F	1.6mm	1.6mm	15A (NV30-C (当社))	15A	15A (B種ヒューズ)	15A (NF30-C (当社))
PFAK-P530AW (M) -A-F	1.6mm	1.6mm	30A (NV30-C (当社))	30A	20A (B種ヒューズ)	30A (NF30-C (当社))
PFAK-P670AW (M) -A-F	1.6mm	1.6mm	30A (NV30-C (当社))	30A	30A (B種ヒューズ)	30A (NF30-C (当社))

※漏電遮断器は感度30mA 0.1s以下を使用ください。

②室外機 電線太さ及び開閉器容量

形名	電線太さ		漏電遮断器 ※	手元開閉器		配線用遮断器
	電源配線	アース		開閉器容量	過電流保護器	
PUK-P140AW-A	5.5mm <sup>2</sup>	φ2.0mm	40A (NV50-C (当社))	60A	40A (B種ヒューズ)	40A (NF50-C (当社))
PUK-P224 (U) AW-A	8mm <sup>2</sup>	3.5mm <sup>2</sup>	60A (NV60-C (当社))	60A	50A (B種ヒューズ)	60A (NF60-C (当社))
PUK-P280 (U) AW-A	14mm <sup>2</sup>	5.5mm <sup>2</sup>	60A (NV60-C (当社))	60A	60A (B種ヒューズ)	60A (NF60-C (当社))

※漏電遮断器は感度100mA 0.1s以下を使用ください。

③制御配線

配線	電線太さ	配線の種類	総延長
室内外伝送線, M-NET伝送線	1.25mm <sup>2</sup> 以上	シールド線 CVVS, CPEVS ※	最大 200m
MAリモコン配線	0.3~1.25mm <sup>2</sup>	VCTF, VCTFK, CVV, CVS, VVR, VVF, VCT	最大 200m
外部 (サーモ) 入力配線	1.25mm <sup>2</sup> 以上	VCTF, VCTFK, CVV, CVS, VVR, VVF, VCT	最大 100m
外部出力配線	内線規程に従って配線接続してください。		

※住宅及び独立店舗などノイズ発生がない施設で、配線長さが120m未満の場合は、VCTF, VCTFK, CVV, CVS, VVR, VVF, VCTの使用も可能です。

## (7)能力線図

### (a)冷房能力の求め方

冷房能力を求めるには、次ページ以降の定格性能値表より算出してください。

#### ①算出例

- a.室内・室外組合せシステム 50Hz地区 ●室外ユニット PUK-P280AW-A×2台  
 ●室内ユニット PFAK-P670AW-A-F

b.定格性能値表より（50Hz地区）、

室内容量	冷房能力(kw)	冷房入力(kw)
670	60.0	18.54

定格性能値表はオールフレッシュ標準条件で、冷媒配管長7.5mにおける値です。

オールフレッシュ標準条件

冷房：室内側 乾球温度33℃ 湿球温度28℃ 室外側 乾球温度33℃

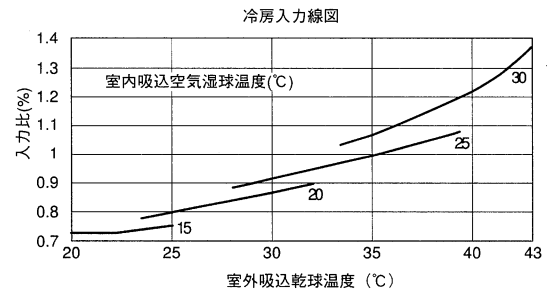
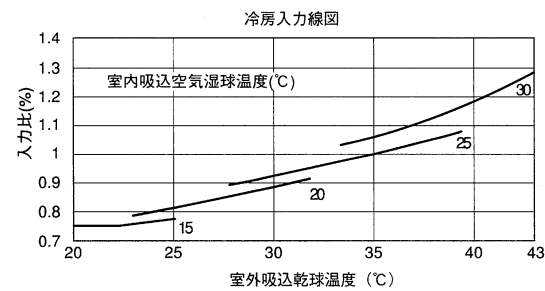
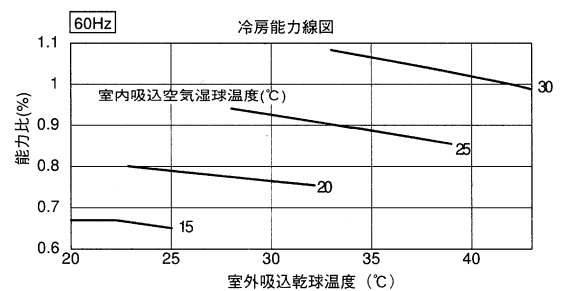
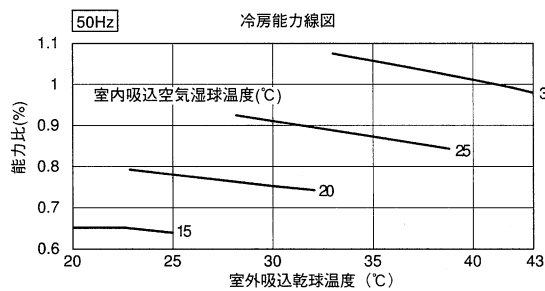
したがって、運転条件が異なる場合は、次ページ以降の各種能力補正を行ってください。

#### c.補正後の冷房能力の求め方

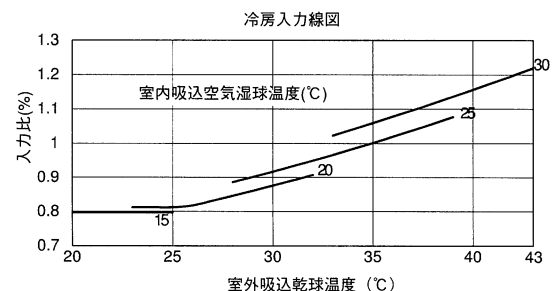
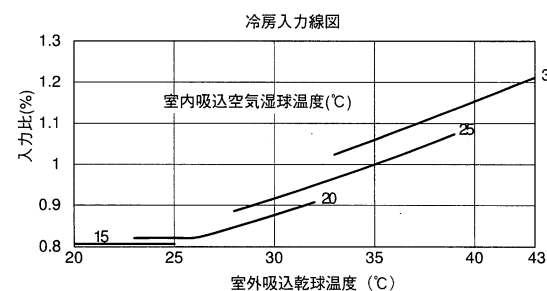
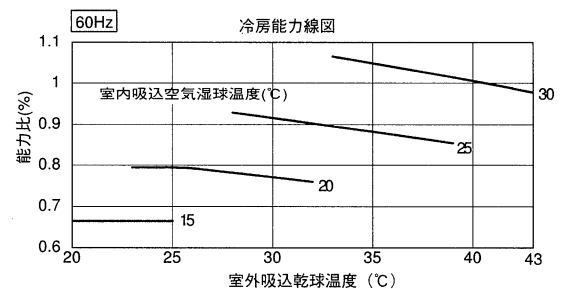
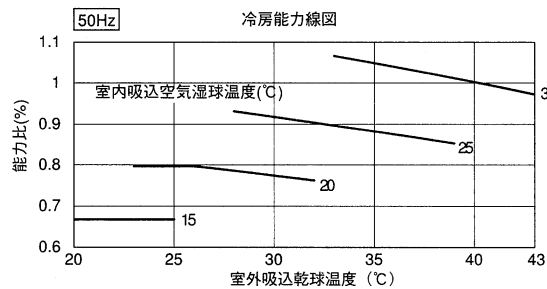
- 補正後の能力 (kW) = 定格能力 × 能力補正係数 (温度、配管長)

### (b)能力・入力補正

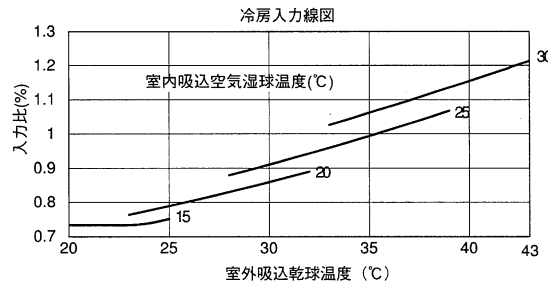
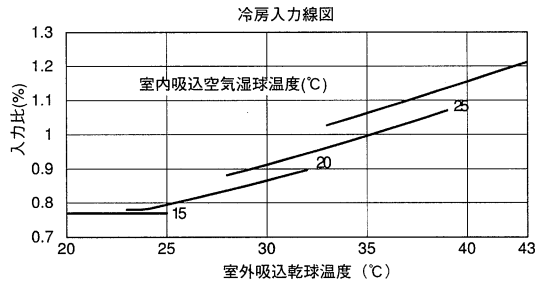
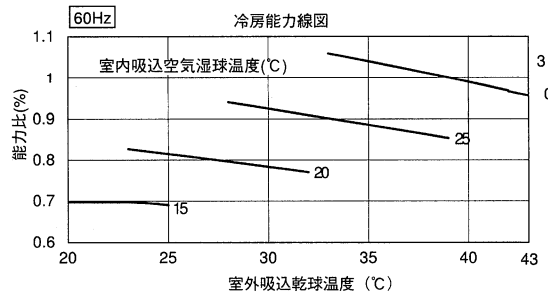
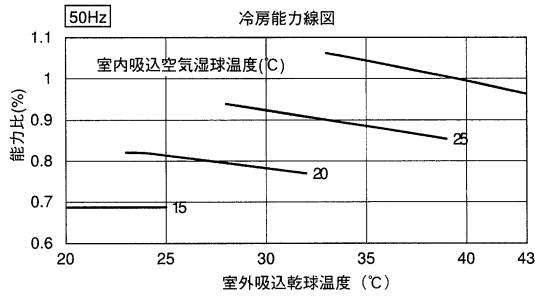
#### PFK-P167(V)AW(M)-A-F



#### PFK-P265,530AW(M)(U)-A-F



# PFK-P335,670AW(M)(U)-A-F



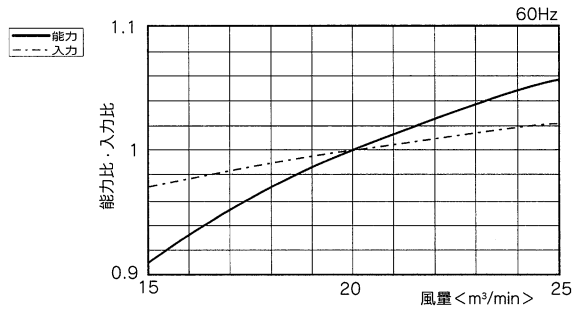
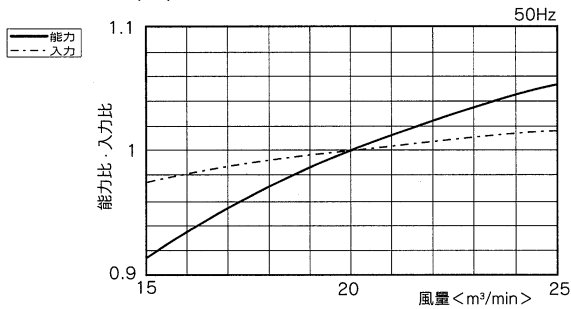
## 【冷房定格性能値 <50Hz/60Hz>】

形名	項目	冷房能力 <kW>	入力 <kW>
PFK-P167AW(M)-A-F		15.0/16.7	4.91/5.99
PFK-P265AW(M)(U)-A-F		23.6/26.5	77.50/9.58
PFK-P335AW(M)(U)-A-F		30.0/33.5	8.90/11.30
PFK-P530AW(M)(U)-A-F		47.2/53.0	14.77/18.84
PFK-P670AW(M)(U)-A-F		60.0/67.0	18.54/22.76

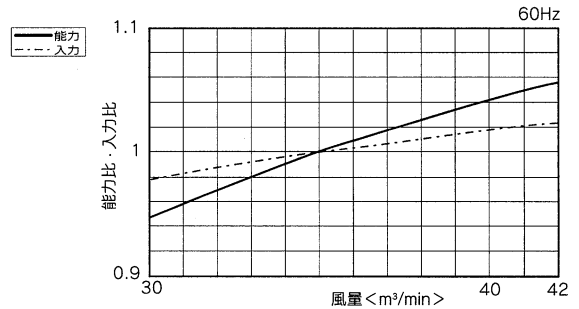
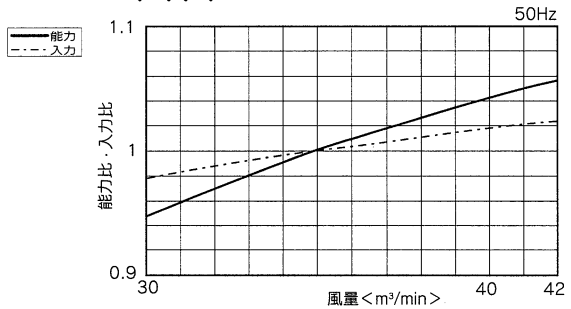
能力値、入力値は、右表の冷房定格性能値にグラフの能力比、入力比を掛けて補正してください。

## (C)風量変化による能力・入力補正係数

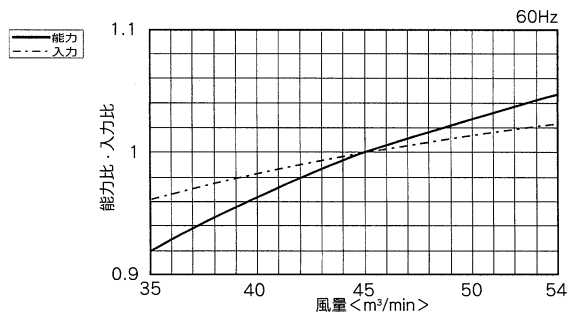
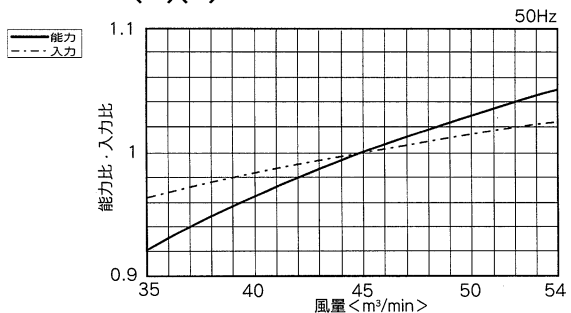
### PFK-P167AW(M)-A-F



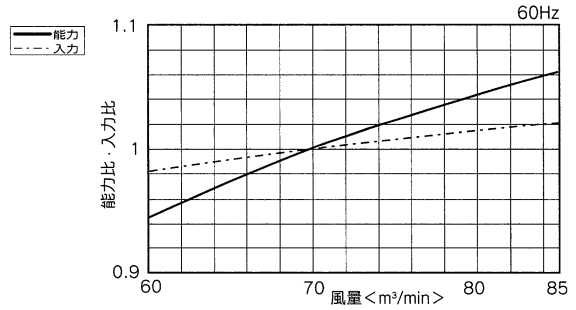
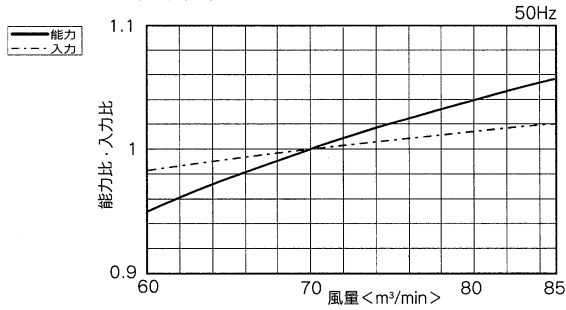
### PFK-P265AW(M)(U)-A-F



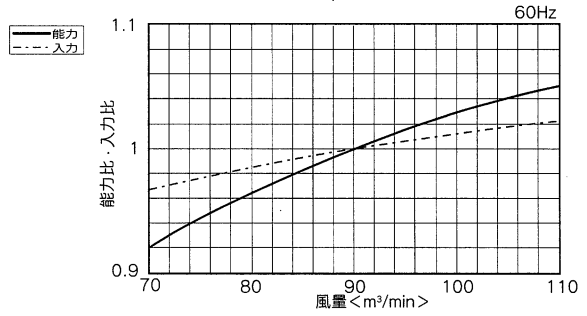
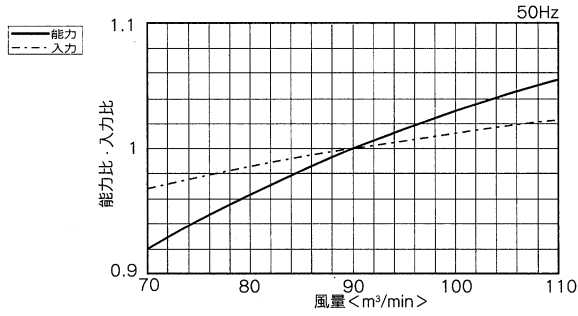
### PFK-P335AW(M)(U)-A-F



PFK-P530AW(M)(U)-A-F



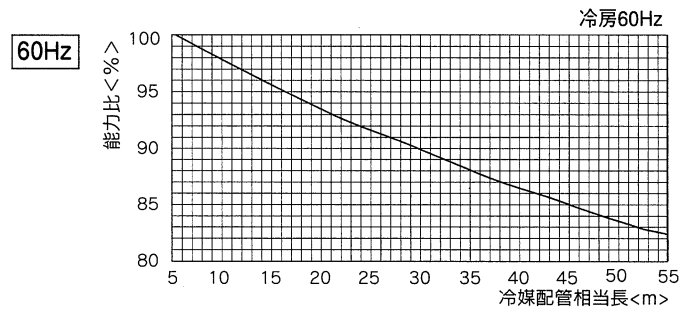
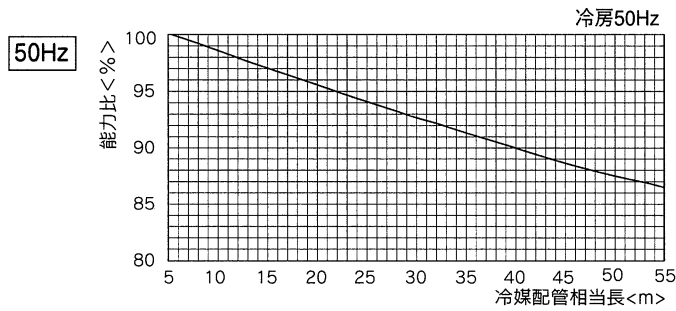
PFK-P670AW(M)(U)-A-F



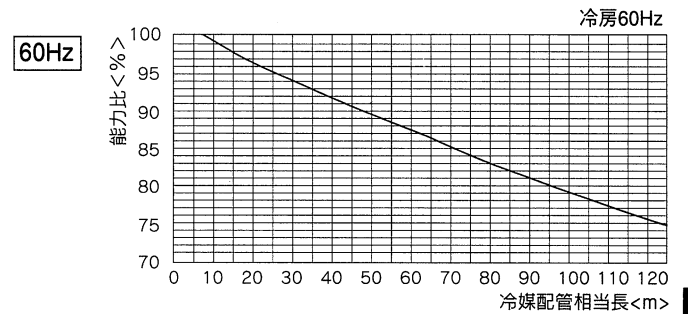
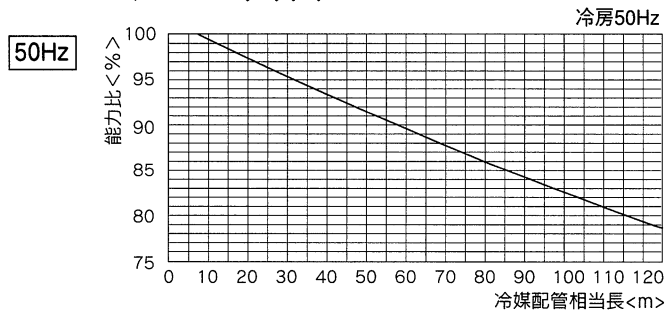
(d)冷媒配管長による冷媒能力補正係数

PUK-P・AW-A(最大625m)、PUK-P・UAW-A(最大125m)配管長に対する能力比

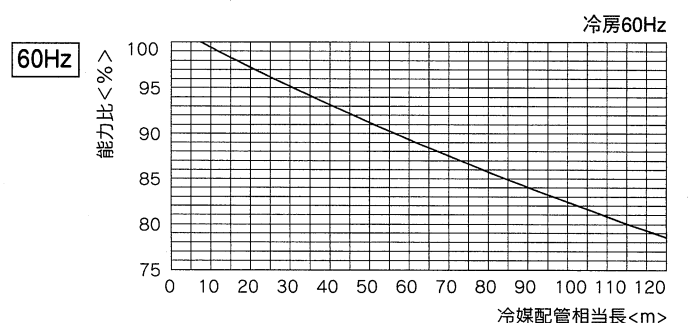
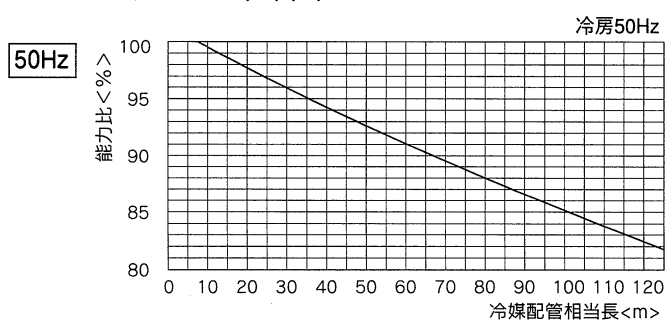
PFK-P167AW(M)-A-F形



PFK-P265,530AW(M)(U)-A-F形



PFK-P335,670AW(M)(U)-A-F形

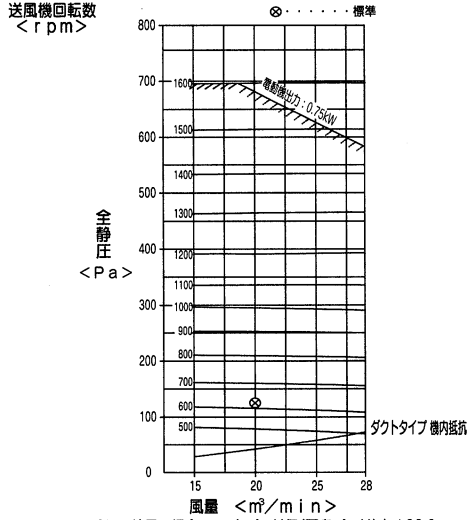


汎用・中温用・産業用エアコン  
(オールフレッシュユ用)



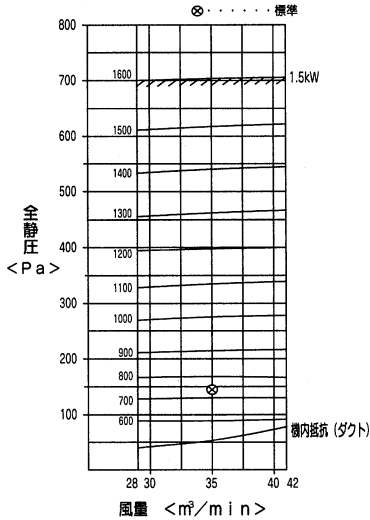
(e)送風機性能線図

PFAK-P167AW(M)-A-F形



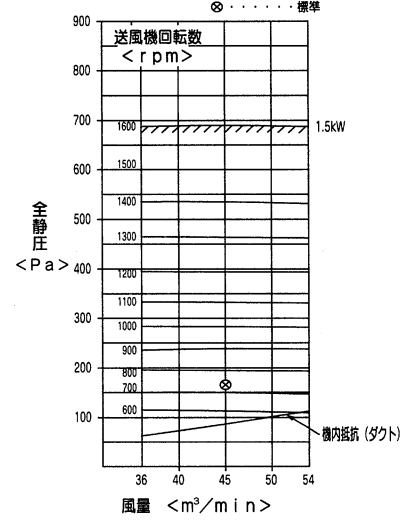
※50Hz地区の場合、モーターリ径(可変プーリ)をφ93.9(出荷時はφ77.9)に調整した値を示します。

PFAK-P265AW(M)-A-F形



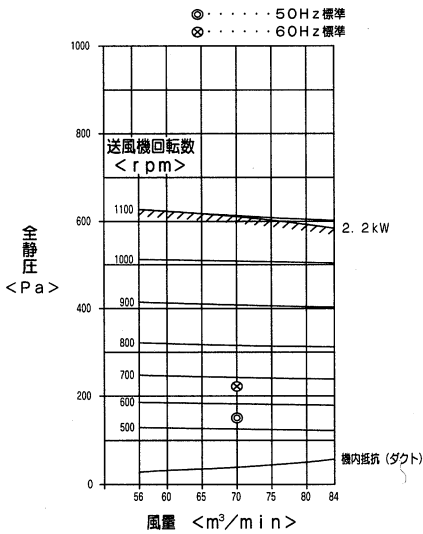
※50Hz地区の場合、モーターリ径(可変プーリ)をφ140(出荷時はφ116.7)に調整した値を示します。

PFAK-P335AW(M)-A-F形

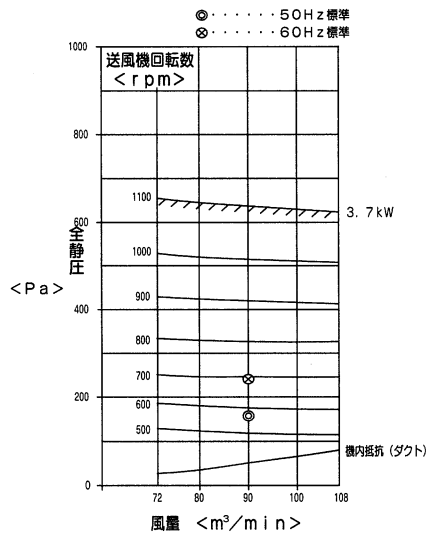


※50Hz地区の場合、モーターリ径(可変プーリ)をφ140(出荷時はφ116.7)に調整した値を示します。

PFAK-P530AW(M)-A-F形

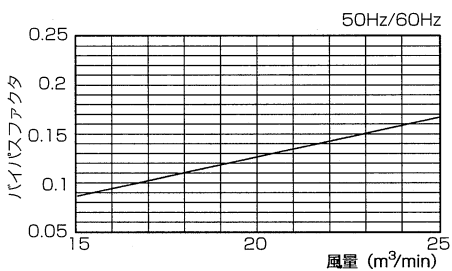


PFAK-P670AW(M)-A-F形

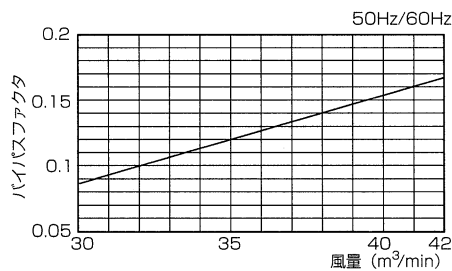


(f)バイパスファクタ線図

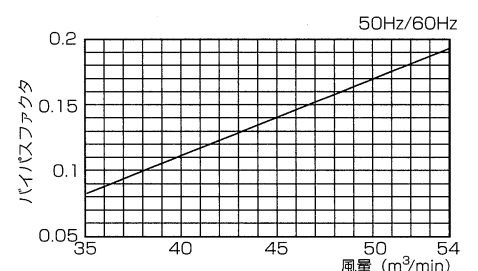
PFK-P167AW(M)-A-F形



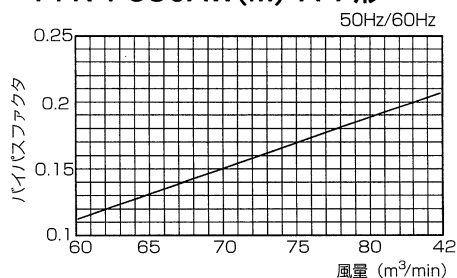
PFK-P265AW(M)-A-F形



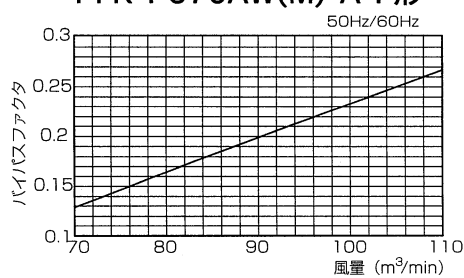
PFK-P335AW(M)-A-F形



PFK-P530AW(M)-A-F形



PFK-P670AW(M)-A-F形



## (8) 据付関係資料

### (a) 据付工事

#### (I) 室外ユニット〈PUK-P224・P228(U)AW-A形〉

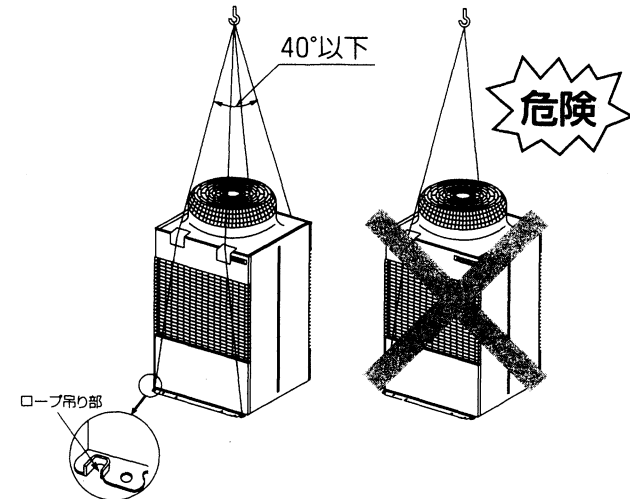
##### (イ) 据付場所の選定

- 他の熱源から直接ふく射熱を受けないところ。
- ユニットから発生する騒音が隣家に迷惑のかからないところ。
- 強風が吹きつけないところ。
- 本体の質量に十分耐えられる強度のあるところ。
- 暖房運転時には、ユニットからドレンが流れますのでご注意ください。
- 次項「2.据付スペース」に示すサービス、風路スペースがあるところ。
- 可燃性ガスの発生、流入、滞留、漏れのおそれがある場所では、火災をおこす危険性がありますので設置しないでください。
- 酸性の溶液や特殊なスプレー(イオウ系)を頻繁に使用する場所は避けてください。
- 油、蒸気、硫化ガスの多い特殊環境では使用しないでください。
- 外気10℃以下にて冷房運転を実施する可能性がある場合は、ユニットの安定した運転を確保するため、室外ユニットに直接雨雪が当たらない場所を選定するか、吹出ダクト、吸込ダクトを取付けるようにしてください。
- 電源および室内側ユニットとの配線配管に便利なところ。
- ユニットの重さ、振動に耐え水平に据付けできるところ。

##### (ロ) 搬入

- 製品を下吊りして搬入する場合はロープをユニットの下に通し、前後各2ヶ所の吊り部を使用してください。
- ロープは必ず4ヶ所吊りとし、ユニットに衝撃を与えないようにしてください。
- ロープ掛けの角度は下図のように40°以下にしてください。
- ロープは7m以上のものを2本使用してください。

#### ① PUK-P224・P280(U)AW-A



#### 注意

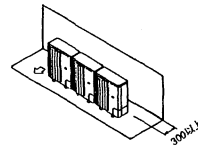
製品の運搬には、十分注意してください。

- 20kg以上の製品の運搬は、1人でしないでください。
- 製品によってはPPバンドによる梱包を行っていますが、危険ですので運搬の手段には使用しないでください。
- 熱交換器のフィン表面で切傷する場合がありますので、素手で触れないように注意してください。
- 包装用のポリブクロで子どもが遊ばないように、破いてから廃棄してください。窒息事故などの原因となります。
- 室外ユニットの搬入を行う場合は、ユニットベースの指定位置に吊下げてください。また、適宜、室外ユニットが横ずれしないよう固定し、確実に4点支持で実施してください。3点支持以下で運搬・吊下げしますと不安定となり、落下の原因となります。

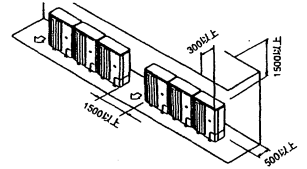
### 2) 複数台設置時の周囲必要空間

●横連続設置の場合、ユニット間は10以上確保してください。

- (1) 背面に障害物がある場合 (正面、側面、上方は開放)

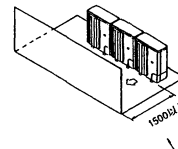


- (2) 背面と上方に障害物がある場合 (正面、側面は開放)

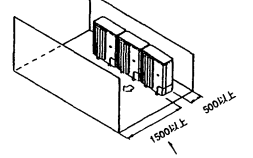


※横連続設置は3台までとし、それ以上の場合は上図に示すスペースを確保してください。  
※別売吹出ガイドを“上吹き”でご使用にならないでください。

- (3) 正面に障害物がある場合 (背面、側面、上方は開放)



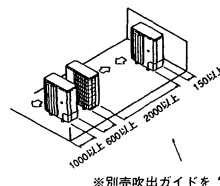
- (4) 背面と正面に障害物がある場合 (側面、上方は開放)



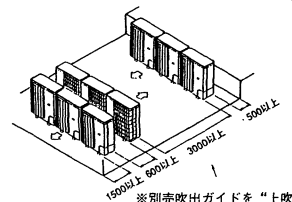
※別売吹出ガイドをご使用の場合は1000以上

※別売吹出ガイドをご使用の場合は1000以上

- (5) 1台多列設置の場合



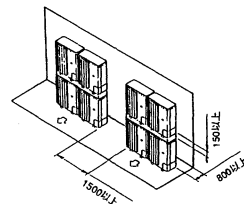
- (6) 複数台多列設置の場合



※別売吹出ガイドを“上吹き”でご使用の場合1000以上

※別売吹出ガイドを“上吹き”でご使用の場合1500以上

- (7) 段積み設置の場合



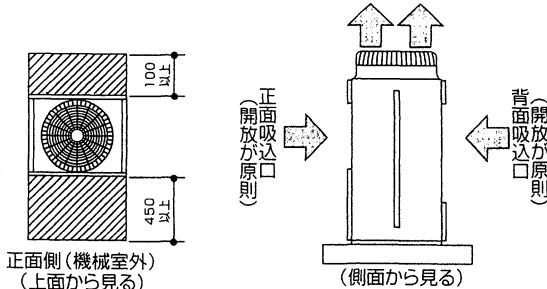
※段積みは2段までとしてください。  
※横連続設置は2台までとし、それ以上の場合は左図に示すスペースを確保してください。

## ■ PUK-P224・280(U)AW-A形

### ① 単独設置の場合【必要空間の基本】

後面側は吸込空気の関係上100mm以上必要ですが、後面からのサービス等を考慮した場合、前面同様450mm程度開いていた方が便利です。

上面吹出口 (開放が原則)



正面側 (機械室外)  
(上面から見る)

(側面から見る)

### (ハ) 据付スペース

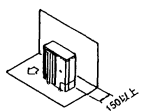
#### (I) 室外ユニット

#### ■ PUK-P140AW-A形

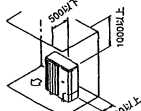
- 別売エアガイド (PAC-SF09AG) を使用する場合は、エアガイドの説明書または技術資料の指示に従って据付けてください。

#### 1) 単独設置時の周囲必要空間

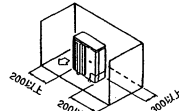
- (1) 背面に障害物がある場合 (正面、側面、上方は開放)



- (2) 背面と上方に障害物がある場合 (正面、側面は開放)

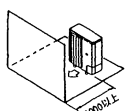


- (3) 背面と側面に障害物がある場合 (正面、上方は開放)



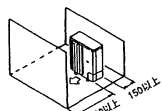
※別売吹出ガイドを“上吹き”でご使用にならないでください。

- (4) 正面に障害物がある場合 (背面、側面、上方は開放)



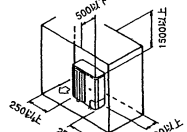
※別売吹出ガイドをご使用の場合は500以上。

- (5) 背面と正面に障害物がある場合 (側面、上方は開放)



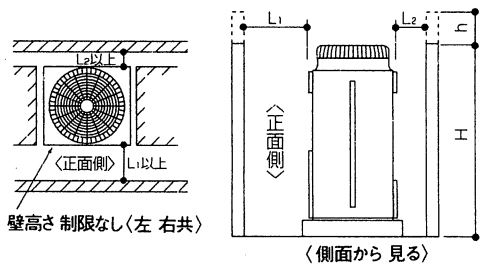
※別売吹出ガイドをご使用の場合は500以上。

- (6) 背面と側面および上方に障害物がある場合 (正面は開放)



※別売吹出ガイドを“上吹き”でご使用にならないでください。

【ユニット左右から吸込空気が入る場合】

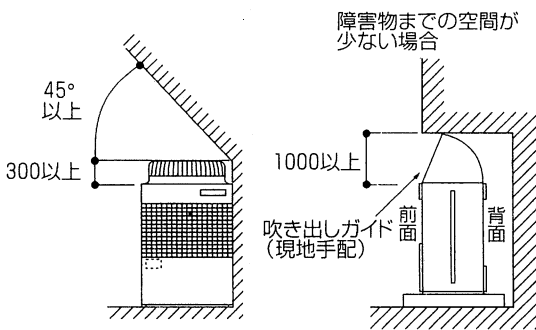


(注)・前、後の壁高さ<H>は、ユニットの全高以下のこと。  
・前、後の壁高さ<H'>がユニットの全高を超える場合は、上図のh寸法を右表のL<sub>1</sub>、L<sub>2</sub>に加算してください。

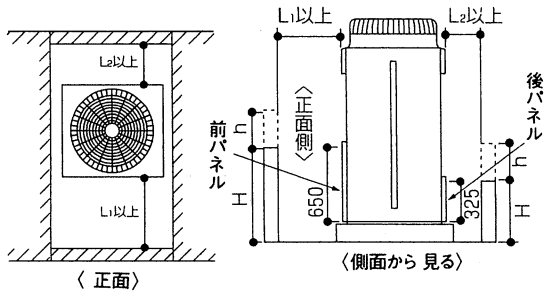
$h = \text{壁高さ} < H' > - \text{パネル高さ}$

L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>
450	100

【ユニットの上方に障害物がある場合】



【ユニット周囲が壁の場合】

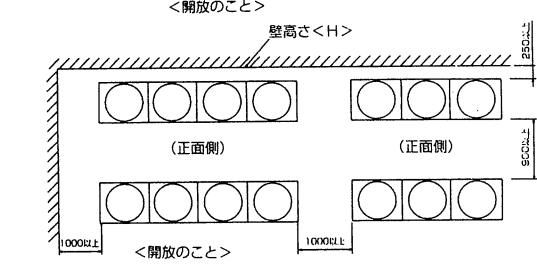
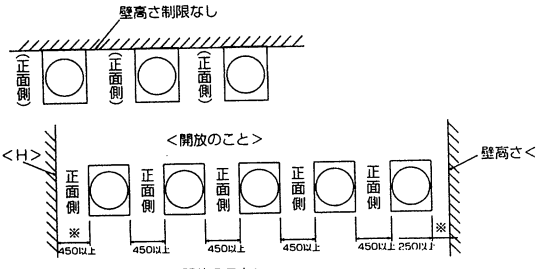
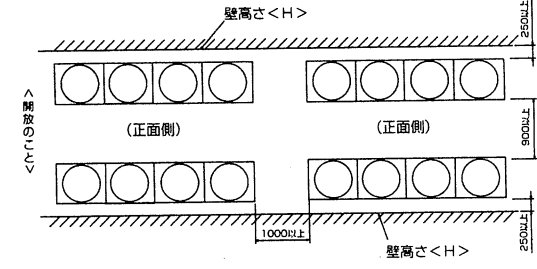
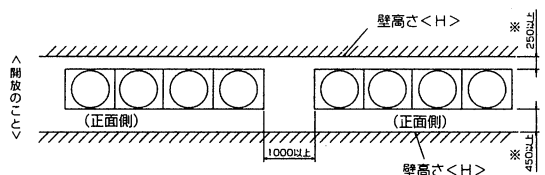


(注)・前、後の壁高さ<H>はユニットの前後パネルの高さ以下のこと。  
・前、後の壁高さ<H'>がパネル高さを越える場合は上図のh寸法を下表のL<sub>1</sub>、L<sub>2</sub>に加算してください  
 $h = \text{壁高さ} < H' > - \text{パネル高さ}$   
例  $h = 100$ の場合  
 $L_1$ 寸法は $450 + 100 = 550$ となります。

L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>
450	100

①集中設置・連続設置の場合

多数のユニットを設置する場合は、人の通路、風の流通を考慮して、各ブロック間に下図スペースをとってください。



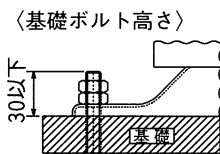
- 2方向は開放としてください。
- 壁高さ<H>がユニットの全高を超える場合は※印の寸法にh寸法 ( $h = \text{壁高さ} < H' > - \text{ユニット全高}$ )を加えてください。
- ユニット前後に壁がある場合は、側面方向への連続設置は最大4台とし、4台毎に吸込スペース兼通路スペースとして、1000mm以上をとってください。

(二)据付

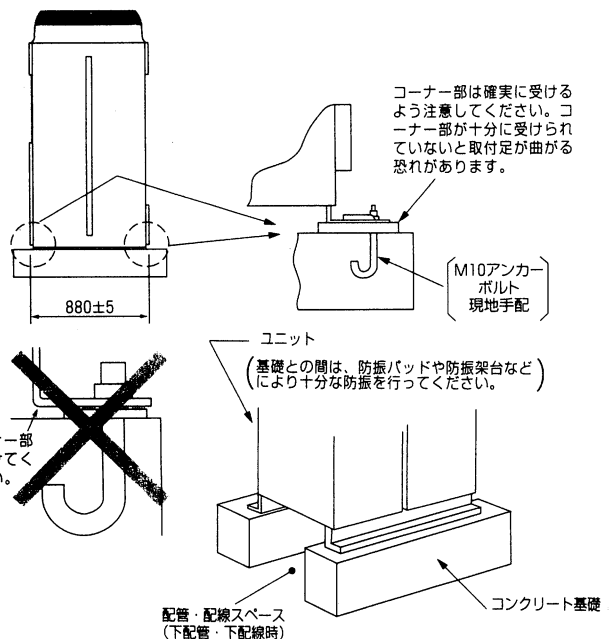
- ユニットが地震や突風などで倒れないように、下図のようにボルトで強固に固定してください。
- ユニットの基礎は、コンクリートまたはアングル等の強固な基礎としてください。
- 据付条件によっては、振動が据付部から伝搬し、床や壁面から、騒音や振動が発生する場合がありますので、充分な防振工事(防振パッド、防振架台など)を行ってください。

①PUK-P140AW-A形

M10の基礎ボルトでユニットの据付足を4ヶ所強固に固定してください。  
(基礎ボルト、座金、ナットは現地手配です。)



②PUK-P224・280 (U) AW-A形



**警告**

据付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。  
強度が不足している場合には、ユニット落下によりけがの原因になります。

**警告**

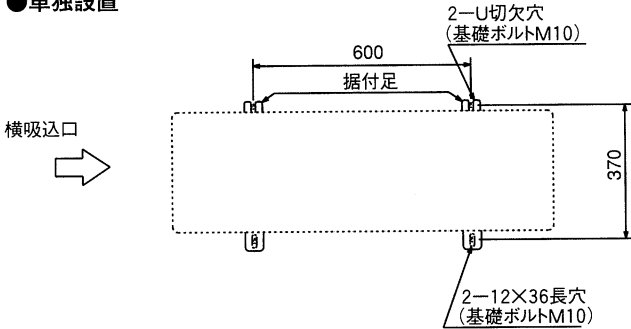
台風等の強風、地震に備え、所定の据付工事を行ってください。  
据付工事に不備があると、転倒等による事故の原因になります。

基礎施工に際しましては床面強度、ドレン水処理<運転時にはドレン水が機外に流出します>、配管、配線の経路に十分留意してください。

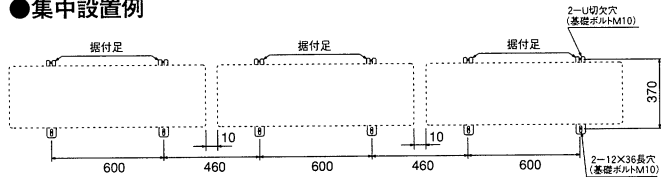
**(ホ) アンカーボルト位置**

**① PUK-P140AW-A形**

● 単独設置



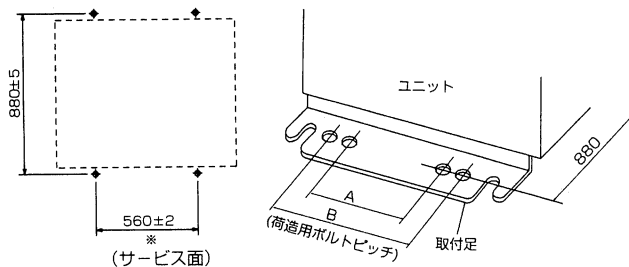
● 集中設置例



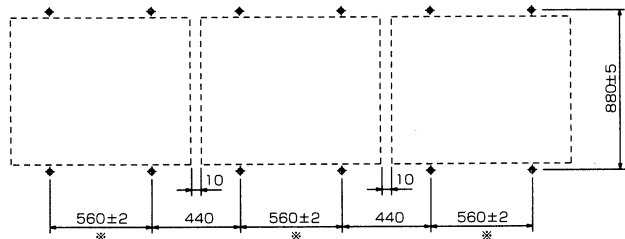
集中設置時、ユニット間には10mmのすきまを設けてください。

**② PUK-P224・280 (U) AW-A形**

● 単独設置



● 集中設置例

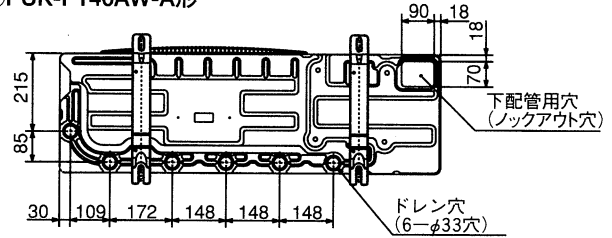


集中設置時、ユニット間には10mmのすきまを設けてください。

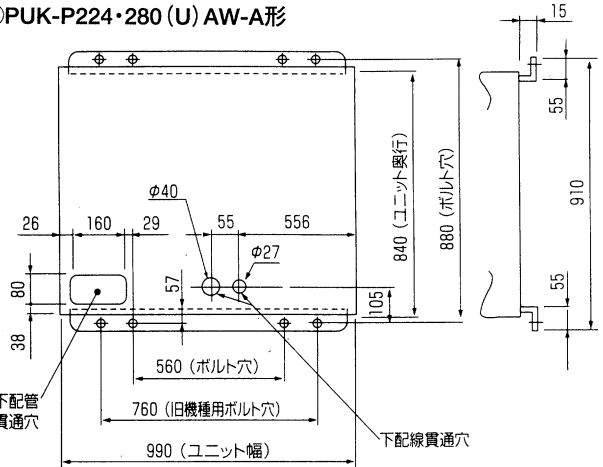
**(ヘ) 下配管・下配線時の注意**

下配管または下配線を行う場合は、ベースの貫通穴を塞がないように基礎や架台の施工には注意してください。また、下配管する時にはユニットの底下に配管が通るように100mm以上の高さの基礎を設けてください。

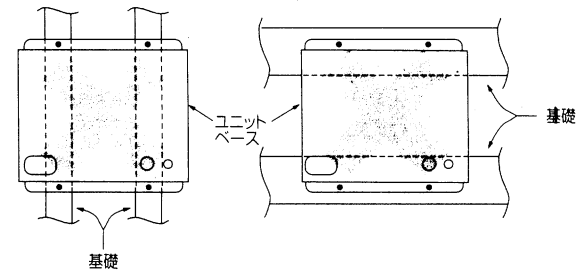
**① PUK-P140AW-A形**



**② PUK-P224・280 (U) AW-A形**



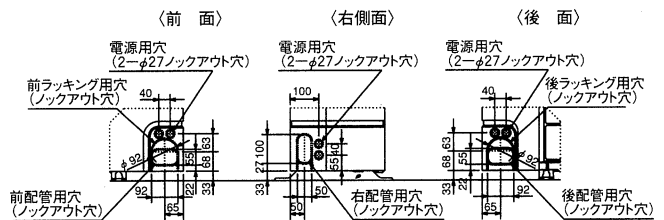
注：下配管する場合は、本体の底下に配管が通るように高さ100mm以上の基礎を設けてください。



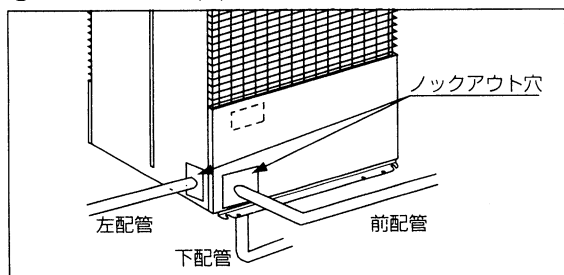
**(ト) 冷媒配管取出し方向**

室外ユニットの冷媒配管取出し方向は、下図のように下配管、右配管 (P140形)、左配管 (P224、280形) の3通りが可能です。後配管 (P224、280形) を行う場合は、別売の「後配管キット」を使用してください。但し、集中設置、連続設置時等、ユニット右側または左側に他のユニットが連結された場合、そのユニットの右配管または左配管はできません。

**① PUK-P140AW-A形**



**② PUK-P224・280 (U) AW-A形**



上図のような基礎や架台の施工の場合には、貫通穴が塞がれるため、下配管および下配線ができなくなります。

汎用・中温用・産業用エアコン  
「オールフレッシュユ用」

## (II) 室内ユニット

### (イ) 据付場所の選定

- 吹出空気が部屋全体に行き渡る場所。
- 換入外気の影響のない場所。
- 吹出空気、吸込空気の流れに障害物のない場所。
- 油の飛沫や蒸気のない場所。
- 可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れの恐れのない場所。
- 高周波を発生する機械（高周波ウエルダー等）のない場所。
- 吹出口側に火災報知器（センサー部）が位置しないようにしてください。（暖房運転時に吹出温風により火災報知器が誤作動するおそれがあります。）
- 酸性の溶液などを頻繁に使用するところは避けてください。
- 特殊なスプレー（イオウ系）などを頻繁に使用するところは避けてください。

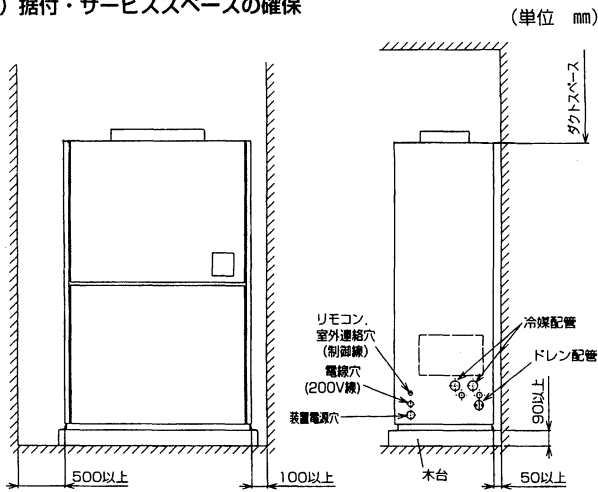
**警告**

据付けは、質量に充分耐える場所に  
確実に行なってください。

- 強度不足の場合は、ユニットの転倒により、ケガの原因になります。

(1) 室内ユニットの質量に充分耐える強固な構造の床に据付けます。

(2) 据付・サービススペースの確保



- 強固な床面を選定し、ドレン排水の便を図るため、ならびにエアコンから床への振動伝播防止のため、9cm以上の木台を使用してください。

\*本図は、P530形室内ユニットを示しています。他の機種についても必要スペース寸法は同じです。

### (ロ) 据付

#### 注意

- ユニットは水平に据付け。
- 傾いていると、水滴れや故障の原因になります。必ず水準器等で水平を確認してください。

#### 注意

- 梱包材の処理は確実に行う。
- 梱包材にはクサ等の金属あるいは木片等を使用していますので、放置しますとさし傷等の原因になります。
- 梱包用のポリ袋で子供が遊ばないように、破いてから廃却してください。窒息事故の原因になります。

#### 注意

- 製品の運搬には十分注意する。
- 20kg以上の製品の運搬は、一人では行わないでください。
- 製品によってはPPバンドによる梱包を行っていますが、危険ですので運搬の手段に使用しないでください。
- 熱交換器フィン表面で切傷等がある場合がありますので、素手で触れないでください。
- 室外ユニット等吊りボルトによる搬入を行う場合は、確実に4点支持で実施してください。3点支持等で運搬吊り下げると不安定になり、落下等の原因になります。

### (ハ) ユニットの据付

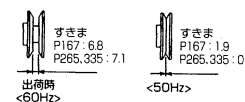
- 室内ユニットは、据付場所まで梱包のまま搬入してください。
- 現地手配のアンカーボルトを前項のサービススペースとの位置関係に留意して強固に設置してください。
- \*アンカーボルトサイズ P167・265・335形：φ8(M8ネジ)、P530・670形：φ8(M8ネジ)
- 室内ユニットは必ず水平に据付けてください。傾斜して据付けますと、本体の重心が中央にあるため倒れるおそれがあります。また、ドレン漏れ等の事故に至る場合がありますので、必ず水平に据付けてください。

#### 警告

本体が必ず水平になるように、据付けてください。

電動機プリーの調整 ※P167・265・335形の場合のみ

標準機外静圧の場合、電動機プリー（可変プリー）は60Hz地区用にセットしています。50Hz地区で使用の場合は、電動機プリーを右記方法に調整してください。（調整方法は下記「可変プリーの調節方法」を参照ください。）



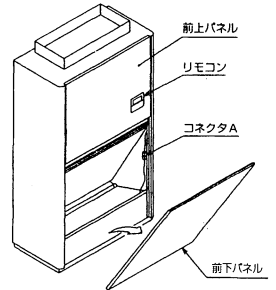
#### ダクト接続時のお願い

- ダクトの接続には、ユニットとダクトの間にキャンバスダクトを入れてください。
- ダクトの部品には不燃材料を使用してください。
- ダクトおよびフランジには十分な断熱・防音を行ってください。
- アルミ製フレキシブルダクト等の軽い材料のご使用はダクト振動により騒音が出る場合がありますので、避けてください。
- 吸込ダクト接続する場合には、冷媒配管・ドレン配管のパネル貫通部をシール材（現地手配）にてシールしてください。

#### 本体前面の前上パネル取外し時のご注意

プリーおよびベルトの調整や交換、別売部品の組み込み等で、前上パネル（リモコン埋め込みパネル）を取外す時は、パネルを取外す前に、リモコンへの配線を外す必要があります。

- 必ず、下記手順にて実施してください。
- (1) 本体下側の前下パネルを事前に引いて外してください。
- (2) 右図に示すリモコン配線のコネクタAを抜いてください。  
※このコネクタは、必ず抜いてください。抜かずに前上パネルを外すと、リモコン配線を破損する恐れがあります。
- (3) 前上パネルの固定ネジ2本を外して、パネル下側を事前に開き、リモコン配線（コネクタA）を上へ引き出してください。
- (4) 前上パネルを上へ持ち上げて取外してください。  
※外したパネルを地面などに下ろす場合、地面との間に配線やコネクタを挟まないように注意してください。



### (ニ) プリーおよびベルトについて

● 可変プリーの調節方法（※P167・265・335形のみ）

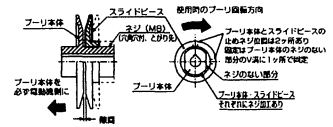
下記の調節方法に従って可変プリーのPCφを調節してください。

- ① プリー本体とスライドピースを固定している止めネジをゆるめます。
- ② スライドピースを左側にまわし、プリー本体との隙間を0mmにしてください。
- ③ 裏にて希望のPCφよりも近いPCφにスライドピースのまわし回転数を合わせます。
- ④ 止めネジによりプリー本体とスライドピースを固定します。（締付トルク：13.5N・m）  
止めネジはプリー本体のネジのない部分のV溝に挿入して固定します。
- ⑤ 試運転を行いプリーのゆるみなど問題のないことを確認してください。なお、試運転終了後にスライドピースの止めネジにゆるみがないことを確認してください。

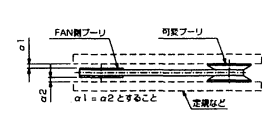
注、希望回転数が送風機性能線図の使用範囲内であることを確認してください。（使用範囲外では送風機の過電流継電器が作動します。）

#### 注意

1. プリー本体が必ず自動機側になるように使用してください。（スライドピースを電動機側にして使用しないでください。）図1参照
2. 可変プリーの調節の行った後は、必ず平行度（凸出し）の調節を行ってください。（可変プリーはV溝の隙間が可変するため平行度（凸出し）の調節は図2のように定規等を当てて左右の隙間が同じになるようにしてください。）
3. 表1の隙間は参考値です。可変プリーのPCφはスライドピースのまわし回転数で合わせてください。



(図1) 可変プリー



(図2) 可変プリー使用時の平行度の調節

(表1) 可変プリーPCφ一覧表

スライドピースの回転数	0	1/4	1/2	3/4	1	1-1/4	1-1/2	1-3/4	2	2-1/4	2-1/2	2-3/4	3	3-1/4	3-1/2	3-3/4	4	4-1/4	4-1/2	4-3/4
隙間(mm)	(0)	(0.4)	(0.8)	(1.1)	(1.5)	(1.9)	(2.3)	(2.6)	(3.0)	(3.4)	(3.8)	(4.1)	(4.5)	(4.9)	(5.3)	(5.6)	(6.0)	(6.4)	(6.8)	(7.1)
0.75kW以下 送風機標準	100.0	88.8	97.5	96.3	95.1	93.9	92.6	91.4	90.2	89.0	87.7	86.5	85.3	84.1	82.8	81.6	80.4	79.1	77.9	76.7
1.5kW以下 送風機標準	140.0	138.8	137.5	136.3	135.1	133.9	132.6	131.4	130.2	129.0	127.7	126.5	125.3	124.1	122.8	121.6	120.4	119.1	117.9	116.7
2.0kW以下 送風機標準	150.0	148.8	147.5	146.3	145.1	143.9	142.6	141.4	140.2	139.0	137.7	136.5	135.3	134.1	132.8	131.6	130.4	129.1	127.9	126.7

#### ● プリーの平行度・ベルト張りについて

- (1) ファンプリーと電動機プリーの平行度は、図3・表2の内容を満足するようにセットしてください。
- (2) ベルトの一本当たりの張力はたわみ量の値を右式にて計算し、 $L=0.016XC$  C:プリーの軸間距離(mm)の時のたわみ荷重Wが表3の範囲内になるようにセットしてください。
- (3) ベルトがプリーにまじんだ後（運転後24～28時間以後）ベルトの緩みがないか確認し、緩みがある場合には(2)項の適正張りに調整するようにしてください。また、新しいベルトの場合は、たわみ荷重Wの最大値の約1.3倍程度に調整するようにしてください。
- (4) (3)項の初期のび調整の後、2000時間ごとに張り再調整を行ってください。  
[ベルトは初期のび（約1%）を含め、ベルト周長が2%のびた時点で寿命です。（運転時間で約8000時間）]

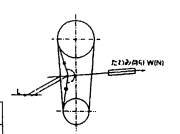
(表2) プリー同士の平行度

プリー	平行度	K (分)	備考
電動機プリー	10以下	1m当り3mmのずれに相当	

(表3) Vベルトのたわみ荷重

Vベルトの規格	たわみ荷重W(N)	備考
A形	65～80	11～14 P167形標準の場合
A形	81～90	13～17 P265・335形の場合
B形	91～105	16～20 P530形標準の場合
	106～	19～24 P335形標準の場合
	B形	22～29 P530～P670形標準の場合

(図3) プリーの平行度

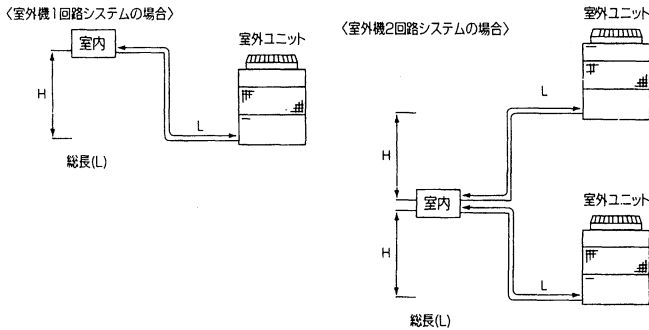


(図4) ベルトの張り

(b) 冷媒配管工事

(I) 配管の制限

室外ユニット形名	配管サイズ		配管実長L 最遠実長 (室内~室外間)	高低差H 室内 ~ 室外	バンド数
	ガス側	液側			
P140AW-A形	φ19.05	φ9.52	50m	40m	15力所
P224AW-A形	φ25.4	φ12.7	50m	40m	15力所
P280AW-A形	φ28.58				
P224UAW-A形	φ25.4	φ12.7	100m	40m	30力所
P280UAW-A形	φ28.58				



(II) 冷媒追加充填量の算出方法

- 冷媒のオーバーチャージをしないよう十分に注意してください。オーバーチャージは圧縮機故障の原因になります。
- 冷媒は工場出荷時、室外機下表の値を封入していますが、延長配管分及び室内機分は含まれていませんので、現地にて追加充填してください。(P140形は30mまで冷媒追加チャージ不要です)。

室外機形名	PUK-P140AW-A	PUK-P224AW-A	PUK-P280AW-A	PUK-P224UAW-A	PUK-P224UAW-A
工場出荷時封入冷媒量	4.6kg	6.0kg	6.5kg	7.0kg	7.5kg

① PUK-P140AW-A形

冷媒追加チャージ量 (kg)			
31~35m以下	36~40m以下	41~45m以下	46~50m以下
0.3kg	0.3kg	0.6kg	0.6kg

② PUK-P224・280 (U) AW-A形

計算式  
追加充填量は、延長配管の液管サイズとその長さ (単位: m) で算出します。

・延長配管長50(m)までの場合

$$\text{追加充填量 (kg)} = 0.05 \times L + K$$

L: 液管 φ12.7の延長配管長 (m)  
K: 室内機1回路分0.5 (kg)

・延長配管長50~100(m)までの場合

$$\text{追加充填量 (kg)} = 0.11 \times (L - 50) + K + P$$

L: 液管 φ12.7の延長配管長 (m)  
K: 室内機1回路分0.5 (kg)  
P: 延長配管長50(m)分2.5 (kg)

(c) 雪・季節風に対する注意

寒冷地域や積雪の予想される地域で、冬季にユニットを正常に運転するためには、十分な防風、防雪対策が必要です。その他の地域でも、季節風や降雪の影響による異常運転を防止するために、ユニットの設置に際して十分な配慮をお願いします。また、外気10℃以下で冷房運転を実施する場合、ユニットに直接風・雨・雪が当たる時は、ユニットの安定した運転を得るために、ユニットに吹出ダクト、吸込ダクトを取付けるようにしてください。

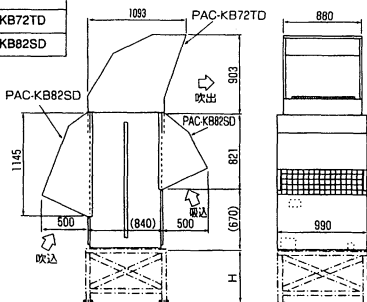
(I) 寒冷地域・積雪地域での防風・防雪対策

下図に防雪フード組込図を示しますので参考にしてください。

防雪フード組込図

① PUK-P224・P280(U)AW-A

オプション部品	形名
吹出ダクト	PAC-KB72TD
吸込ダクト	PAC-KB82SD

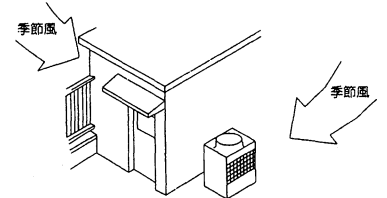


(注)

- 防雪架台の高さ<H>は、予想される積雪量の2倍程度としてください。また、架台はアンブル鋼材等で組立て、風雪の素通りする構造とし、架台の幅はユニットの寸法より大きくならないよう決定してください。(大きくすると上に積雪します)
- 本図を参考として現地にて架台の製作、施工を実施してください。  
材質: 亜鉛メッキ鋼板 1.2T  
塗装: ポリエステル粉体全面塗装  
色: マンセル 5Y8/1(本体同色)
- 寒冷地域での使用で、外気が氷点下以下の暖房運転を連続的に長期間使用する場合には、ユニット

(II) 季節風対策

下記例を参考にして据付場所の実情に応じた適当な措置を施してください。  
(注)ユニット設置時季節風が吹出口、吸込口の正面から当たらないように配慮してください。



(III) 雪に対する注意

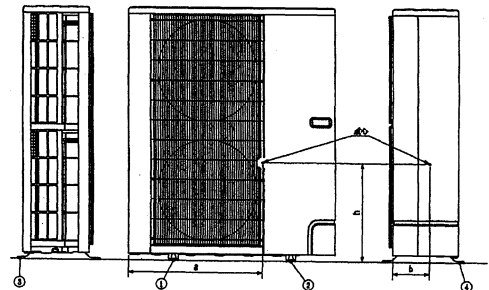
積雪の予想される地域では、十分な防雪対策(雪よけ屋根等の設置)が必要です。ユニットの設置に際しては十分な配慮をお願いします。(槽の積雪について考慮した構造にしていますが、環境条件(雪質等)及び設置状況により、ユニットへの負担は変わります。従って、ユニットの故障防止及び安全のため積雪が0.5mを超える場合は早めに雪おろししてください。また、屋根から雪が落ちる場所への設置は避けてください。

(9) 重心位置

(a) 室外ユニット

① PUK-P140AW-A形

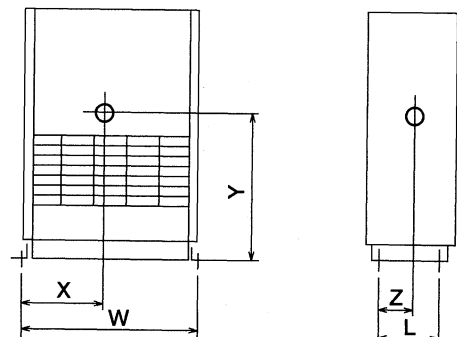
型式	項目	製品質量 (kg)	重心位置 (mm)		
			a	b	c
PUK-P140AW-A		108	660	160	580



② PUK-P224・280 (U) AW-A形

形名	A			B			C		
	990	840	1490	560	215	880	990	840	1490
PUK-P224AW-A形	49	115	350						
PUK-P280AW-A形	51	85	330						
PUK-P224UAW-A形	49	105	370						
PUK-P280UAW-A形	51	75	350						

(b) 室内ユニット



形名	X	Y	Z	W	L
PFAK-P167AW(M)-A-F形	388	799	159	794	300
PFAK-P265AW(M)-A-F形	467	798	163	1014	300
PFAK-P335AW(M)-A-F形	573	825	161	1234	300
PFAK-P530AW(M)-A-F形	567	1009	230	1230	440
PFAK-P670AW(M)-A-F形	647	1008	231	1450	440

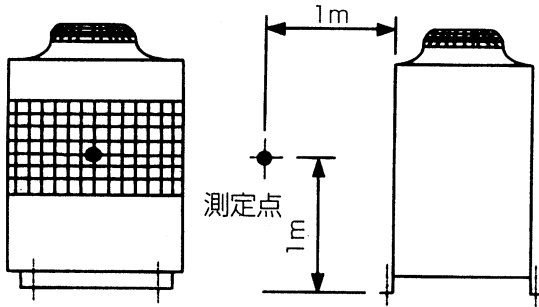
汎用・中温用・産業用エアコン  
(オールフレッシュユ用)

# (10) 騒音

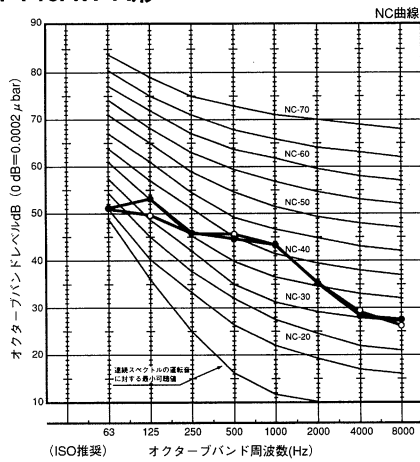
## (a) 室外ユニット

測定場所: 無響音室

測定点: 前方1m 高さ1m

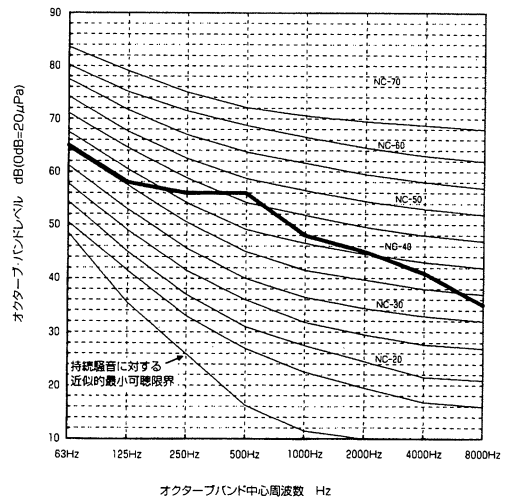


### PUK-P140AW-A形



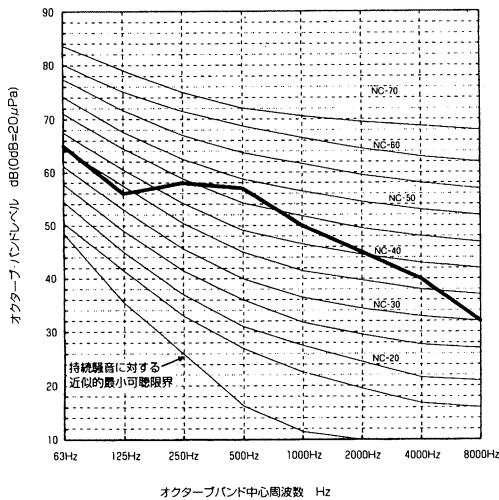
### PUK-P224 (U) AW-A形

		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性
冷凍	50Hz	65	58	56	56	48	45	41	35	56
冷凍	60Hz	65	58	56	56	48	45	41	35	56



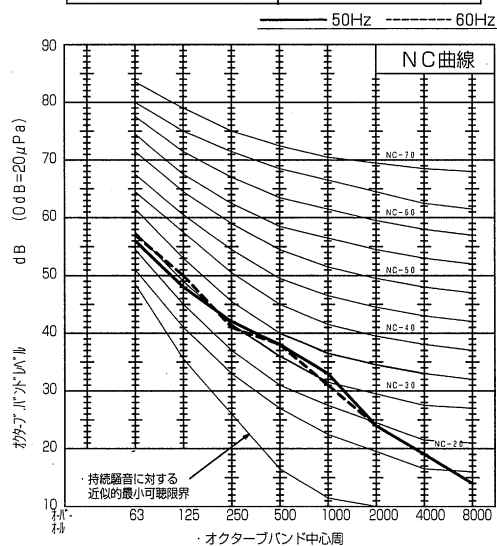
### PUK-P280 (U) AW-A形

		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性
冷凍	50Hz	65	56	56	57	50	45	40	32	57
冷凍	60Hz	65	56	56	57	50	45	40	32	57

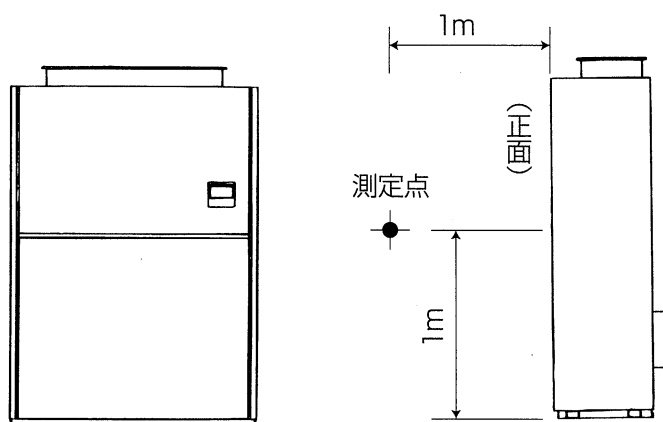


(b)室内ユニット

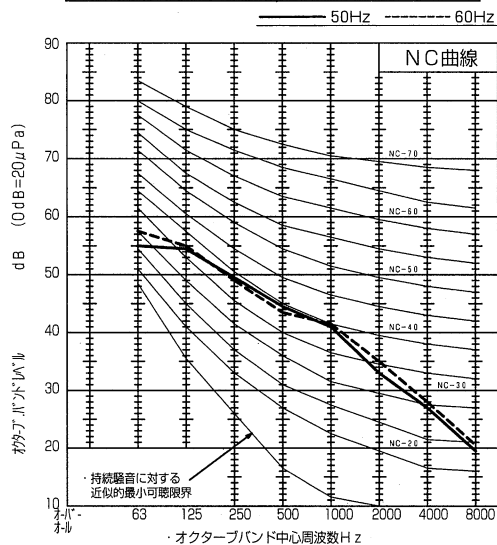
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P167AW(M)-A-F	40/40



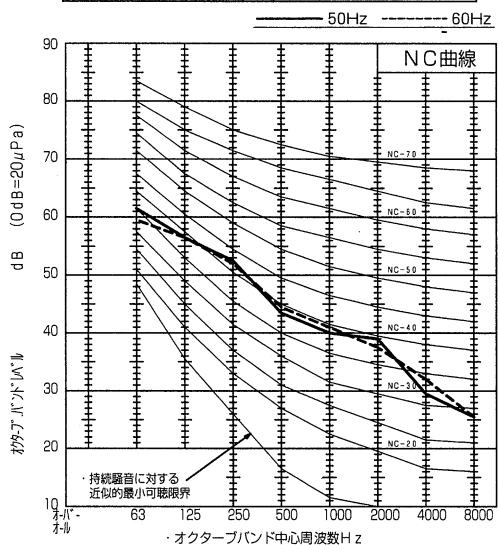
測定条件 無響音室:暗騒音25dB(A)以下



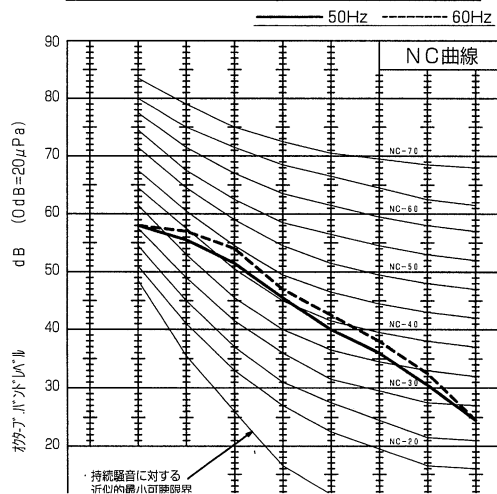
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P265AW(M)-A-F標準	47/47



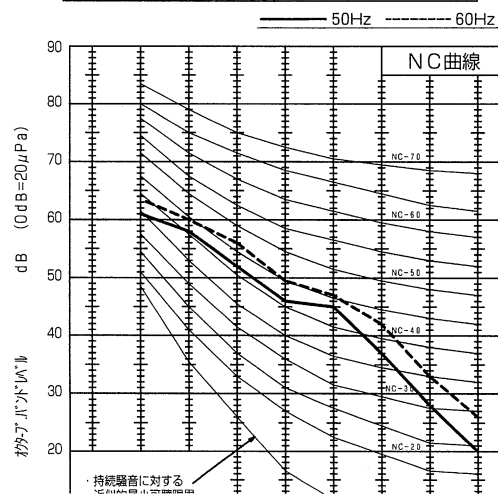
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P335AW(M)-A-F標準	48.5/48.5



形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P530AW(M)-A-F標準	48/50



形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P670AW(M)-A-F標準	50/53

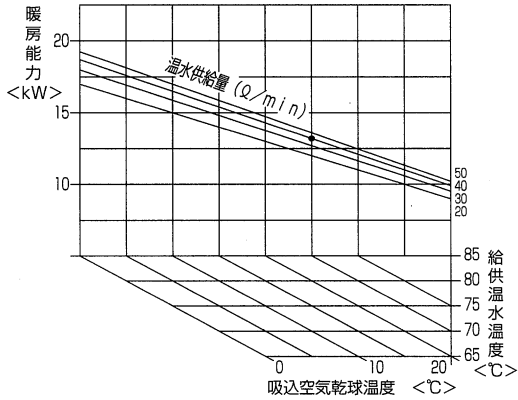


汎用・中温用・産業用エアコン  
〈オールフレッシュ用〉

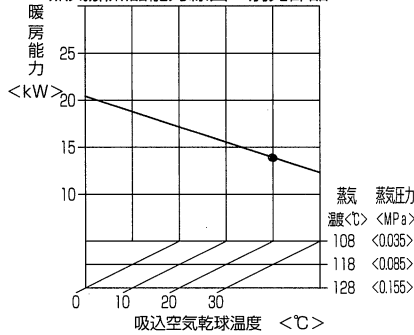


## PFAC-P167AW(M)-A-F形

温水加熱器能力線図<別売部品>



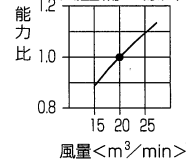
蒸気加熱器能力線図<別売部品>



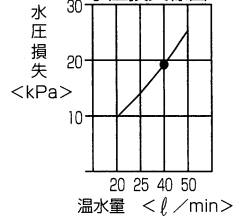
使用上のご注意<蒸気・温水加熱器>

1. 暖房プルアップ時 (又は常時) 吸い込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結する恐れがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる、等)
2. 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結する恐れがありますので必ず水抜きを実施してください。
3. 吹き出し空気温度が60℃以下になるように温水量、蒸気圧力等で調整してください。

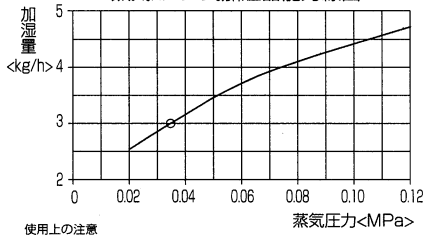
風量補正線図



水圧損失線図



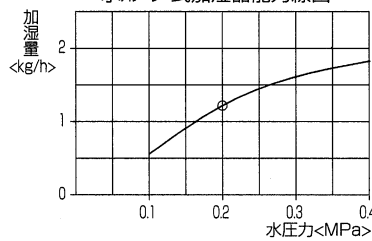
蒸気スプレー式加湿器能力線図



使用上の注意

1. 図は次の電磁弁と組み合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。<塞止弁にしてもよい> 組合せ電磁弁口径φ7
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水洩れが発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
3. 蒸気圧力は0.02~0.12MPaの範囲で使用して下さい。
4. サーマーモ停止時には加湿器をOFFするように製品本体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定 (出荷時の設定通り) でご使用ください。サーマ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合は、条件 (風量・蒸気圧・サーマ停止時間等) によっては加湿器からの蒸気が結露し、機外に霧が飛び出る場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み合わせてください。

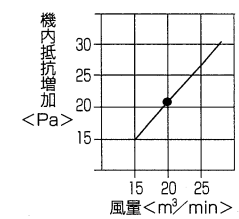
水スプレー式加湿器能力線図



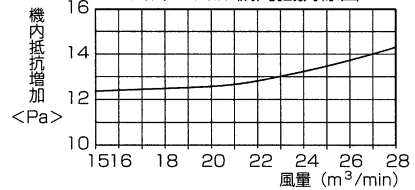
使用上の注意

1. 供給水としては60℃以下、水圧0.1~0.4MPaの範囲で使用してください。
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水洩れが発生することがあります。
3. 2倍形<ヘッダー本数2本>の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
4. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み合わせてください。

温水・蒸気加熱器機内抵抗線図

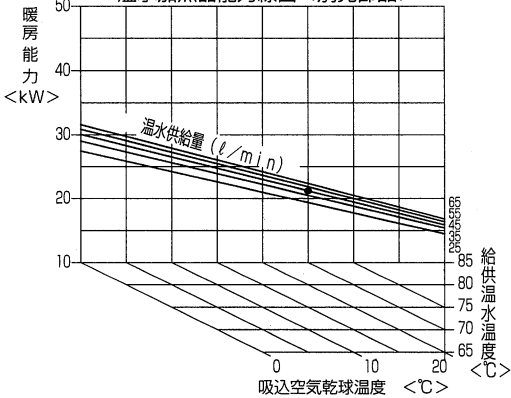


フィルドフィルタ機内抵抗線図

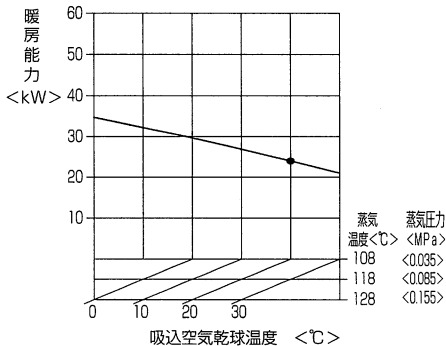


## PFAC-P265AW(M)-A-F形

温水加熱器能力線図<別売部品>



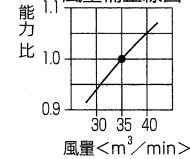
蒸気加熱器能力線図<別売部品>



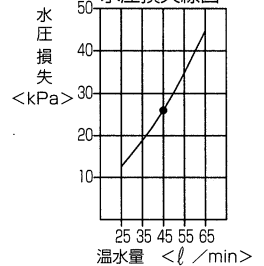
使用上のご注意<蒸気・温水加熱器>

1. 暖房プルアップ時 (又は常時) 吸い込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結する恐れがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる、等)
2. 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結する恐れがありますので必ず水抜きを実施してください。
3. 吹き出し空気温度が60℃以下になるように温水量、蒸気圧力等で調整してください。

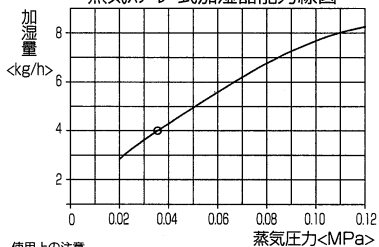
風量補正線図



水圧損失線図



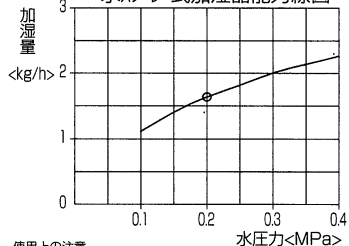
蒸気スプレー式加湿器能力線図



使用上の注意

1. 図は電磁弁と組み合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。<塞止弁にしてもよい> 組合せ電磁弁口径φ7
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水洩れが発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
3. 蒸気圧力は0.02~0.12MPaの範囲で使用して下さい。
4. サーマーモ停止時には加湿器をOFFするように製品本体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定 (出荷時の設定通り) でご使用ください。サーマ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合は、条件 (風量・蒸気圧・サーマ停止時間等) によっては加湿器からの蒸気が結露し、機外に霧が飛び出る場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み合わせてください。

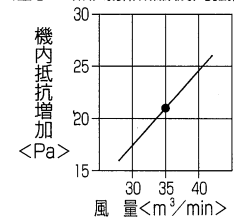
水スプレー式加湿器能力線図



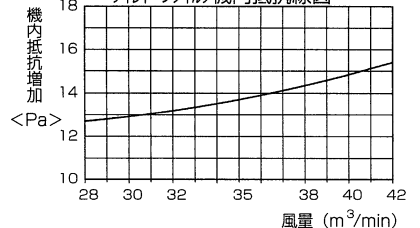
使用上の注意

1. 供給水としては60℃以下、水圧0.1~0.4MPaの範囲で使用してください。
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水洩れが発生することがあります。
3. 2倍形<ヘッダー本数2本>の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
4. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み合わせてください。

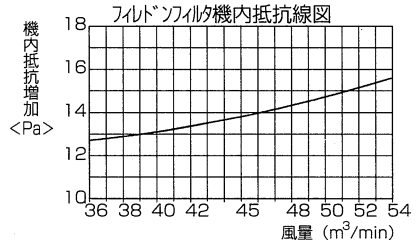
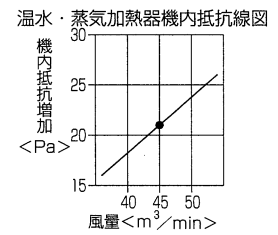
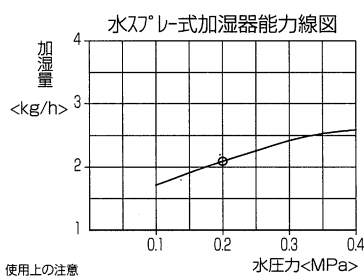
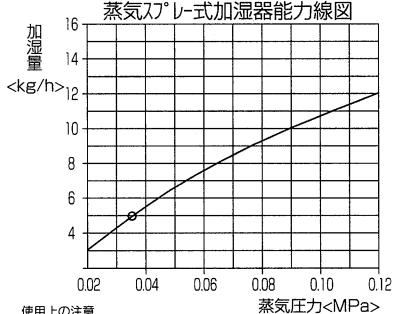
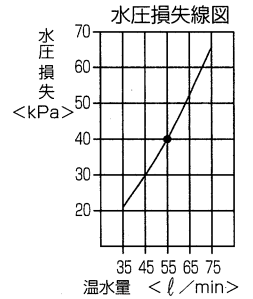
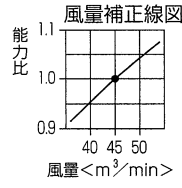
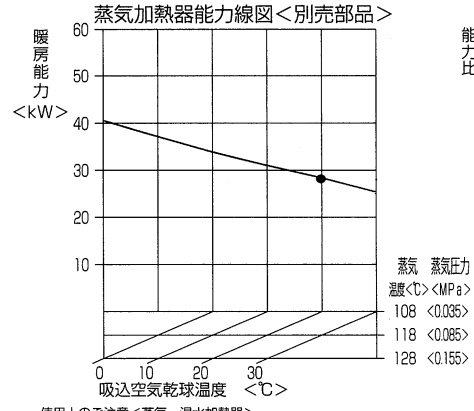
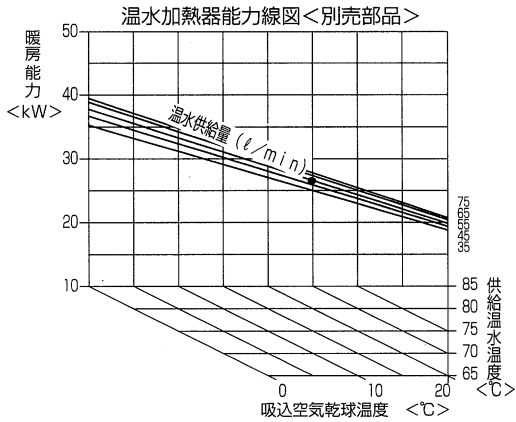
温水・蒸気加熱器機内抵抗線図



フィルドフィルタ機内抵抗線図



# PFAK-P335AW(M)-A-F形



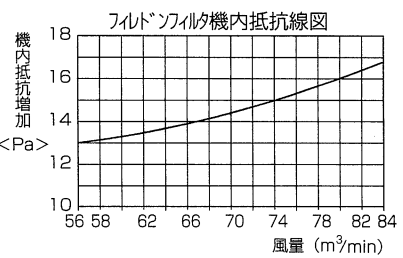
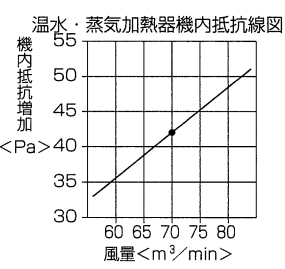
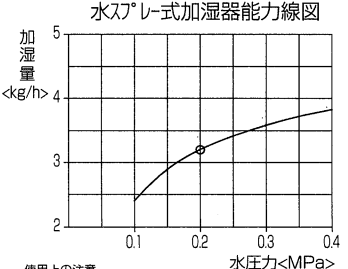
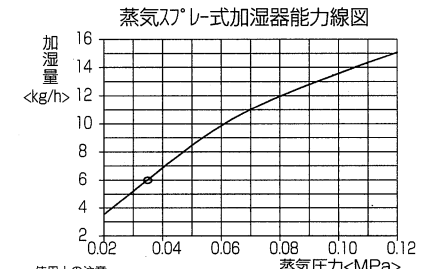
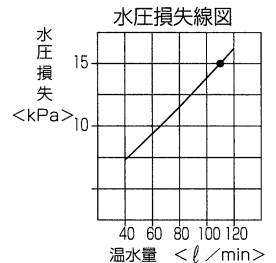
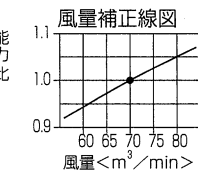
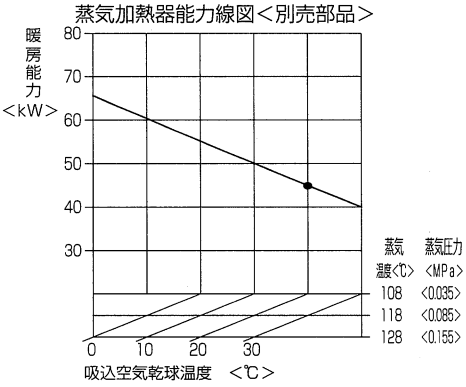
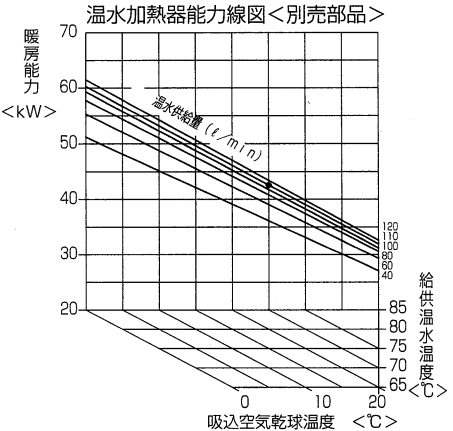
使用上の注意

- 図は電磁弁と組み合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。<塞止弁にしてもよい> 組合せ電磁弁口径 φ7
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水洩れが発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
- 蒸気圧力は0.02~0.12MPaの範囲で使用して下さい。
- サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定(出荷時の設定通り)でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件(風量・蒸気圧・サーモ停止時間等)によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に霧が飛び出る場合があります。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み合わせてください。

使用上の注意

- 供給水としては60°C以下、水圧0.1~0.4MPaの範囲で使用してください。
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水洩れが発生することがあります。
- 2倍形<ヘッド本数2本>の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み合わせてください。

# PFAK-P530AW(M)-A-F形



使用上の注意

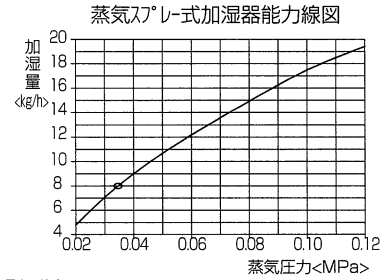
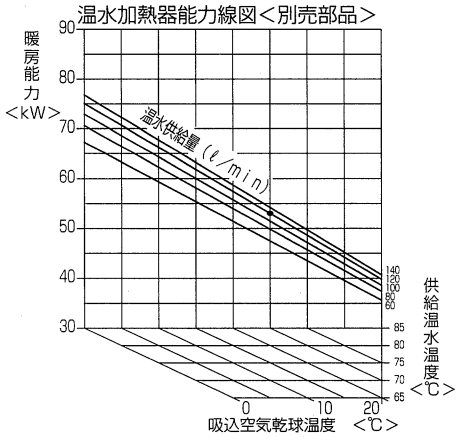
- 図は電磁弁と組み合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。<塞止弁にしてもよい> 組合せ電磁弁口径 φ7
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水洩れが発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
- 蒸気圧力は0.02~0.12MPaの範囲で使用して下さい。
- サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定(出荷時の設定通り)でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件(風量・蒸気圧・サーモ停止時間等)によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に霧が飛び出る場合があります。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み合わせてください。

使用上の注意

- 供給水としては60°C以下、水圧0.1~0.4MPaの範囲で使用してください。
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水洩れが発生することがあります。
- 2倍形<ヘッド本数2本>の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み合わせてください。

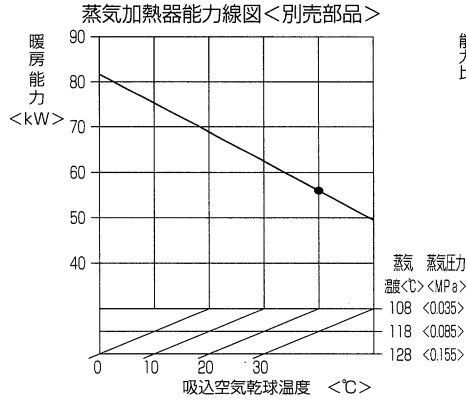
汎用・中温用・産業用エアコン  
(オールフレッシュ用)

# PFAK-P670AW(M)-A-F形



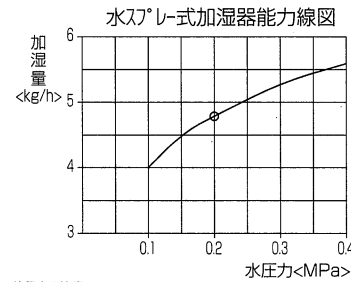
#### 使用上の注意

1. 図は電磁弁と組み合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。<塞止弁にしてもよい> 組合せ電磁弁口径 φ7
2. 必要以上の圧力・流量で使用しますと機外への水洩れが発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
3. 蒸気圧力は0.02~0.12MPaの範囲で使用して下さい。
4. サーマ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4をOFFの設定（出荷時の設定通り）でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件（風量・蒸気圧・サーモ停止時間等）によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に霧が飛び出る場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込んでください。



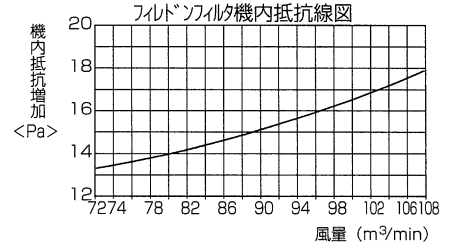
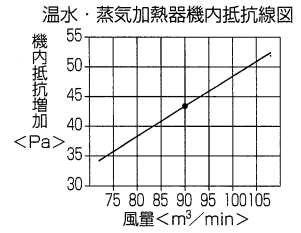
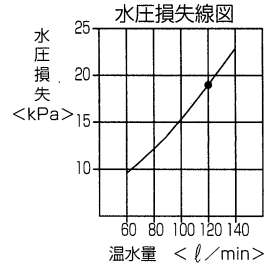
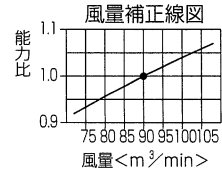
#### 使用上のご注意<蒸気・温水加熱器>

1. 暖房プルアップ時（又は常時）吸込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結する恐れがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。（温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力を下げる、等）
2. 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結する恐れがありますので必ず水抜きを実施してください。
3. 吹き出し空気温度が60℃以下になるように温水量、蒸気圧力で調整してください。



#### 使用上の注意

1. 供給水としては60℃以下、水圧0.1~0.4MPaの範囲で使用してください。
2. 必要以上の圧力・流量で使用しますと、機外への水洩れが発生することがあります。
3. 2倍形<ヘッター本数2本>の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
4. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込んでください。



## 8.1.2 オールフレッシュ用パッケージエアコン<PWT-F形>

### (1) 標準仕様

#### (a) 水冷式 <PWT-F形>

項目	形名	PWT-J170G-F	PWT-J265G-F	PWT-J335G-F	PWT-J530G-F	PWT-J710G-F		
標準性能※1	定格冷房能力	kW	15.0/17.0	23.6/26.5	30.0/33.5	47.5/53.0	63.0/71.0	
	定格電源		三相200V 50/60Hz					
	定格消費電力	kW	4.0/5.0	6.1/7.6	8.1/9.9	12.2/15.1	15.9/19.3	
	運転電流	A	14.1/15.5	21.7/23.8	28.2/31.1	44.0/47.4	55.3/60.3	
	運転力率	%	82/93	81/92	83/92	80/92	83/92	
	始動電流	A	105/90	145/125	210/185	<170/155>×2	<285/225>×2	
外装<マンセル記号>		アーバンホワイト<3.4Y7.7/0.8>						
外形寸法	高さ	mm	1,748			1,850		
	幅	mm	980	1,200	1,420	1,640	1,860	
	奥行	mm	485			635		
	分割可能寸法	mm	—			1,315+535		
圧縮機	形式×台数		全密閉×1			全密閉×2		
	始動方式		直入			直入<順次>		
容量制御	称呼出力	kW	3.75	5.5	7.5	5.5×2	7.5×2	
	容量制御		100-50-0 ※2					
冷凍能力	1日冷凍能力	法定トン	1.69/1.99	2.62/3.07	3.39/3.97	<2.62/3.07>×2	<3.39/3.97>×2	
	電熱器<クランクケース>	W	—	50	60	50×2	60×2	
冷凍機油	種類×封入量	ℓ	スニソ3GSD2.0	スニソ3GSD2.6	スニソ3GSD3.2	スニソ3GSD2.6×2	スニソ3GSD3.2×2	
	種類×封入量	kg	R22×1.5	R22×2.0	R22×2.8	R22×2.0×2	R22×2.8×2	
凝縮器	制御方式		毛細管					
	形式×個数		湿式二重管×1			湿式二重管×2		
冷却回路	冷却水回路		2	3	4	3×2	4×2	
	冷却器形式		クロスフィン					
送風機	形式×個数		シロッコファン×1		シロッコファン×2			
	標準風量	m³/min	18	27	36	54	72	
	標準機外静圧	Pa	100/150	100/180	180/260	150/230	240/370	
防音断熱材<機械・送風機室>	防音断熱材<機械・送風機室>		グラスウール					
	エアフィルタ		PPハニカム織					
運転装置	温度調節器・圧力計		無					
	操作スイッチ・表示灯		付					
冷却水	30℃入口	水量	m³/h	3.3/3.8	5.2/5.9	6.6/7.5	10.3/11.7	13.6/15.5
		水圧損失	kPa	40/52	39/48	42/53	42/52	39/48
配管寸法	冷却水出入口	B<A>	1<25>		1½<32>		1½<40>	2<50>
	機械室ドレン管	B<A>	1¼<32>			1¼<32>		
	冷却器ドレン管	B<A>	—					
保護装置	圧力開閉器<高圧側>	MPa	2.45		2.94	2.45	2.94	
	圧縮機保護		熱動温度開閉器・熱動過電流継電器・逆相防止器					
	送風機保護		熱動過電流継電器					
高圧ガス保安法区分		不要						
冷凍保安責任者の選任		不要						
製品質量/運転質量	kg	190/193	223/228.5	260/267	440/451	510/526		
梱包寸法<高さ×幅×奥行>	mm	1,870×1,070×605	1,870×1,290×605	1,870×1,510×605	2,021×1,732×754	2,021×1,952×754		
梱包質量	kg	208	242	283	472	544		
掲載頁	外形寸法	頁	1126		1127		1128	
	電気配線	頁	1129			1130	1131	1132
	能力線	頁	1134	1135	1136	1137	1138	

注 ※1. 標準能力は吸込空気乾球温度33℃、湿球温度28℃、冷却水温度入口30℃、出口35℃の場合の値を示す。

※2. 容量制御は現地にて2ステップサーモを使用した場合の値を示します。

(b)水冷式ダクト専用形

項目	形式	PWT-J850G-F	PWT-J1120G-F		
標準性能※1	定格冷房能力	kW	80.0/85.0	106.0/112.0	
	定格電源		三相200V 50/60Hz		
	定格消費電力	kW	21.7/25.8	27.1/32.2	
	運転電流	A	81/86	92/102	
	運転力率	%	75/87	81/91	
	始動電流	A	213/302	216/201	
外装<マンセル記号>		アーバンホワイト<3.4Y7.7/0.8>			
外形寸法	高さ	mm	1,850		
	幅	mm	1,750		
	奥行	mm	1,018+67		
圧縮機	形式×台数		全密閉×3		
	始動方式		直入<順次>		
冷凍機	称呼出力	kW	5.5×3	7.5×3	
	容量制御	%	100-83-67-50-33-17-0 ※2		
	1日の冷凍能力	法定ノ	<3.29/3.86>×3	<4.11/4.82>×3	
冷凍機油	電熱器(クランクケース)	W	50×3	60×3	
	種類×封入量	kg	R22×2.2×3	R22×2.5×3	
凝縮器	制御方式		温度式自動膨張弁		
	形式×個数		二重管×1		
送風機	冷却水回路数		3		
	冷却器形式		クロスフィン		
風機	形式×個数		シロッコファン×1		
	標準風量	m <sup>3</sup> /min	100	120	
	標準機外静圧	Pa	250		
防音断熱材<送風機室>	標準電動機出力	kW	2.2		
	エアフィルタ		PPハニカム織		
運転調整	温度調節器・圧力計		無・付		
	操作スイッチ・表示灯		付		
冷却水	30℃入口	水量	m <sup>3</sup> /h	17.5/19.1	22.9/24.8
		水圧損失	kPa	46/53	51/60
配管寸法	冷却水出入口	B<A>	2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> <65>		
	機械室ドレン管	B<A>	1<25>		
	送風機室ドレン管	B<A>	1 <sup>1</sup> / <sub>4</sub> <32>		
保護装置	圧力開閉器<高圧側>	MPa	2.45		
	溶栓口径<溶融温度>	mm<C>	-		
送風機保護	圧縮機保護		熱動温度開閉器, 熱動過電流継電器		
	送風機保護		熱動過電流継電器		
高圧ガス保安法区分	高圧ガス保安法区分		不要		
	冷凍保安責任者の選任		不要		
製品質量	kg	640	730		
掲載能力線図	外形寸法図	頁	1128		
	電気配線図	頁	1133		
	能力線図	頁	1139	1140	

※1. 標準能力は吸込空気乾球温度33℃、湿球温度28℃、冷却水温度入り130℃、出口135℃に準じて運転した場合を示します。

※2. 容量制御は現地にて2ステップサーモを3つ使用した場合の値を示します。

(2) 取付可能部品表

(a) 水冷式 <PWT-F形>

項目	形名	PWT-J170G-F	PWT-J265G-F	PWT-J335G-F	PWT-J530G-F	PWT-J710G-F
加熱器	蒸気	○	○	○	○	○
	温水	○	○	○	○	○
	電気	○	○	○	○	○
加湿器	超音波式加湿器	○	○	○	○	○
	蒸気スプレー式加湿器	○	○	○	○	○
	ペーパーパン	○	○	○	○	○
	水スプレー式加湿器<ヘッダー1本>	○	○	○	○	○
	水スプレー式加湿器<ヘッダー2本>	○	○	○	○	○
	高圧スプレー式加湿器<ヘッダー1本>	○	○	○	○	○
	高圧スプレー式加湿器<ヘッダー2本>	○	○	○	○	○
	プレナム	○	○	○	○	○
	吸込ダクトフランジ	○	○	○	○	○
	吹出ダクトフランジ<ダンパ・無>	○	○	○	○	○
外気取入口フランジ	○	○	○	○	○	
高静圧モータ	○	○	○	○	○	
エアフィルタ類	フィレドンフィルタ<PS-400>	○	○	○	○	○
	フィレドンフィルタ<PS-600>	○	○	○	○	○
	予備フィルタ<塩化ビニルハニカム>	○	○	○	○	○
	エリミネータ	○	○	○	○	○
電気部品	簡易遠方操作セット	○	○	○	○	○
	リモートコントローラ	○	○	○	○	○
	遠方操作箱	○	○	○	○	○
	進相コンデンサ	○	○	○	○	○
電気制御部品	余熱排除回路部品	○	○	○	○	○
	遠方表示回路部品	○	○	○	○	○
	再起動遅延回路部品	○	○	○	○	○
遠方操作部品	基本回路	○	○	○	○	○
	自己保持回路	○	○	○	○	○
その他	圧力計	○	○	○	○	○
	温度調節器	△	△	△	×	×
	湿度調節器	×	×	×	×	×
	水圧保護開閉器	○	○	○	○	○
	節水弁ポート取出	○	○	○	○	○
	サービス工具	○	○	○	○	○
	ガス検知器	○	○	○	○	○
	木	○	○	○	○	○
	進コン取付アタッチメント	○	○	○	○	○

注1.付：標準品へ取付済 ○：取付可 △：特殊受注にて取付可 -：該当せず ×：取付不可  
 下段は部品形名を表します。  
 2.※1印の電気ヒーター容量は、最大容量（受注対応）を示します。  
 3.※2印の部品は1～4種類の部品の中から適切な加湿能力の加湿器を選定して組込が可能です。

(b) 水冷式ダクト専用形

項目	形名	PWT-J850G-F	PWT-J1120G-F
加熱器	温水	○	○
	蒸気	○	○
	電気	○	○
加湿器	温水	○	○
	蒸気	○	○
	高圧	△	△
	ペーパーパン	○	○
	超音波	△	△
	特殊静風圧	△	△
吸込口	吹出ダクトフランジ	付	付
	吸込ダクトフランジ	付	付
	フィレドンフィルタ	△	△
電気回路	温度調節器	-	-
	湿度調節器	-	-
	水圧保護開閉器	○	○
	圧力計	付	付
	遠方操作回路	○	○
	送風機電動機入-△切換始動回路	-	-
	送風機残留運転回路	○	○
	温度調節器用端子取出し	付	付
	運転・異常表示	△	△
	緊急停止回路	付	付
停電解除時自動復帰回路	△	△	
再始動遅延回路	△	△	
電熱器制御回路部品	○	○	
リモートコントローラ	○	○	
独立保護回路部品	付	付	
再始動制限回路	○	○	
異常表示電圧接点取出し部品	○	○	
エリミネータ	○	○	
スプレー用ビニロック	○	○	
スプレー用ステンレス	○	○	
超音波用ステンレス	○	○	
サービス工具	○	○	
ガス検知器	○	○	

注1.付：標準品へ取付済 ○：取付可 △：受注対応にて取付可 -：該当せず  
 下段は部品形名を表す。  
 2.※1の電気ヒーター容量は、最大容量（受注対応）を示します。

汎用・中温用・産業用エアコン  
 (オールフレッシュ用)

(3) 別売部品仕様表

(I) 別売部品仕様表

(a) 水冷式 <PWT-J170G~J710G-F形>

(イ) 温水加熱器

項目 形名	適用機種	暖房能力 (kW)	温水量 (ℓ/min)	保有水量 (ℓ)	備考
PAC-CL06WH	PWT-J170G-F	6.9	35	2.5	2列18段
PAC-CL07WH	PWT-J265G-F	10.2	40	3.1	2列18段
PAC-CL08WH	PWT-J335G-F	20.4	50	4.1	2列18段
PAC-CL09WH	PWT-J530G-F	33.5	80	4.8	2列18段
PAC-CL10WH	PWT-J710G-F	46.6	100	5.4	2列18段

- 注1. 温水入口温度：80℃、吸込空気温度：20℃、標準風量の場合の値です。  
 2. 性能線図は各機種毎に能力線図のところに掲載。  
 3. 暖房プルアップ時(又は常時)吸い込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結する恐れがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる等)  
 4. 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結する恐れがありますので必ず水抜きを実施してください。

(ロ) 蒸気加熱器

項目 形名	適用機種	暖房能力 (kW)	蒸気入口圧力 (MPa)	備考
PAC-CK41SH	PWT-J170G-F	14.6	0.035	2列14段
PAC-CK42SH	PWT-J265G-F	22.1		2列14段
PAC-CK43SH	PWT-J335G-F	32.9		2列14段
PAC-CK44SH	PWT-J530G-F	47.9		2列16段
PAC-CK45SH	PWT-J710G-F	57.2		2列16段

- 注1. 吸込空気温度：20℃、標準風量の場合の値です。  
 2. 性能線図は各機種毎に能力線図のところに掲載。  
 3. 暖房プルアップ時(又は常時)吸い込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結する恐れがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる等)  
 4. 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結する恐れがありますので必ず水抜きを実施してください。

(ハ) 超音波式加湿器

項目 形名	適用機種	加湿能力 (kg/h)	接続管径	備考
PAC-CM17CH	PWT-J170G-F	2.4	PT½B おす	
	PWT-J265G-F			
	PWT-J335G-F			
PAC-CM18CH	PWT-J170G-F	3.6		
	PWT-J265G-F			
	PWT-J335G-F			
PAC-CM19CH	PWT-J265G-F	4.8		
	PWT-J335G-F			
PAC-CM20CH	PWT-J335G-F	6.0		
PAC-CM21CH	PWT-J530G-F	8.4		
	PWT-J710G-F			

- 注1. PWT-J530・710G-Fにて、電気ヒータと併用する場合は、配線変更が必要です。

(ニ) 蒸気スプレー式加湿器

項目 形名	適用機種	蒸気圧力 (MPa)	加湿能力 (kg/h)	最高使用圧力 (MPa)	接続管径
PAC-CL30SS	PWT-J170G-F	0.035	3.0	0.12	PT½B めす
	PWT-J265G-F		4.0		
	PWT-J335G-F		5.0		
	PWT-J530G-F		7.0		
PAC-CL34SS	PWT-J710G-F		10.0		

- 注1. \*印部品は送風機保護カバーを付属しています。

(ホ) ペーパーパン加湿器

項目 形名	適用機種	消費電力 (kW)	加湿能力 (kg/h)	接続管径
PAC-CM04VP	PWT-J170G-F	2	2.6	PT½B おす
PAC-CM05VP	PWT-J265G-F PAT-J335G-F PWT-J335G-F	4	5.2	
	PWT-J530G-F PAT-J630G-F PWT-J710G-F			

(ヘ) 水スプレー式加湿器

項目 形名	適用機種	噴霧量 (kg/h)	加湿能力 (kg/h)	水圧 (MPa)	接続管径	
1	PAC-CL16WS	8	2.4	0.2	PT½B おす	
	PWT-J265G-F					
	PAC-CL18WS	PWT-J335G-F	10.7			3.2
	PAC-CL20WS	PWT-J530G-F	16			4.8
	PAC-CL22WS	PWT-J710G-F	24			6.8
2	PAC-CL17WS	PWT-J170G-F PWT-J265G-F	16	4.8		
	PAC-CL19WS	PWT-J335G-F	21.4	6.4		
	PAC-CL21WS	PWT-J530G-F	32	9.6		
	PAC-CL23WS	PWT-J710G-F	48	13.6		

- 注1. 供給水は、水温60℃以下、水圧0.4MPa以下でご使用ください。  
 2. \*印部品は後吸込口カバーを付属しています。

(ト) 高圧スプレー式加湿器

項目 形名	適用機種	噴霧量 (kg/h)	加湿能力 (kg/h)	噴霧圧力 (MPa)	接続管径
1	PAC-CL40HPS	PWT-J170G-F PAT-J224G-F PWT-J265G-F	10	3.0	0.3 PT½B おす
	PAC-CL42HPS	PWT-J335G-F	12	3.6	
	PAC-CL44HPS	PWT-J530G-F	18	5.4	
	PAC-CL46HPS	PWT-J710G-F	25	7.5	
2	PAC-CL41HPS	PWT-J170G-F PAT-J224G-F PWT-J265G-F	20	6.0	
	PAC-CL43HPS	PWT-J335G-F	24	7.2	
	PAC-CL45HPS	PWT-J530G-F	36	10.8	
	PAC-CL47HPS	PWT-J710G-F	50	15.0	

- 注1. 供給水は、水温60℃以下、水圧0.5MPa以下でご使用ください。  
 2. \*印部品は後吸込口カバーを付属しています。

(チ) 風路部品

品名	項目 形名	適用機種	外形寸法 縦×横×高さ
吸込ダクト フランジ		受注対応	

(リ) フィルドレンフィルタ

項目 形名	適用機種	除じん効率 (AFI重量法)	ろ材	備考
PAC-CP18FF	PWT-J170G-F	76% (面風速2.5(m/s)時)	ポリエステル ポリクラー 厚さ14mm	PS-400
PAC-CP19FF	PWT-J265G-F			
PAC-CP20FF	PWT-J335G-F			
PAC-CP21FF	PWT-J530G-F			
PAC-CP22FF	PWT-J710G-F	82% (面風速2.5(m/s)時)	ポリエステル ポリクラー 厚さ18mm	PS-600
PAC-CP68FF	PWT-J170G-F			
PAC-CP69FF	PWT-J265G-F			
PAC-CP70FF	PWT-J335G-F			
PAC-CP71FF	PWT-J530G-F			
PAC-CP72FF	PWT-J710G-F			

- 注1. \*印部品は後吸込口カバーを付属しています。

(ヌ) 予備エアフィルタ

項目 形名	適用機種	除じん効率 (AFI重量法)	フィルター 材料	備考
PAC-CQ43YF	PWT-J170G-F	27%	PP ハニカム織	
PAC-CQ44YF	PWT-J265G-F			
PAC-CQ45YF	PWT-J335G-F			
PAC-CQ46YF	PWT-J530G-F			
PAC-CQ47YF	PWT-J710G-F			

(ル) エリミネータ

項目 形名	適用機種	ろ材	備考
PAC-CM30EN	PWT-J170G-F	SUSデミスター 厚さ15mm	
PAC-CM31EN	PWT-J265G-F		
PAC-CM32EN	PWT-J335G-F		
PAC-CM33EN	PWT-J530G-F		
PAC-CM34EN	PWT-J710G-F		

(ラ)進相コンデンサ

項目 形名	適用機種	容量 (μF)	電動機定格出力 (kW)	容量(μF)	
				50Hz	60Hz
PAC-CP29CA	PWT-J170G-F } PWT-J710G-F 共通	10	0.2	15	10
PAC-CP30CA		15	0.4	20	15
PAC-CP31CA		20	0.75	30	20
PAC-CP32CA		30	1.5	40	30
PAC-CP33CA		40	2.2	50	40
PAC-CP34CA		50	3.7	75	50
PAC-CP35CA		75	5.5	100	75
PAC-CP36CA		100	7.5	150	100
PAC-CP37CA		150	11.0	200	150

注. 電力会社の電気供給規定による。

(ワ)進相コンデンサ取付アタッチメント

項目 形名	適用機種	備考
PAC-CP79CA	PWT-J170~J335G-F	
PAC-CP80CA	PWT-J170, J710G-F	

(カ)簡易遠方操作

形名	適用機種	機能	備考
PAC-CQ41RC	PWT-J170G-F } PWT-J710G-F 共通	1. 押釦スイッチによる操作 (1)停電解除時 手動復帰方式 (2)停電解除時 自動復帰方式 2. ロータリースイッチによる操作 3. 遠方表示〈運転・異常〉	別売リモートコントローラ 使用〈PAC-CP44RC〉

(コ)リモートコントローラ

形名	適用機種	機能	備考
PAC-CP44RC	PWT-J170~J710G-F 共通	ロータリースイッチによる手動切替	別売 簡易遠方 〈PAC-CQ41RC〉 と組合せ

(ク)遠方操作箱

形名	適用機種	機能	備考
PAC-CP42RB	PWT-J170G-F } PWT-J710G-F 共通	各種遠方操作回路方式対応 (1)押釦スイッチ 3点方式 (2)押釦スイッチ 4点方式 (3)押釦スイッチ 5点方式 (4)押釦スイッチ2点 冷暖切替方式 (5)押釦スイッチ3点 冷暖切替方式 (6)トグルスイッチ方式 冷暖切替方式 (7)押釦スイッチ2点 冷暖自動切替方式 (8)押釦スイッチ3点 冷暖自動切替方式 (9)押釦スイッチ4点 冷暖自動切替方式 (10)DC 24V バルス 入力方式 (11)DC 24V トグル スイッチ方式 (12)AC 24V バルス 入力方式 (13)AC 24V トグル スイッチ方式	別売 冷暖自動 切替部品 PAC-CQ02RG 組合せ

●「静風圧部品表」については当社に御照会ください。

(レ)余熱排除回路部品

形名	適用機種	機能	備考
PAC-CQ03YH	PWT-J170~J710G-F 共通	残留運転時間 0~10分設定可能	通常3分以上に設定 してください。

(ロ)遠方表示回路部品

形名	適用機種	機能	備考
PAC-CQ11DH	PWT-J170G-F } PWT-J710G-F 共通	(1)電源表示 無電圧接点 (2)停止表示 無電圧接点 (3)運転表示 無電圧接点 (4)異常表示 無電圧接点	2回路装備

(ハ)再起動遅延回路部品

形名	適用機種	機能	備考
PAC-CQ08KS	PWT-J170~J335G-F	初回は即時起動	遅延時間1~10分 調節可能 通常3分以上に設定 してください。
PAC-CQ09KS	PWT-J170, J710G-F		

(ニ)圧力計

項目 形名	適用機種	文字板		備考
		高圧側表示	低圧側表示	
PAC-CP41PG	PWT-J170G-F } PWT-J710G-F 共通	0~3.5MPa	-0.1~2MPa	R22 温度目盛り付

(ホ)木台

項目 形名	適用機種	外形寸法 幅×奥行×高さ	備考
PAC-CQ31MD	PWT-J170G-F	970×460×85	緩衝ゴム付
PAC-CQ32MD	PWT-J265G-F	1190×460×85	
PAC-CQ33MD	PWT-J335G-F	1410×460×85	
PAC-CQ34MD	PWT-J530G-F	1630×610×98	
PAC-CQ35MD	PWT-J710G-F	1850×610×98	

(ヘ)サービス工具

項目 形名	適用機種	ツールボックス格納工具			
		工具名	サイズ	個数	適用規格
PAC-CQ04SK	PWT-J170G-F } PWT-J1120G-F 共通	丸形両口 スパナ	6×8mm	1	JIS-B-4630H級
			10×13mm	1	JIS-B-4630N級
			12×14mm	1	JIS-B-4630N級
			17×19mm	1	JIS-B-4630N級
		六角棒 スパナ	3mm	1	JIS-B-4648
			4mm	1	JIS-B-4648
			5mm	1	JIS-B-4648
		ドライバー	⊖ 6×100mm	1	JIS-B-4609
			⊕ No.2 100mm	1	JIS-B-4633
		モンキーレンチ	200mm	1	JIS-B-4604

(ニ)ガス検知器

形名	適用機種	備考
PAC-CQ05GK	全機種共通	可燃性LPガス使用〈予備ボンベ付〉

汎用・中温用・産業用エアコン  
(オールフレッシュ用)



(b)水冷式〈PWT-J850G~J1120G-F形〉

(イ)温水・蒸気加熱器

項目	適用機種	温水・蒸気	暖房能力 〈kW〉	温水量 〈ℓ/min〉
形名	PWT-J850G-F	兼用	温 水 <2列> 79.0	150
		蒸 気 <2列> 98.8	—	
	PWT-J1120G-F	兼用	温 水 <2列> 87.2	200
		蒸 気 <2列> 104.6	—	

注1 暖房能力は下記条件の場合の値です。

温水 温水入口温度 80℃  
 蒸気 蒸気入口圧力 0.035MPa<108℃>  
 吸込空気温度 20℃  
 風量 標準風量

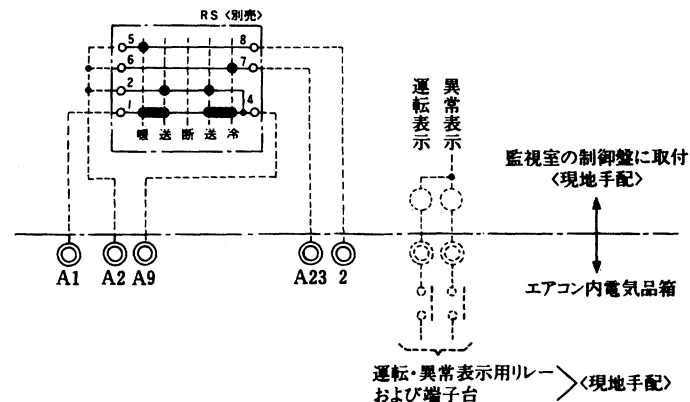
2.暖房プルアップ時(又は常時)吸い込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結する恐れがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる等)

3.冷房中や厳冬期で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結する恐れがありますので必ず水抜きを実施してください。

(ト)制御回路部品〈適用機種〉… PWT-J850・J1120G-F形

①リモートコントローラ〈PAC-CP44RC形〉

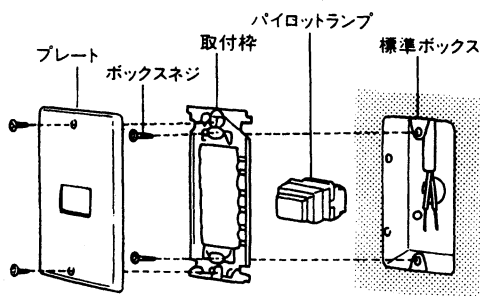
■PAC-CP44RC 接続方法



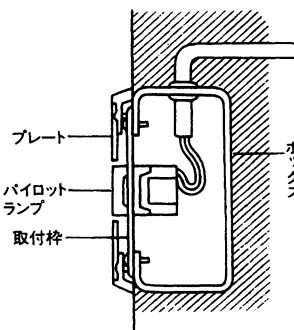
■運転・異常表示ランプ 現地取付方法

●運転・異常表示ランプを取付ける場合は、下図を参考に現地手配にて組み下下さい。

<参考使用部品>



●断面図



- ▶プレート<1コ用>…WN7601
  - ▶プレート<2コ用>…WN7602
  - ▶取付枠…WT3700
  - ▶パイロットランプ<みどり>…WN3032GK
  - ▶パイロットランプ<200V> <赤>…WN3032RK
  - ▶標準ボックス…JIS C8336
- 松下電工(株)

(ロ)蒸気スプレー式加湿器

項目	適用機種	蒸気圧力 〈MPa〉	加湿能力 〈kg/h〉	最高使用圧力 〈MPa〉
形名	PWT-J850G-F PWT-J1120G-F	0.035	15.2	0.04

(ハ)温水スプレー式加湿器

項目	適用機種	水 圧 〈MPa〉	加湿能力 〈kg/h〉	最高使用圧力 〈MPa〉
形名	PWT-J850G-F PWT-J1120G-F	0.1~0.5	10.5~15	0.5

(ニ)ペーパーパン加湿器

項目	適用機種	電 源	電熱器容量 〈kW〉	加湿能力 〈kg/h〉
形名	PWT-J850G-F PWT-J1120G-F	三相 200V 50/60Hz	8	10.4

(ホ)電熱器制御回路部品

項目	適用機種	仕 様	機 能	備 考
形名	PWT-J850G-F PWT-J1120G-F	サーモ無	2回路	

(ヘ)送風機残留運転回路

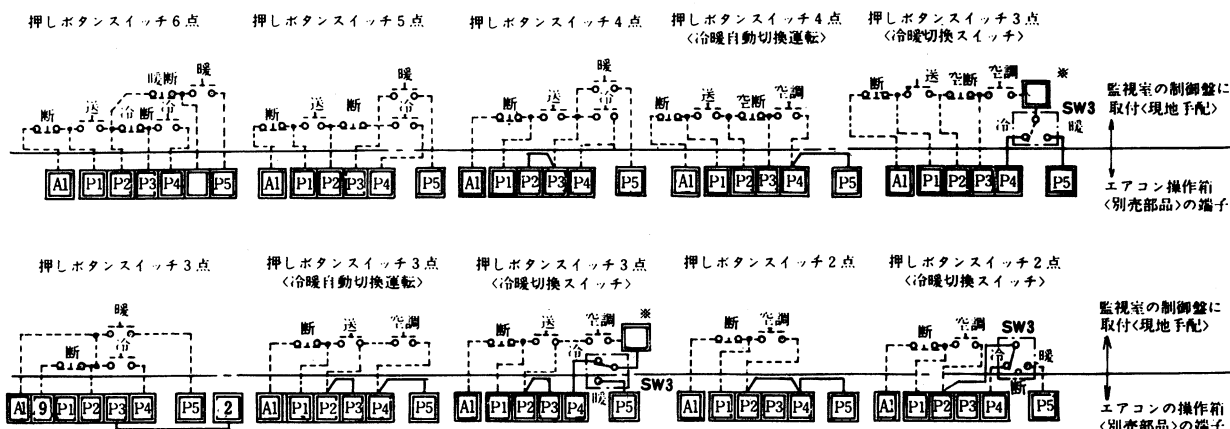
項目	適用機種	機 能	備 考
形名	PWT-J850G-F PWT-J1120G-F	電気ヒータ使用時の 余熱排除	

## ②遠方操作回路部品 <PAC-582RK形>

●次の各種押しボタン遠方操作及び表示回路に対応するためのユニット本体改造用電気回路部品です。

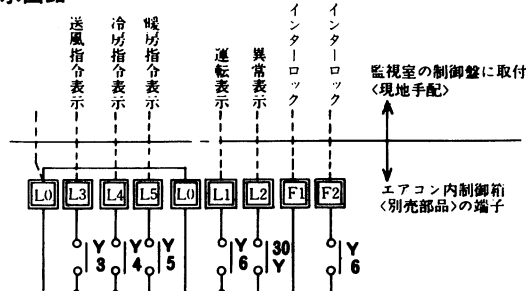
<ユニット本体制御盤内に組込んで使用します。>

### 各種運転方式



別手配必要部品…現地盤組込スイッチ

### 表示回路



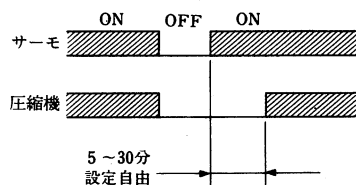
注.\*は、工場出荷時組込済の制御回路用端子台の「あそび端子」を利用して下さい。

## ③再始動制限回路部品 <PAC-590ST形>

●圧縮機のショートサイクル防止用タイマセットです。

●3回路個別に停止時間を設定できます。

<ユニット本体制御盤内に組込んで使用します>



## ④水圧保護開閉器 <PAC-580WP形>

●冷却水が断水の時、ユニットを停止させる保護開閉器です。

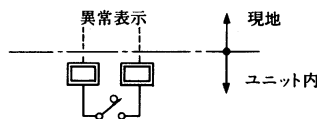
<ユニットの機械室に組込んで使用します。>

●設定圧力OFF…0.05MPa、ON…0.1MPa

<調節可能 max0.35MPa>

## (チ)エリミネータ <PWT-J850・J1120G-F形>

項目 <別売部品形名>	適用	仕様説明		
エリミネータ <スプレー用ビニロック> <PAC-964EN形>	各種スプレー用 (注. 電気ヒーター組込時 には使用できません)	材質	素材 枠 取付金具等	ビニロック アルミニウム 鉄
		材質	素材 枠 取付金具等	ステンレスウール アルミニウム 鉄
エリミネータ <スプレー用ステンレス> <PAC-965EN形>	各種スプレー用 (注. 電気ヒーター組込時 にも使用可能です)	材質	素材 枠 取付金具等	ステンレスウール アルミニウム 鉄
		材質	素材 枠 取付金具等	ステンレスウール アルミニウム 鉄



## ⑤異常表示無電圧接点取り出し部品 <PAC-593S形>

●遠方操作回路部品等を使用しないで単に異常表示(送風機、圧縮機一活)無電圧端子が必要な時に使用します。

●接点AC200V10A 1C接点(1a又は1bいずれかで使用する。)

<ユニット本体制御盤内に組込んで使用します。>

●外部接続用端子台としては工場出荷時組込済みの制御回路用端子台の「あそび」端子を利用して下さい。

(II) 現地手配品推奨部品<PWT-J850・J1120G-F形>

(a) 高圧スプレー式加湿器

- 市販品の高圧スプレーが組込めます。組込み用加湿器として次のものを推奨します。

ウェットマスター(株)製高圧スプレー式加湿器

形名	WM-SVN25 WM-SVK25	WM-SVN50 WM-SUK50	WM-SUN75 WM-SUK75
有効加湿量	6~9 ℓ/h	13~18 ℓ/h	19~26 ℓ/h

詳しくは加湿器メーカーの資料を参照してください。

別手配必要部品…エリミネータ<スプレー用ピニロック…PAC-964EN>又は、エリミネータ<スプレー用ステンレス…PAC-965EN>

現地手配部品…電磁弁及び配線、湿度調節器、給水配管

(b) 超音波式加湿器

- 市販品の超音波式加湿器が組込めます。組込み用加湿器として次のものを推奨します。

ウェットマスター(株)製超音波式加湿器

形名	WM-EN24U WM-DN24U	WM-EN30U WM-DN30U
加湿量	13~14 ℓ/h	17~18 ℓ/h

詳しくは、加湿器メーカーの資料を参照してください。

別手配必要部品…エリミネータ<超音波用ステンレス…PAC-966EN>

現地手配部品…湿度調節器、給水配管

(III) 静風圧部品表

PWT-J170G-F~J335G-F用

部品形名	部品名	部 品 内 訳								備 考
		①プーリ	個数	②ベルト	個数	③電磁開閉器	個数	④電動機	個数	
PAC-CTO1SP	送風機フーリセット	A90-20	1	A32	1	—	—	—	—	—
PAC-CTO2SP	送風機フーリセット	A118-20	1	A34, A36	各1	—	—	—	—	—
PAC-CTO3SP	送風機フーリセット	A132-20	1	A36, A38	各1	—	—	—	—	—
PAC-CTO4SP	送風機フーリセット	A150-20	1	A37, A39	各1	—	—	—	—	—
PAC-CTO5SP	送風機フーリセット	A180-20	1	A38, A39	各1	—	—	—	—	—
PAC-CTO6SP	送風機フーリセット	A224-20	1	A41, A43	各1	—	—	—	—	—
PAC-CTO7SP	送風機フーリセット	A250-20	1	A43, A45	各1	—	—	—	—	—
PAC-CTO8SP	送風機フーリセット	A280-20	1	A47	1	—	—	—	—	—
PAC-CTO9MP	電動機フーリセット	A可変-24	1	—	—	PAK-6JTH<6.5A>	1	—	—	標準仕様変更銘板付

●静風圧部品選定方法 (PWT-J170G-F~J335G-F)

- 1 静風圧部品選定表と送風機性能線図より、希望の静圧・風量が得られるファンプーリと希望回転数を求めます。  
(希望回転数が送風機性能線図の使用範囲内であることを確認して下さい。使用範囲外では送風機の過電流継電器が作動します。)
- 2 以下の式よりモータ側(可変プーリ)のPCφを求めます。

50Hz地域の場合 可変プーリPCφ = ファンプーリPCφ × (希望回転数 / 1450)  
60Hz地域の場合 可変プーリPCφ = ファンプーリPCφ × (希望回転数 / 1750)

- 3 下記の調節方法に従い、可変プーリのPCφを調節します。(図1)

- (1) プーリ本体とスライドピースを固定している止めネジをゆるめます。
- (2) スライドピースを左側に回し、プーリ本体との隙間を0mmにしてください。
- (3) 表1より2. で求めたPCφに最も近いPCφにスライドピースをあわせてください。
- (4) 止めネジによりプーリ本体とスライドピースを固定します。締め付けトルク: 13.5N・m  
止めネジはプーリ本体のネジのない部分のV溝に挿入して固定します。  
止めネジのはずれ防止のためネジロックをネジに塗布してください。(ネジロック: Threebond 1401C相当)
- (5) 試運転を行いプーリのゆるみなど問題の無きことを確認します。  
なお、試運転終了後にスライドピースの止めネジにゆるみがないことを確認してください。

注1 プーリ本体が必ずモータ側になるように使用してください。(スライドピースをモータ側で使用しないでください。)  
2 可変プーリの調節の行ったあとは必ず芯出しの調節を行ってください。  
可変プーリはV溝の隙間が可変するため平行度(芯出し)の調節は図2のように定規等を当てて左右の隙間が同じになるようにしてください。

表1

スライドピースまわし回転数	0	1/4	1/2	3/4	1	1・1/4	1・1/2	1・3/4	2	2・1/4	2・1/2	2・3/4	3	3・1/4	3・1/2	3・3/4	4	4・1/4	4・1/2	4・3/4
隙間(mm)	(0)	(0.4)	(0.8)	(1.1)	(1.5)	(1.9)	(2.3)	(2.6)	(3.0)	(3.4)	(3.8)	(4.1)	(4.5)	(4.9)	(5.3)	(5.6)	(6.0)	(6.4)	(6.8)	(7.1)
0.75kWモータ用可変プーリPCφ	100.0	98.8	97.5	96.3	95.1	93.9	92.6	91.4	90.2	89.0	87.7	86.5	85.3	84.1	82.8	81.6	80.4	79.1	77.9	76.7
1.5kWモータ用可変プーリPCφ	140.0	138.8	137.5	136.3	135.1	133.9	132.6	131.4	130.2	129	127.7	126.5	125.3	124.1	122.8	121.6	120.4	119.1	117.9	116.7

4. 注意事項

●平行度について

ファンプーリと電動機プーリの平行度は下記規格を満足するようにセットしてください。(表2、図3)

表2

プーリ	平行度	K(分)	備考
鋳鉄製プーリ		10以下	1m当り3mmのずれに相当

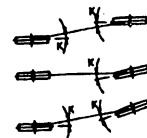


図3 プーリの平行度

●Vベルト張り具合について

- 1 ベルトの1本当りの張力はたわみ量Lの値を右式にて計算し、その時のたわみ荷重Wが表3の範囲内になるようにセットしてください。
- 2 ベルトがプーリになじんだ後(運転後24~28時間以後) 1) 項の適正張りに調整するようにしてください。また、新しいベルトの場合は、たわみ荷重Wの最大値の約1.3倍程度に調整するようにしてください。
- 3) 2) 項の初期のび調整の後、2000時間ごとに張り再調整を行ってください。  
[ベルトは初期のび(約1%)を含め、ベルト周長が2%のびた時点が寿命です。(運転時間で約8000時間)]

$L = 0.016 \times C$  C:プーリの軸間距離

●軸受給油について

送風機軸受は、2000時間ごとにグリスの給油が必要です。

グリスの給油は軸受に設けられた給油口（図4）よりグリスガンにて行ってください。

推奨グリス「昭和シェル アルバニアNo.3」を使ってください。

〔PWT-J850・J1120G-F, PW-J800・J1000DG, PWH-J1000DG, PWT-J670・J800G〕のみ摘要

表3

	Vベルトの種類	たわみ荷重W (N)	備考
	モータープーリ径 (mm)		
A形	65~80	11~14	5HP標準の場合
	81~90	13~17	
	91~105	16~20	
	106~	19~24	8・10HP標準の場合
	B形	22~29	

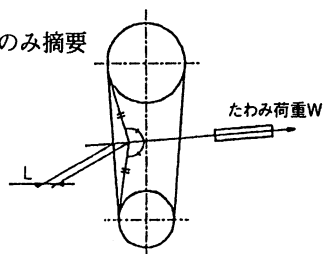


図3 ベルトの張力

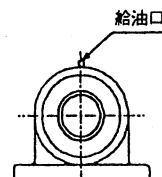
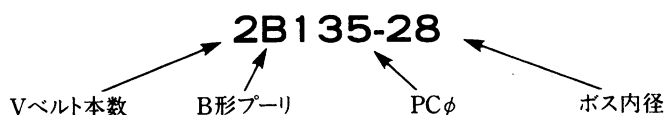


図4 軸受

プーリ形名の見方 (PWT-J170~J335G-F, PWT-J850, J1120G-Fの場合)



外径：A形 PCφ+9  
B形 PCφ+11

850G-F, PWT-J850, 1120G-F用

部品形名	部品名	部 品 内 訳								備 考
		①プーリ	個数	②ベルト	個数	③電磁開閉器	個数	④電動機	個数	
PAC-CV51MP	電動機フーリセット	2B135-28	1	B54	2	—	—	—	—	
PAC-CV52MP	電動機フーリセット	2B140-28	1	B54	2	—	—	—	—	
PAC-CV53MP	電動機フーリセット	2B145-28	1	B54	2	—	—	—	—	
PAC-CV54MP	電動機フーリセット	2B150-28	1	B55	2	—	—	—	—	
PAC-CV55MP	電動機フーリセット	2B160-28	1	B55	2	—	—	—	—	
PAC-CV56MP	電動機フーリセット	2B170-28	1	B56	2	—	—	—	—	
PAC-CV57MP	電動機フーリセット	2B190-28	1	B57	2	—	—	—	—	
PAC-CV58MP	電動機フーリセット	2B212-28	1	B58	2	—	—	—	—	
PAC-CV76SP	送風機フーリセット	2B315-32	1	—	—	—	—	—	—	
PAC-CV77SP	送風機フーリセット	2B400-32	1	B61	2	—	—	—	—	

PWT-J530, 710G-F用

部品形名	部品名	部 品 内 訳										備 考
		①送風機プーリ 個数	②ベ ルト 個数	③電動機プーリ 個数	④ サーマルリレー 個数	⑤電 動 機 個数						
PAC-CU51SP	送風機プーリセット	2B186-24	1	B39	2							
PAC-CU52SP	送風機プーリセット	2B191-24	1	B40	2							
PAC-CU53SP	送風機プーリセット	2B196-24	1	B40	2							
PAC-CU54SP	送風機プーリセット	2B201-24	1	B40	2							
PAC-CU55SP	送風機プーリセット	2B211-24	1	B41	2							
PAC-CU56SP	送風機プーリセット	2B221-24	1	B41	2							
PAC-CU57SP	送風機プーリセット	2B226-24	1	B42	2							
PAC-CU58SP	送風機プーリセット	2B231-24	1	B42	2							
PAC-CU59SP	送風機プーリセット	2B241-24	1	B43	2							
PAC-CU60SP	送風機プーリセット	2B251-24	1	B43	2							
PAC-CU61SP	送風機プーリセット	2B261-24	1	B44	2							
PAC-CU62SP	送風機プーリセット	2B271-24	1	B45	2							
PAC-CU63SP	送風機プーリセット	2B301-24	1	B48	2							
PAC-CU64SP	送風機プーリセット	2B311-24	1	B48	2							
PAC-CU65SP	送風機プーリセット	2B321-24	1	B50	2							
PAC-CU66SP	送風機プーリセット	2B326-24	1	B49	2							
PAC-CU67SP	送風機プーリセット	2B366-24	1	B52	2							
PAC-CU68SP	送風機プーリセット	2B201-28	1	B39	2							
PAC-CU69SP	送風機プーリセット	2B236-28	1	B41	2							
PAC-CU70SP	送風機プーリセット	2B261-28	1	B43	2							
PAC-CU71SP	送風機プーリセット	2B276-28	1	B44	2							
PAC-CU72SP	送風機プーリセット	2B311-28	1	B47	2							
PAC-CU73SP	送風機プーリセット	2B321-28	1	B47	2							
PAC-CR85SP	送風機プーリセット	2B176-28	1	B37	2							
PAC-CR86SP	送風機プーリセット	2B181-28	1	B37	2							
PAC-CR87SP	送風機プーリセット	2B191-28	1	B38	2							
PAC-CR88SP	送風機プーリセット	2B206-28	1	B38	2							
PAC-CR89SP	送風機プーリセット	2B211-28	1	B39	2							
PAC-CR90SP	送風機プーリセット	2B216-28	1	B39	2							
PAC-CR91SP	送風機プーリセット	2B226-28	1	B39	2							
PAC-CR92SP	送風機プーリセット	2B246-28	1	B41	2							
PAC-CR93SP	送風機プーリセット	2B251-28	1	B41	2							
PAC-CU76MP	電動機プーリセット					2B111-28	1					
PAC-CU77MP	電動機プーリセット					2B161-28	1	PAK-21JTH<15A>	1			
PAC-CU78MP	電動機プーリセット					2B121-28	1					

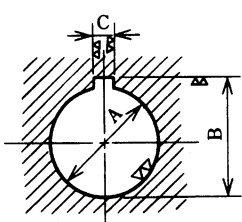
プーリ形名の見方 PWT-530, 710G-Fの場合

**2B186-24**

B形プーリ  
ベルト2本掛け  
ボス内径  
プーリ外形

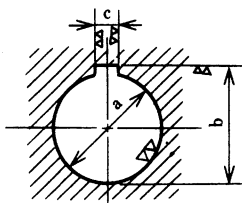
PCφ: プーリ外形-11

●電動機側プーリ ボス部形状



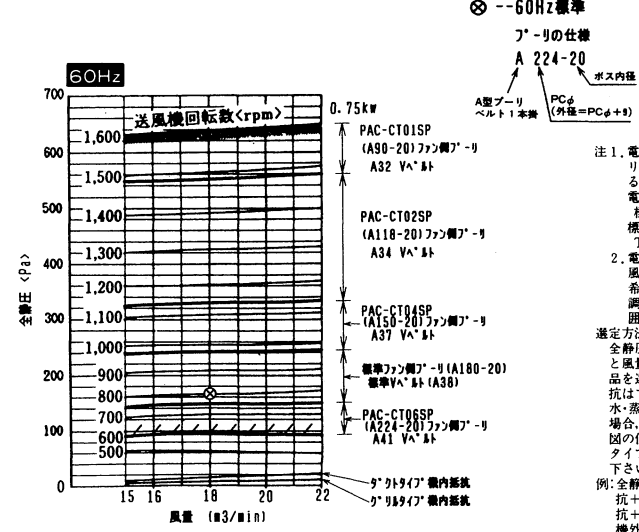
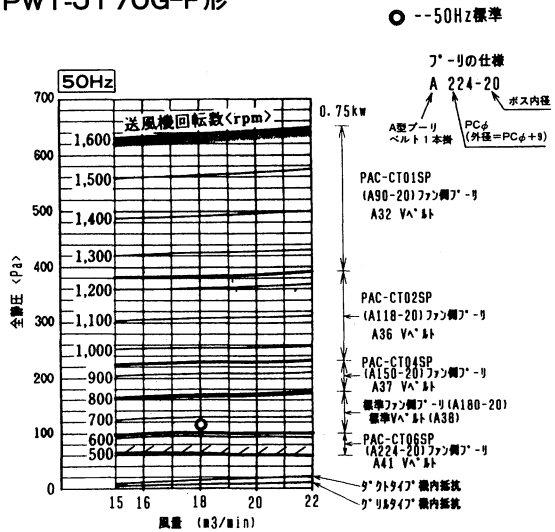
寸法	A	B	C
電動機形名			
SB-JR 0.7kW	$\phi 19^{+0.028}_{+0.007}$	$21.8^{+0.1}_0$	$6 \pm 0.0150$
SB-JR 1.5kW	$\phi 24^{+0.028}_{+0.007}$	$27.3^{+0.2}_0$	$8 \pm 0.0180$
SB-JR 2.2kW	$\phi 28^{+0.028}_{+0.007}$	$31.3^{+0.2}_0$	$8 \pm 0.0180$
SB-JR 3.7kW	$\phi 28^{+0.028}_{+0.007}$	$31.3^{+0.2}_0$	$8 \pm 0.0180$
SB-JR 5.5kW	$\phi 38^{+0.034}_{+0.009}$	$41.3^{+0.2}_0$	$10 \pm 0.0180$
SB-JR 7.5kW	$\phi 38^{+0.034}_{+0.009}$	$41.3^{+0.2}_0$	$10 \pm 0.0180$
SB-JR 11kW	$\phi 42^{+0.041}_{+0.025}$	$45.3^{+0.2}_{-0.12}$	$12 \pm 0.0215$

●送風機側プーリ ボス部形状



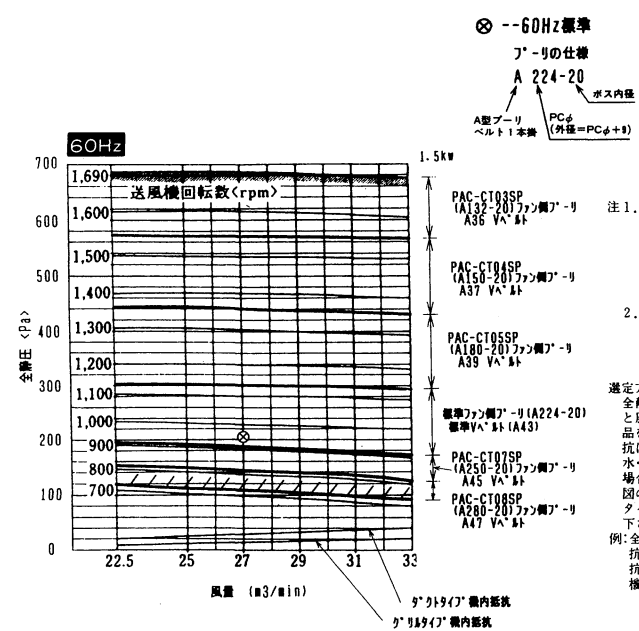
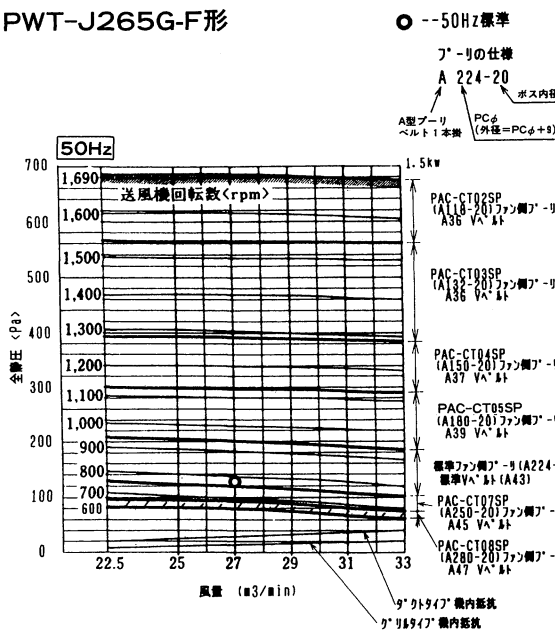
寸法	a	b	c
軸径<mm>			
$\phi 15$	$\phi 15^{+0.034}_{+0.015}$	$17.5^{+0.084}_0$	$5^{+0.060}_{+0.030}$
$\phi 20$	$\phi 20^{+0.028}_{+0.007}$	$23.5^{+0.1}_0$	$7^{+0.028}_{+0.013}$
$\phi 24$	$\phi 24^{+0.033}_0$	$27.5^{+0.100}_0$	$7^{+0.076}_{+0.040}$
$\phi 25$	$\phi 25^{+0.033}_0$	$29^{+0.100}_0$	$10^{+0.076}_{+0.040}$
$\phi 28$	$\phi 28^{+0.033}_0$	$31.5^{+0.100}_0$	$7^{+0.076}_{+0.040}$
$\phi 32$	$\phi 32^{+0.034}_{+0.009}$	$36^{+0.2}_0$	$10^{+0.028}_{+0.013}$

(IV) 静風圧部品選定表  
PWT-J170G-F形



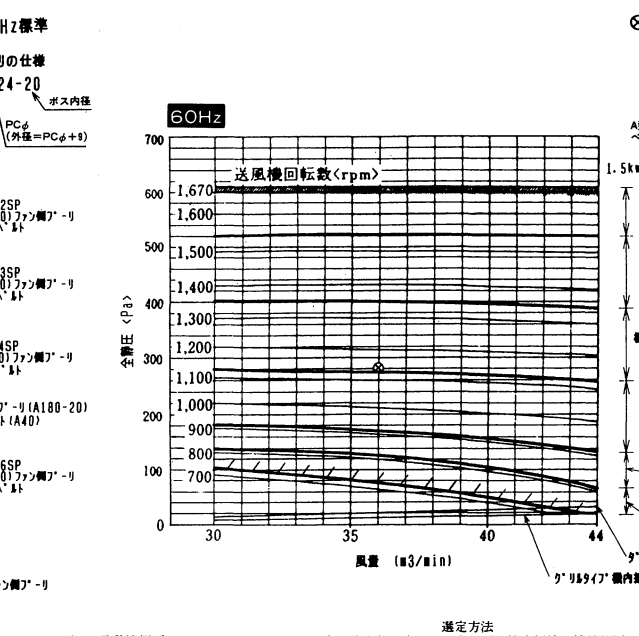
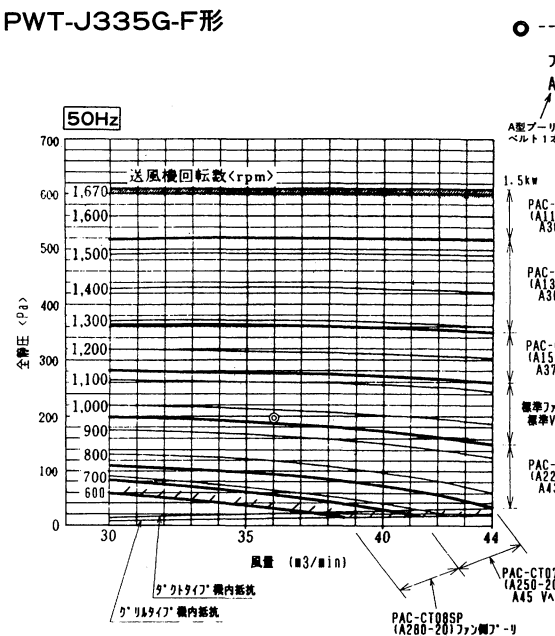
注1. 電動機側プーリー、サーマルリレーは下表の物を使用する  
電動機側プーリー：  
標準可変プーリー0.75kW用  
標準サーマルリレー：  
TH-N12(3.6-3.6)  
2. 電動機側プーリーは別途、静風圧部品選定方法に従い、希望回転数となるPCφに調節して下さい。(回転数範囲は左図による)  
選定方法  
全静圧=機内抵抗+機外静圧と風量から該当する静風圧部品を選定して下さい。(機内抵抗はフレッドフィルタ、温水+蒸気加熱器などを組み込む場合、追加部品の機内抵抗線図の値をグレルあるいはダクトタイプの機内抵抗値に加えて下さい。)  
例：全静圧=ダクトタイプ機内抵抗+フレッドフィルタ機内抵抗+温水加熱器機内抵抗+機外静圧

PWT-J265G-F形



注1. 電動機側プーリー、サーマルリレーは下表の物を使用する  
電動機側プーリー：  
標準可変プーリー1.5kW用  
標準サーマルリレー：  
TH-N12(6.6-6.5)  
2. 電動機側プーリーは別途、静風圧部品選定方法に従い、希望回転数となるPCφに調節して下さい。(回転数範囲は左図による)  
選定方法  
全静圧=機内抵抗+機外静圧と風量から該当する静風圧部品を選定して下さい。(機内抵抗はフレッドフィルタ、温水+蒸気加熱器などを組み込む場合、追加部品の機内抵抗線図の値をグレルあるいはダクトタイプの機内抵抗値に加えて下さい。)  
例：全静圧=ダクトタイプ機内抵抗+フレッドフィルタ機内抵抗+温水加熱器機内抵抗+機外静圧

PWT-J335G-F形



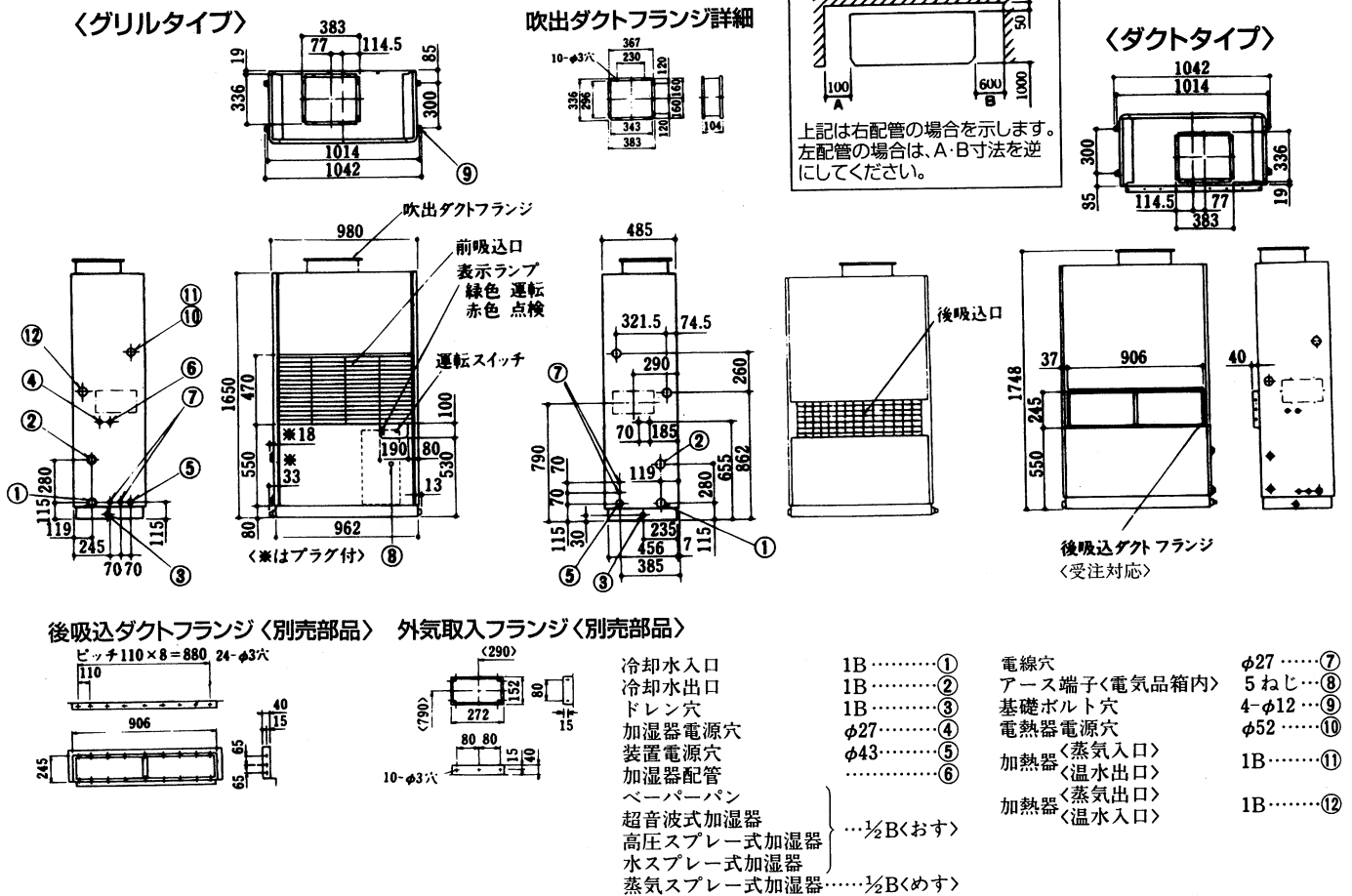
注1. 電動機側プーリー、サーマルリレーは下表の物を使用する  
電動機側プーリー：  
標準可変プーリー1.5kW用  
標準サーマルリレー：  
TH-N12(6.6-6.5)  
2. 電動機側プーリーは別途、静風圧部品選定方法に従い、希望回転数となるPCφに調節して下さい。(回転数範囲は上図による)  
選定方法  
全静圧=機内抵抗+機外静圧と風量から該当する静風圧部品を選定して下さい。(機内抵抗はフレッドフィルタ、温水+蒸気加熱器などを組み込む場合、追加部品の機内抵抗線図の値をグレルあるいはダクトタイプの機内抵抗値に加えて下さい。)  
例：全静圧=ダクトタイプ機内抵抗+フレッドフィルタ機内抵抗+温水加熱器機内抵抗+機外静圧

汎用・中温用・産業用エアコン  
(オールフレッシュ用)

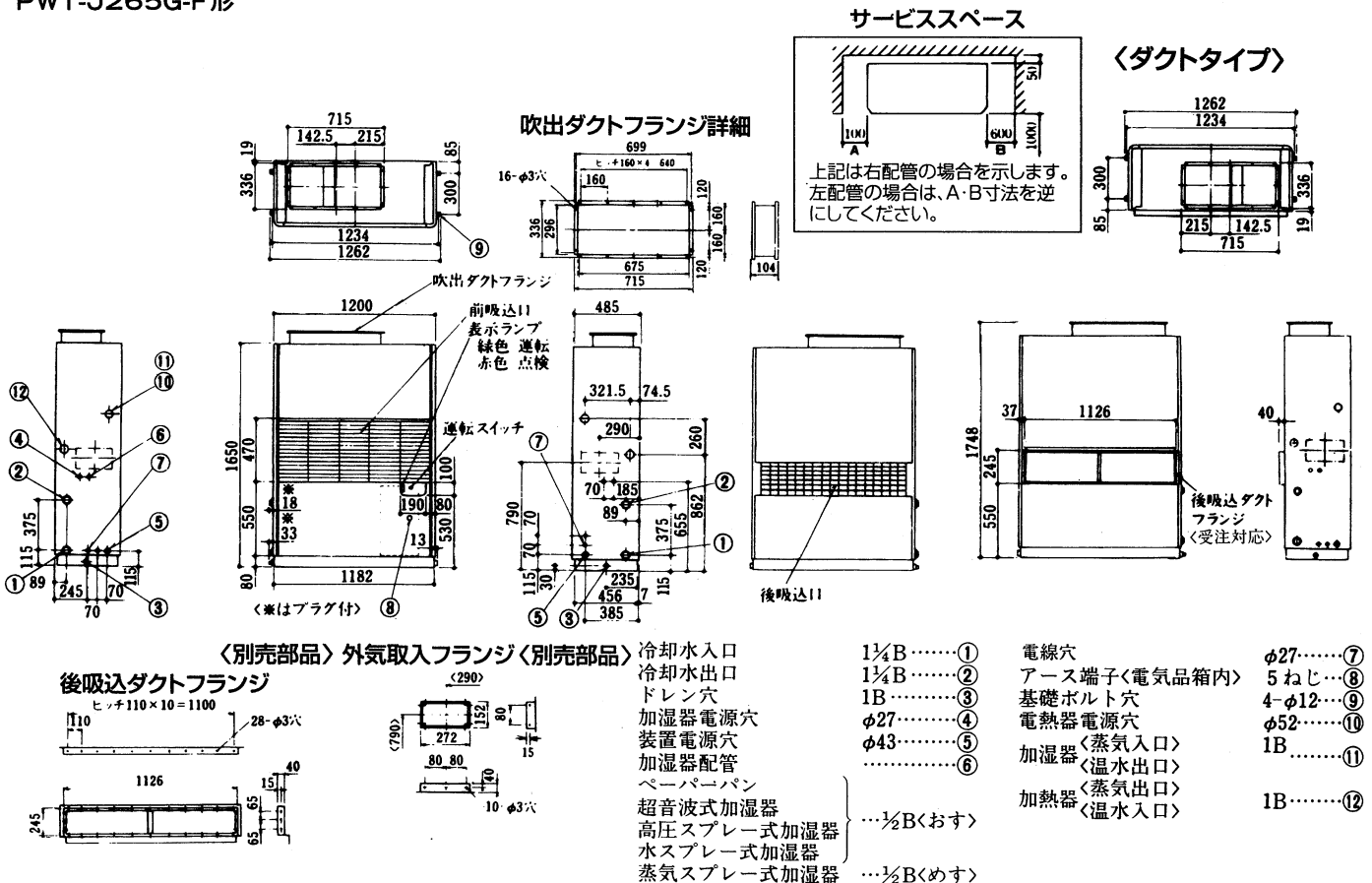
## (4)外形寸法図

### (a)水冷式〈PWT-F形〉

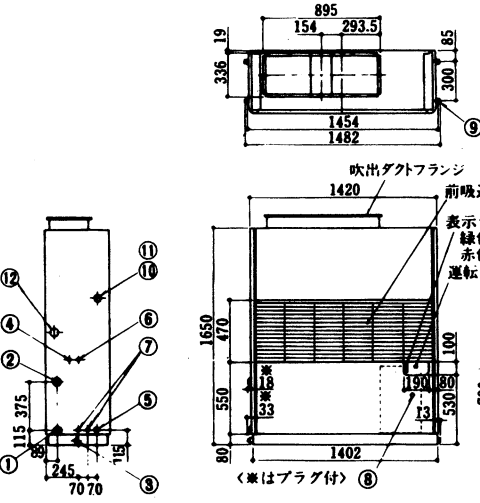
#### PWT-J170G-F形



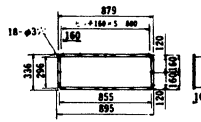
#### PWT-J265G-F形



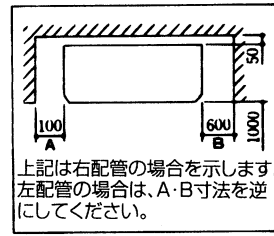
PWT-J335G-F形



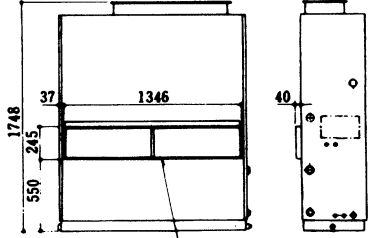
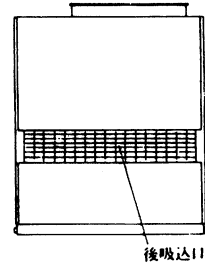
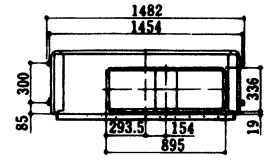
吹出ダクトフランジ詳細



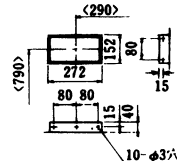
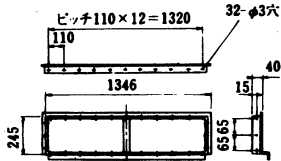
サービススペース



〈ダクトタイプ〉



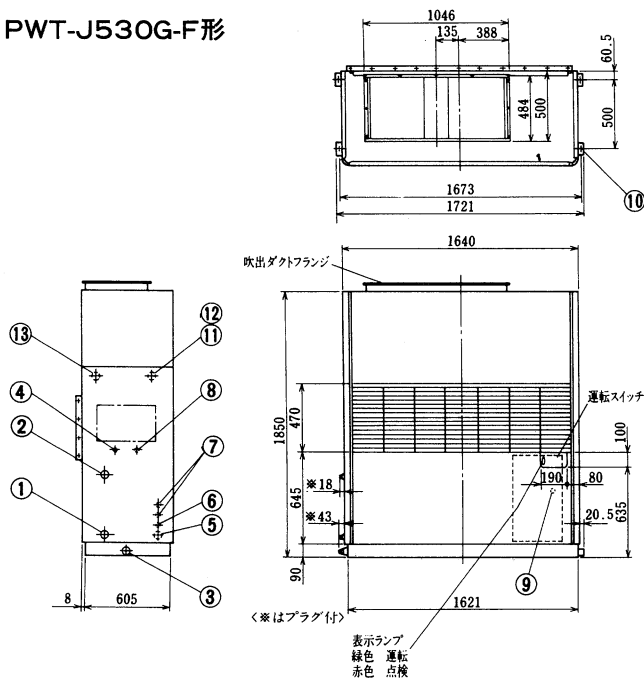
後吸込ダクトフランジ〈別売部品〉 外気取入フランジ〈別売部品〉



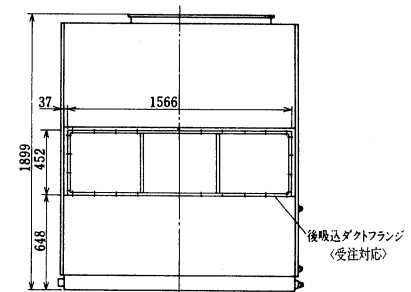
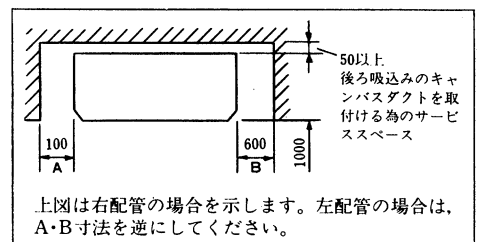
- 冷却水入口 1½B.....①
- 冷却水出口 1½B.....②
- ドレン穴 1B.....③
- 加湿器電源穴 φ27.....④
- 装置電源穴 φ43.....⑤
- 加湿器配管 .....⑥
- ペーパーパン } ...½B<おす>
- 超音波式加湿器 } ...½B<めす>
- 高圧スプレー式加湿器 } ...½B<めす>
- 水スプレー式加湿器 } ...½B<めす>
- 蒸気スプレー式加湿器 } ...½B<めす>

- 電線穴 φ27.....⑦
- アース端子<電気品箱内> 5ねじ.....⑧
- 基礎ボルト穴 4-φ12.....⑨
- 電熱器電源穴 φ52.....⑩
- 加熱器<蒸気入口> 1½B.....⑪
- 加熱器<温水出口> 1½B.....⑫
- 加熱器<蒸気出口> 1½B.....⑬
- 加熱器<温水入口> 1½B.....⑭

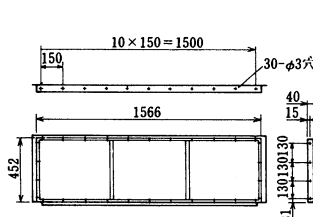
PWT-J530G-F形



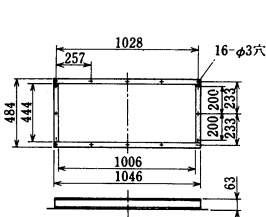
サービススペース



後吸込ダクトフランジ



吹出ダクトフランジ



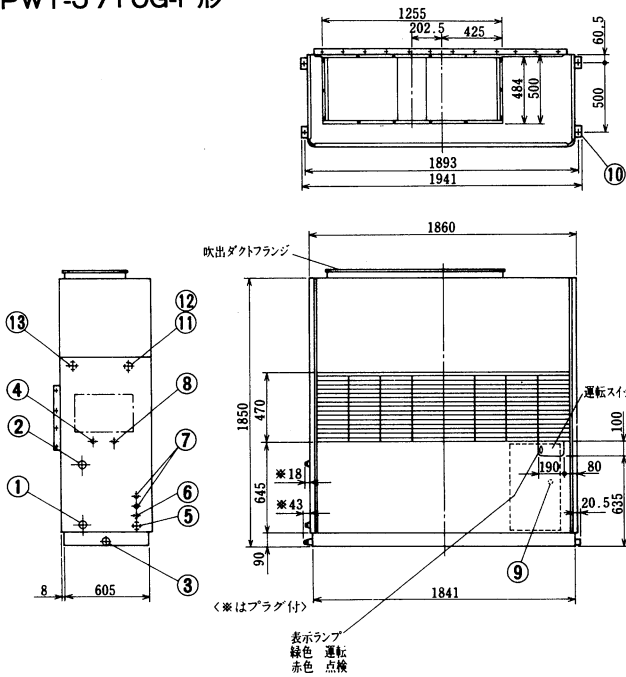
- 冷却水入口 1½B.....①
- 冷却水出口 1½B.....②
- ドレン穴 1½B.....③
- 加湿器配管 .....④
- ペーパーパン } ...½B<おす>
- 超音波式加湿器 } ...½B<めす>
- 高圧スプレー式加湿器 } ...½B<めす>
- 水スプレー式加湿器 } ...½B<めす>
- 蒸気スプレー式加湿器 } ...½B<めす>

- 装置電源穴 φ52.....⑤
- 電線穴 φ37.....⑥
- 電線穴 φ27.....⑦
- 加湿器電源穴 φ27.....⑧
- アース端子<電気品箱内> 5ねじ.....⑨
- 基礎ボルト穴 4-φ15.....⑩
- 電熱器電源穴 φ52.....⑪
- 加熱器<蒸気出口> 1½B.....⑫
- 加熱器<温水出口> 1½B.....⑬
- 加熱器<蒸気入口> 1½B.....⑭
- 加熱器<温水入口> 1½B.....⑮

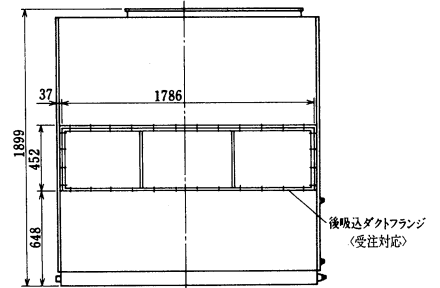
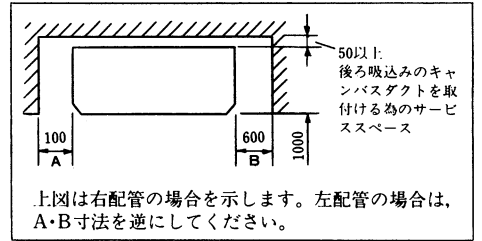
汎用・中温用・産業用エアコン  
〈オールフレッシュ用〉



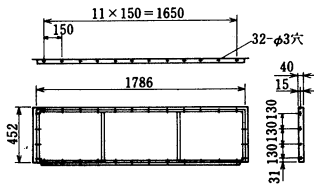
PWT-J710G-F形



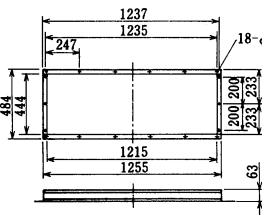
サービススペース



後吸込ダクトフランジ



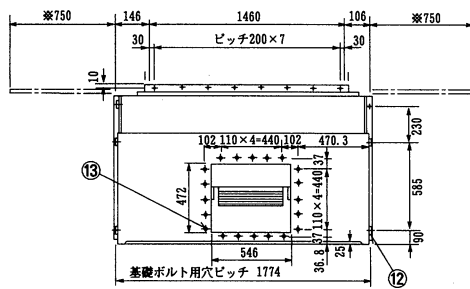
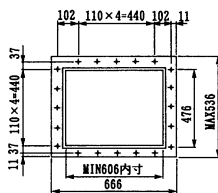
吹出ダクトフランジ



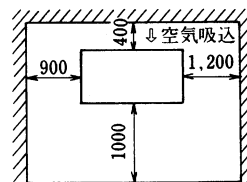
- 冷却水入口
  - 冷却水出口
  - ドレン穴
  - 加湿器配管
  - ペーパーパン
  - 超音波式加湿器
  - 高圧スプレー式加湿器
  - 水スプレー式加湿器
  - 蒸気スプレー式加湿器
- 2B…………①
  - 電線穴…………②
  - 1½B…………③
  - …………④
  - …………½B<おす>
  - …………½B<めす>
- 装置電源穴…………⑤
  - 電線穴…………⑥
  - 電線穴…………⑦
  - 加湿器電源穴…………⑧
  - アース端子<電気品箱内>…………⑨
  - 基礎ボルト穴…………⑩
  - 電熱器電源穴…………⑪
  - 加熱器<蒸気出口>…………⑫
  - 加熱器<蒸気入口>…………⑬
  - 加熱器<温水入口>…………⑭
  - φ52…………⑤
  - φ37…………⑥
  - φ27…………⑦
  - φ27…………⑧
  - 5ねじ…………⑨
  - 4-φ15…………⑩
  - φ52…………⑪
  - 1½B…………⑫
  - 1½B…………⑬

(b)水冷式ダクト専用形

PWT-J850G-F形  
PWT-J1120G-F形

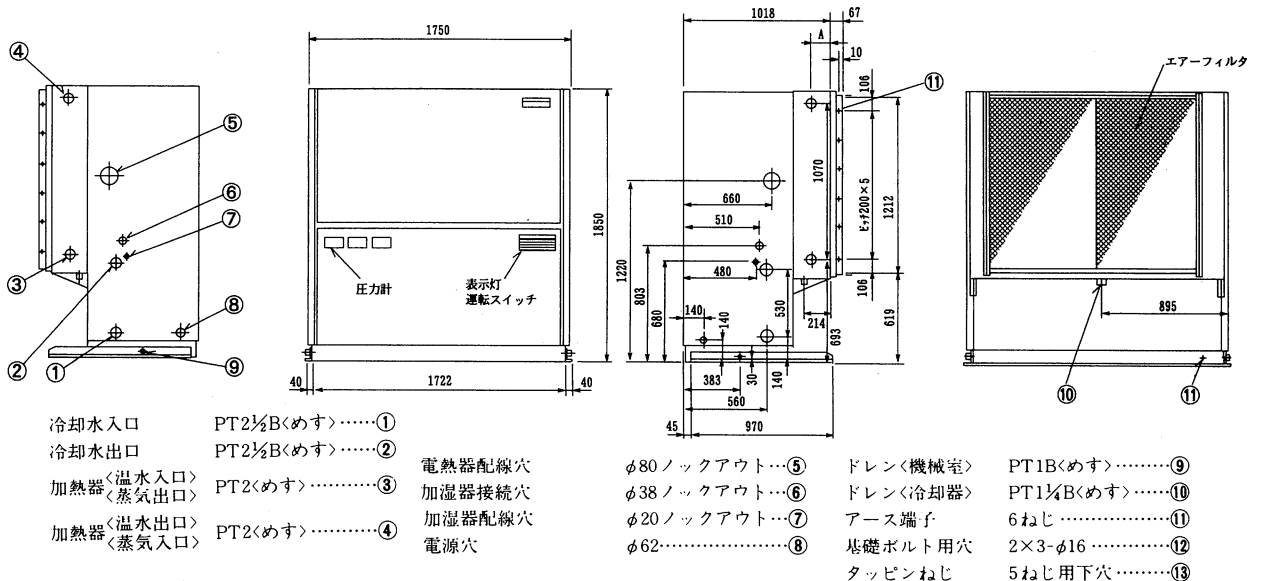


サービススペース



変化寸法表

形名	A
PWT-J850G-F形	134
PWT-J1120G-F形	156

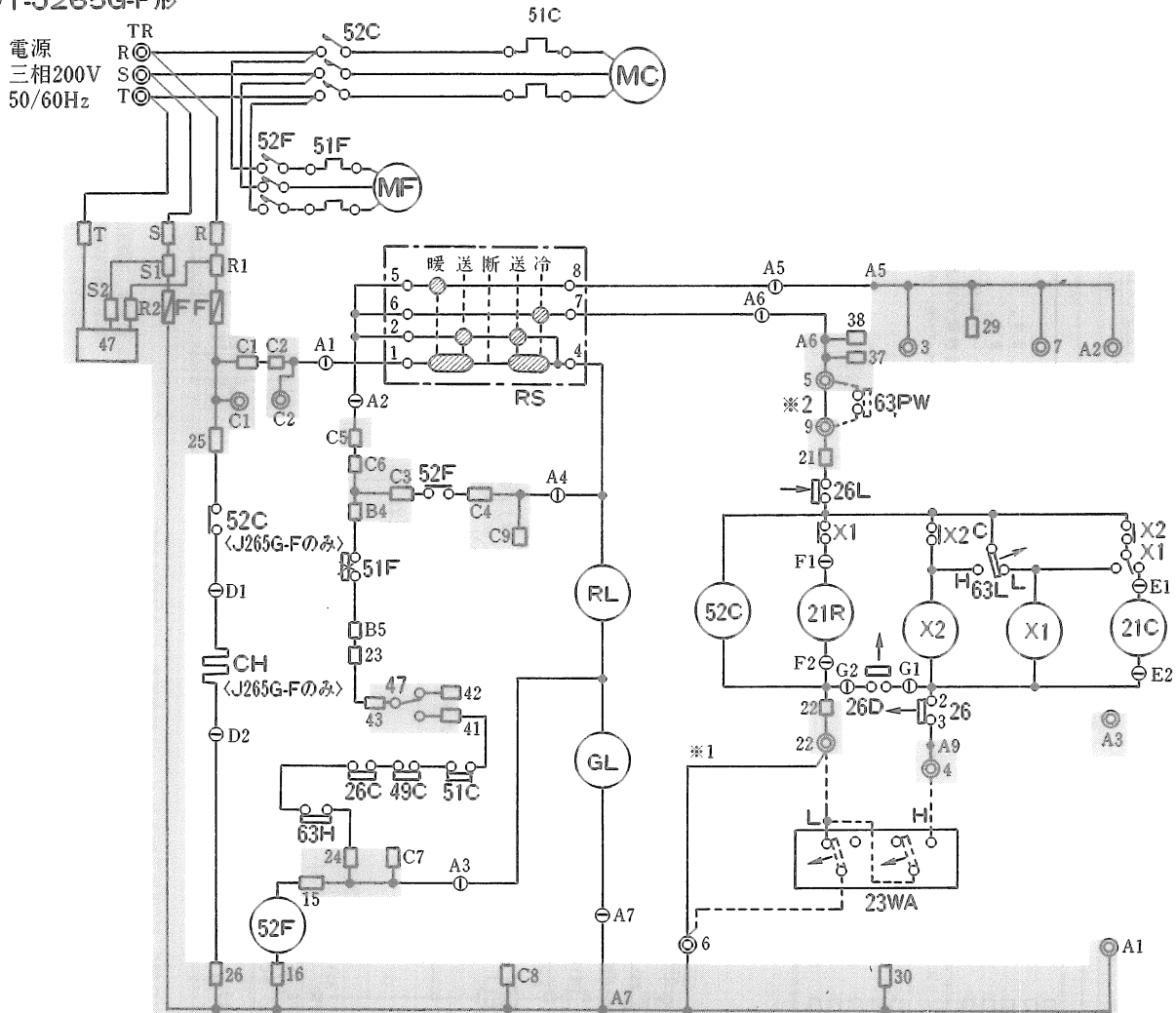


# (5)電気配線図

## (a)水冷式〈PWT-F形〉

PWT-J170G-F形

PWT-J265G-F形



### 記号説明

記号欄の〈〉は別売部品、〔〕は現地手配部品

記号	名称	記号	名称	記号	名称
MC	圧縮機用電動機	63L	圧力開閉器<低圧>	X1・2	補助継電器
MF	送風機用電動機	26C	温度開閉器<吐出温度>	21R	電磁弁<冷媒制御>
52C	電磁接触器<圧縮機>	F	ヒューズ	21C	電磁弁<ホットガスバイパス>
52F	電磁接触器<送風機>	RS	ロータリスイッチ	26D	温度開閉器<着霜防止>
51C	熱動過電流継電器<圧縮機>	CH	電熱器<クランクケース>	26L	温度開閉器<低温・冷却器>
49C	熱動温度開閉器<圧縮機>	47	逆相防止器	26	温度開閉器<容量制御制限>
51F	熱動過電流継電器<送風機>	GL	表示灯<運転>	<63PW>	圧力開閉器<冷却水圧>
<23WA>	温度調節器<自動発停>	RL	表示灯<点検>		
63H	圧力開閉器<高圧>	TB	電源端子盤		

- 注1. 配線図中①はコネクタ、◎は端子台、□は差込端子タブを示します。 6. 51Fにより異常停止した場合は異常を取り除いた後、手でリセットしてください。
2. グレー部分は、プリント板を示します。
3. 電源電線は、必ず正相にて接続してください。  
逆相の場合は、逆相防止器が作動して異常表示になり運転できません。  
この場合には、必ず電源線を2本入れかえて接続してください。
4. 接点部の矢印は、圧力または温度が上昇した場合の接点の動作方向を示します。
5. ※1は23WA、※2は63PWを取り付ける時取り外して下さい。

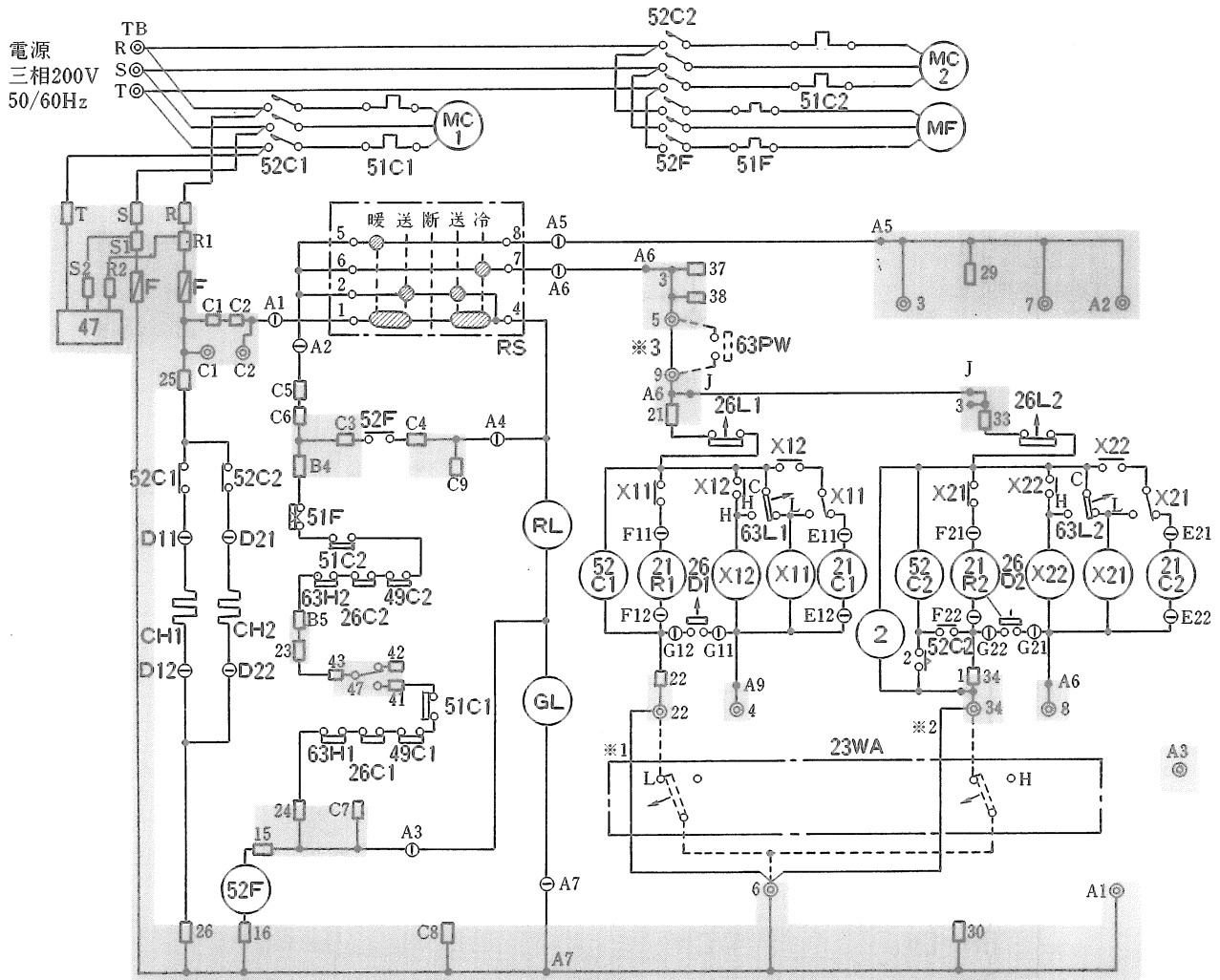
項目	形名	PWT-J170G-F	PWT-J265G-F
室内送風機電動機出力	kW	0.75	1.5
電源配線太さ	mm <sup>2</sup>	5.5<23m>	14<35m>
分岐配線遮断器の場合	形式	NF50-C<5kA> または NF50-S<10kA>	NF100-C<25kA> または NF100-S<50kA>
	定格電流	A	75
刀形開閉器の場合	ヒューズ容量	A	75
	開閉器容量	A	100
漏電遮断器の場合	形式	NV50-C<50A>	NV100-C<75A>
	定格感度	30mA0.1s以下	100mA0.1s以下
接地線太さ	mm <sup>2</sup>	3.5	5.5

- 注1. 配線要領は、内線規程によってください。
2. 配線太さは、金属配管線・合成樹脂配管線<挿入電線数3本以下>の場合の最小値を示します。
3. 配線太さ欄の〈〉内は、電圧降下2%時の電線最大こう長を示しています。〈〉内数値よりこう長が長くなる場合は1段太い電線を使用してください。
4. ヒューズはB種ヒューズを使用する場合を示します。
5. 別売にて用意していますペーパーパン・電気ヒータを組込んでユニット本体と同一電源にする場合は、電源配線太さ及び開閉器、遮断器の容量の再選定が必要となります。

汎用・中温用・産業用エアコン  
(オールフレッシュ用)



PWT-J530G-F形



記号説明

記号欄の<>は別売部品、□は現地手配部品

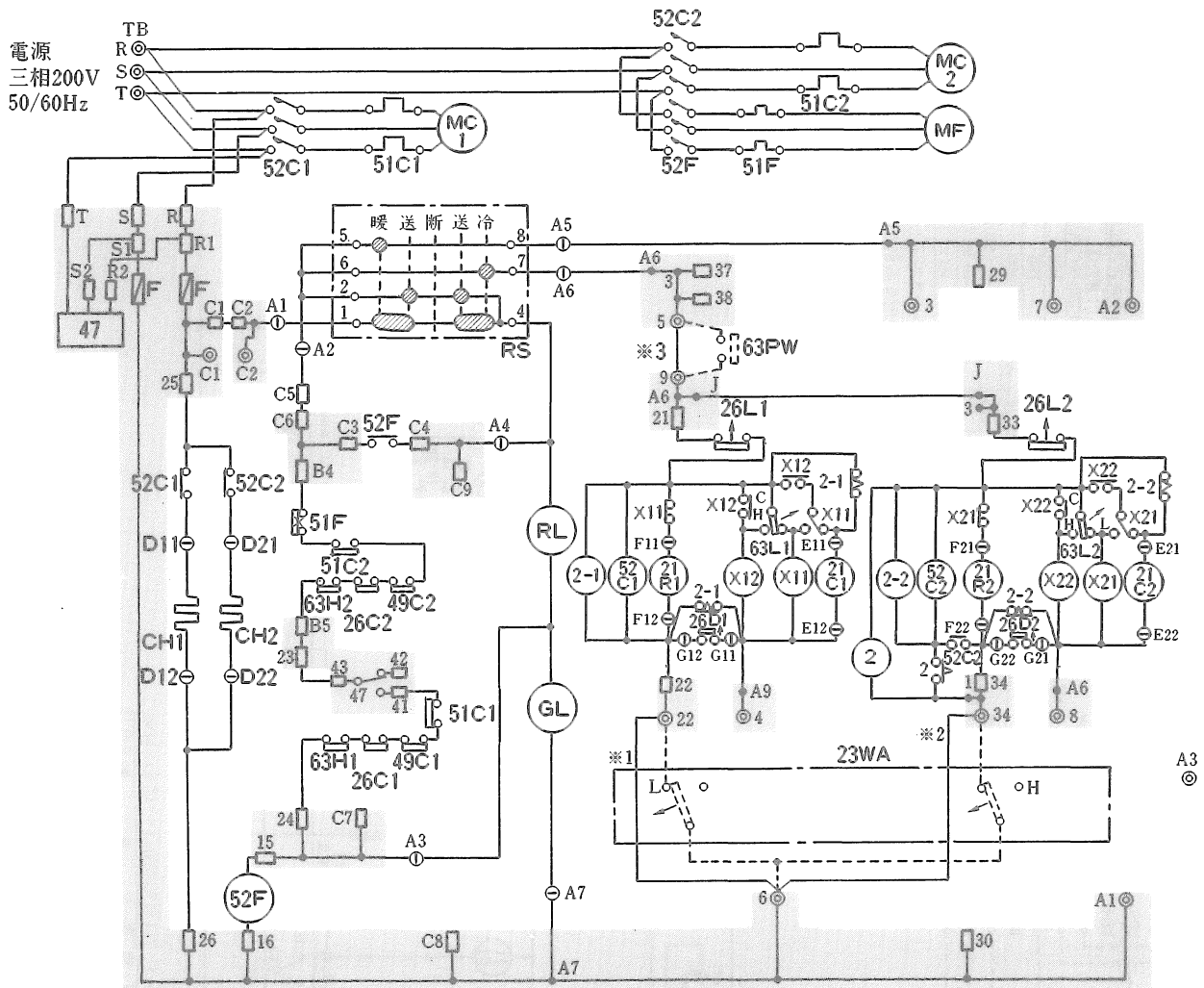
記号	名称	記号	名称	記号	名称
MC1・2	圧縮機用電動機	63L1・2	圧力閉閉器<低压>	26L1・2	温度閉閉器<低温・冷却器>
MF	送風機用電動機	F	ヒューズ	21R1・2	電磁弁<冷媒制御>
52C1・2	電磁接触器<圧縮機>	RS	ロータリスイッチ	21C1・2	電磁弁<ホットガスバイパス>
52F	電磁接触器<送風機>	CH1・2	電熱器<クランクケース>	2	限時継電器
51C1・2	熱動過電流継電器<圧縮機>	47	逆相防止器	X11・12・21・22	補助継電器
49C1・2	熱動温度閉閉器<圧縮機>	GL	表示灯<運転>	63PW	圧力閉閉器<冷却水圧>
51F	熱動過電流継電器<送風機>	RL	表示灯<点検>	TB	電源端子盤
23WA	温度調節器<自動発停>	26C1・2	温度閉閉器<吐出温度>		
63H1・2	圧力閉閉器<高压>	26D1・2	温度閉閉器<霜防止>		

- 配線図中の⊙はコネクタ、◎は端子台、□は差込端子タブを示します。
- グレー部分は、プリント板を示します。
- 電源電線は、必ず正相にて接続してください。  
逆相の場合は、逆相防止器が作動して異常表示になり運転できません。  
この場合には、必ず電源電線を2本入れかえて接続してください。
- 接点部の矢印は、圧力または温度が上昇した場合の接点の動作方向を示します。
- ※1、※2は23WA、※3は63PWを取り付ける時取り外して下さい。
- 51Fにより異常停止した場合は異常を取り除いた後、手でリセットしてください。

項目	形名	PWT-J530G-F	
室内送風機電動機出力	kW	2.2	
電源配線太さ	mm <sup>2</sup>	22<39m>	
分岐	配線遮断器の場合	形式	NF100-C<25kA> または NF100-S<50kA>
		定格電流	A 100
回路	刀形閉閉器の場合	ヒューズ容量	A 100
		閉閉器容量	A 100
回路	漏電遮断器の場合	形式	NV100-C<100A>
		定格感度	100mA0.1s以下
接地線太さ	mm <sup>2</sup>	5.5	

- 配線要領は、内線規程によって下さい。
- 配線太さは、金属管配線・合成樹脂配管<挿入電線数3本以下>の場合の最小値を示します。
- 配線太さ欄の<>内は、電圧降下2%時の電線最大こう長を示しています。<>内数値よりこう長が長くなる場合は1段太い電線を使用してください。
- ヒューズはB種ヒューズを使用する場合は示します。
- 別売にて用意していますペーパーパン・電気ヒータを組込でユニット本体と同一電源にする場合は、電源配線太さ及び閉閉器、遮断器の容量の再選定が必要となります。

PWT-J710G-F形



記号説明

記号欄の〈 〉は別売部品 〈 〉は現地手配部品

記号	名称	記号	名称	記号	名称
MC1・2	圧縮機用電動機	63L1・2	圧力開閉器<低压>	26L1・2	温度開閉器<低温・冷却器>
MF	送風機用電動機	F	ヒューズ	21R1・2	電磁弁<冷媒制御>
52C1・2	電磁接触器<圧縮機>	RS	ロータリスイッチ	21C1・2	電磁弁<ホットガスバイパス>
52F	電磁接触器<送風機>	CH1・2	電熱器<クランクケース>	2	限時継電器
51C1・2	熱動過電流継電器<圧縮機>	47	逆相防止器	X11・12・21・22	補助継電器
49C1・2	熱動温度開閉器<圧縮機>	GL	表示灯<運転>	<63PW>	圧力開閉器<冷却水圧>
51F	熱動過電流継電器<送風機>	RL	表示灯<点検>	TB	電源端子盤
<23WA>	温度調節器<自動発停>	26C1・2	温度開閉器<吐出温度>	2-1・2	限時継電器<起動保障>
63H1・2	圧力開閉器<高压>	26D1・2	温度開閉器<霜防止>		

- 注1. 配線図中の○はコネクタ、◎は端子台、□は差込端子タブを示します。 6. 51Fにより異常停止した場合は異常を取り除いた後、手でリセットしてください。
2. グレー部分は、プリント板を示します。
3. 電源電線は、必ず正相にて接続してください。  
逆相の場合は、逆相防止器が作動して異常表示になり運転できません。  
この場合には、必ず電源線を2本入れかえて接続してください。
4. 接点部の矢印は、圧力または温度が上昇した場合の接点の動作方向を示します。
5. ※1, ※2は23WA, ※3は63PWを取り付ける時取り外して下さい。

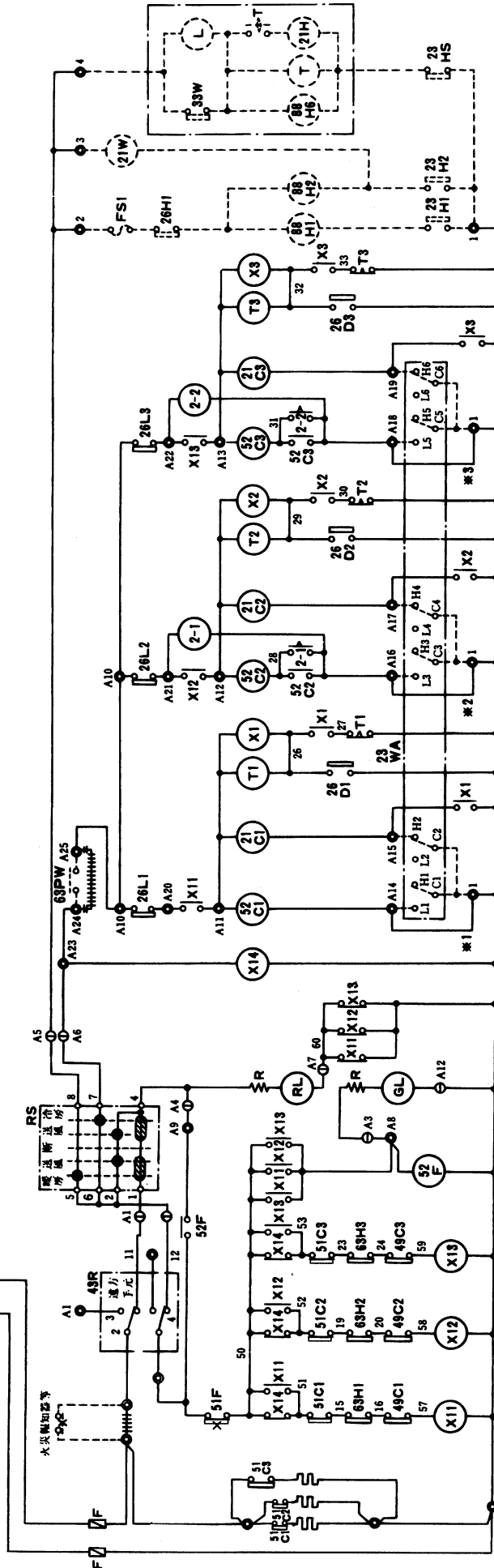
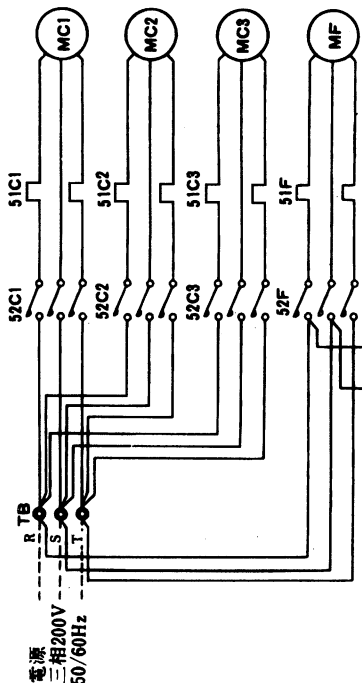
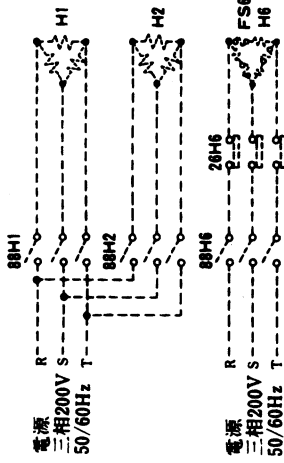
項目	形名	PWT-J710G-F	
室内送風機電動機出力	kW	3.7	
分岐回路	電源配線太さ	mm <sup>2</sup> 60<62m>	
	配線遮断器の場合	形式	NF225-C<30kA> または NF225-S<50kA>
		定格電流	A 175
	刀形開閉器の場合	ヒューズ容量	A 150
		開閉器容量	A 200
漏電遮断器の場合	形式	NV225-C<175A>	
接地線太さ	mm <sup>2</sup>	14	

- 注1. 配線要領は、内線規程によってください。
2. 配線太さは、金属管配線・合成樹脂配管<挿入電線数3本以下>の場合の最小値を示します。
3. 配線太さ欄の〈 〉内は、電圧降下2%時の電線最大こう長を示しています。〈 〉内数値よりこう長が長くなる場合は1段太い電線を使用してください。
4. ヒューズはB種ヒューズを使用する場合を示します。
5. 別定にて用意していますペーパーパン・電気ヒータを組込んでユニット本体と同一電源にする場合は、電源配線太さ及び開閉器、遮断器の容量の再選定が必要となります。

(b)水冷式ダクト専用形  
PWT-J850G-F形  
PWT-J1120G-F形

項目	形名	PWT-J850G-F	PWT-J1120G-F
送風機電動機出力	KW	60	2.2
電源配線太さ	mm <sup>2</sup>		100
電分配線遮断器の場合	形 式	NF225-C<30KA>	NF225-C<30KA>
		または NF225-S<50KA>	または NF225-S<50KA>
電気回路	定格電流	A	200
		A	200
工事	閉回路容量	150	200
		200	200
遮断器の場合	形 式	NV225-C<150A>	NV225-C<200A>
		100mA0.1s以下	100~200mA0.1s以下
接地線太さ	mm <sup>2</sup>	22	22

※1. 電線太さは金属配線の場合の最小太さを示します。  
※2. 過電流保護器はB種ヒューズを使用する場合には取外してください。



記号欄<>は現地手配部品、<>は別売部品、( )は受注対応

記号	名称	記号	名称
MC1-3	主配線用電動機	2-1,2	限流継電器
MF	送風機用電動機	T1-3	温度ヒューズ
52C1-3	電磁接点器<圧縮機>	X1-3	補助継電器
52F	電磁接点器<送風機>	63PW	冷却水ポンプインテロック
51C1-3	熱動過電流継電器<圧縮機>	TB	電磁溶接機
49C1-3	熱動過電流継電器<送風機>	68H1,2	電磁接点器
68H1-3	三方開閉器<圧縮機>	68H4	電磁接点器<加温>
49R	切欠スイッチ<送風機>	26D1-3	温度開閉器<霜害防止>
		26D2-3	温度開閉器<霜害防止>
		26D3	温度開閉器<霜害防止>
		26D4	温度開閉器<霜害防止>
		26D5	温度開閉器<霜害防止>
		26D6	温度開閉器<霜害防止>
		26D7	温度開閉器<霜害防止>
		26D8	温度開閉器<霜害防止>
		26D9	温度開閉器<霜害防止>
		26D10	温度開閉器<霜害防止>
		26D11	温度開閉器<霜害防止>
		26D12	温度開閉器<霜害防止>
		26D13	温度開閉器<霜害防止>
		26D14	温度開閉器<霜害防止>
		26D15	温度開閉器<霜害防止>
		26D16	温度開閉器<霜害防止>
		26D17	温度開閉器<霜害防止>
		26D18	温度開閉器<霜害防止>
		26D19	温度開閉器<霜害防止>
		26D20	温度開閉器<霜害防止>
		26D21	温度開閉器<霜害防止>
		26D22	温度開閉器<霜害防止>
		26D23	温度開閉器<霜害防止>
		26D24	温度開閉器<霜害防止>
		26D25	温度開閉器<霜害防止>
		26D26	温度開閉器<霜害防止>
		26D27	温度開閉器<霜害防止>
		26D28	温度開閉器<霜害防止>
		26D29	温度開閉器<霜害防止>
		26D30	温度開閉器<霜害防止>
		26D31	温度開閉器<霜害防止>
		26D32	温度開閉器<霜害防止>
		26D33	温度開閉器<霜害防止>
		26D34	温度開閉器<霜害防止>
		26D35	温度開閉器<霜害防止>
		26D36	温度開閉器<霜害防止>
		26D37	温度開閉器<霜害防止>
		26D38	温度開閉器<霜害防止>
		26D39	温度開閉器<霜害防止>
		26D40	温度開閉器<霜害防止>
		26D41	温度開閉器<霜害防止>
		26D42	温度開閉器<霜害防止>
		26D43	温度開閉器<霜害防止>
		26D44	温度開閉器<霜害防止>
		26D45	温度開閉器<霜害防止>
		26D46	温度開閉器<霜害防止>
		26D47	温度開閉器<霜害防止>
		26D48	温度開閉器<霜害防止>
		26D49	温度開閉器<霜害防止>
		26D50	温度開閉器<霜害防止>
		26D51	温度開閉器<霜害防止>
		26D52	温度開閉器<霜害防止>
		26D53	温度開閉器<霜害防止>
		26D54	温度開閉器<霜害防止>
		26D55	温度開閉器<霜害防止>
		26D56	温度開閉器<霜害防止>
		26D57	温度開閉器<霜害防止>
		26D58	温度開閉器<霜害防止>
		26D59	温度開閉器<霜害防止>
		26D60	温度開閉器<霜害防止>
		26D61	温度開閉器<霜害防止>
		26D62	温度開閉器<霜害防止>
		26D63	温度開閉器<霜害防止>
		26D64	温度開閉器<霜害防止>
		26D65	温度開閉器<霜害防止>
		26D66	温度開閉器<霜害防止>
		26D67	温度開閉器<霜害防止>
		26D68	温度開閉器<霜害防止>
		26D69	温度開閉器<霜害防止>
		26D70	温度開閉器<霜害防止>
		26D71	温度開閉器<霜害防止>
		26D72	温度開閉器<霜害防止>
		26D73	温度開閉器<霜害防止>
		26D74	温度開閉器<霜害防止>
		26D75	温度開閉器<霜害防止>
		26D76	温度開閉器<霜害防止>
		26D77	温度開閉器<霜害防止>
		26D78	温度開閉器<霜害防止>
		26D79	温度開閉器<霜害防止>
		26D80	温度開閉器<霜害防止>
		26D81	温度開閉器<霜害防止>
		26D82	温度開閉器<霜害防止>
		26D83	温度開閉器<霜害防止>
		26D84	温度開閉器<霜害防止>
		26D85	温度開閉器<霜害防止>
		26D86	温度開閉器<霜害防止>
		26D87	温度開閉器<霜害防止>
		26D88	温度開閉器<霜害防止>
		26D89	温度開閉器<霜害防止>
		26D90	温度開閉器<霜害防止>
		26D91	温度開閉器<霜害防止>
		26D92	温度開閉器<霜害防止>
		26D93	温度開閉器<霜害防止>
		26D94	温度開閉器<霜害防止>
		26D95	温度開閉器<霜害防止>
		26D96	温度開閉器<霜害防止>
		26D97	温度開閉器<霜害防止>
		26D98	温度開閉器<霜害防止>
		26D99	温度開閉器<霜害防止>
		26D100	温度開閉器<霜害防止>

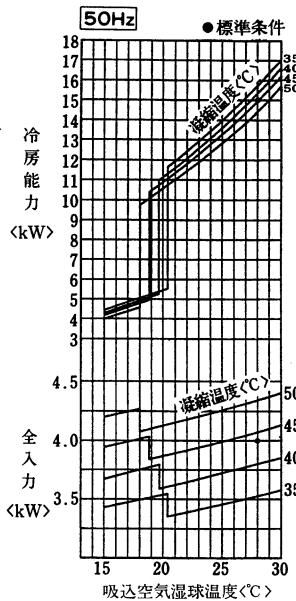
1. 図中⊙印はコネクタ、◎印は端子台を示します。
2. 破線部分は現地手配部分を示します。
3. 十十十は製品に組込んでいます。63PW及び火災報知器等取付の際には取外してください。
4. ※1-3は23WAを取付ける際、取外してください。

# (6)能力線図

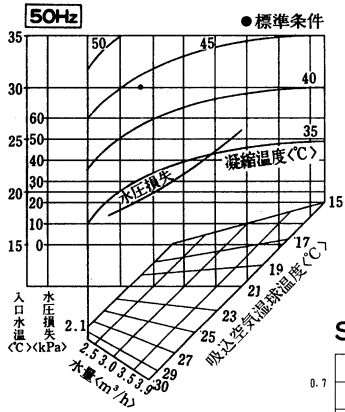
## (a)水冷式 <PWT-F形>

### PWT-J170G-F形

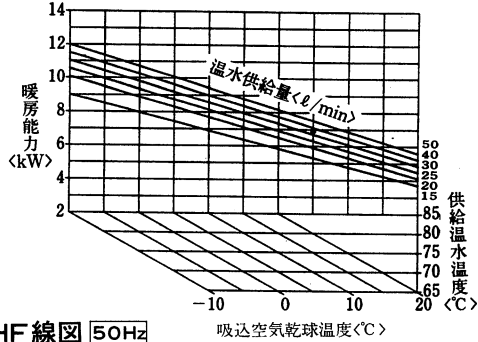
#### 冷房能力線図



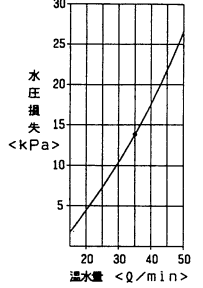
#### 凝縮器特性線図



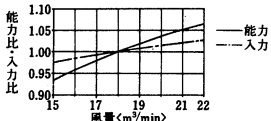
#### 温水加熱器能力線図<別売部品>



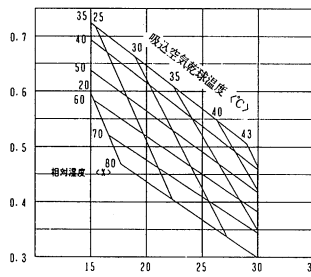
#### 温水加熱器 水圧損失線図 <別売部品>



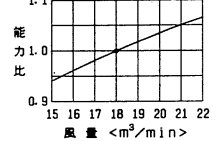
#### 風量補正線図 50Hz



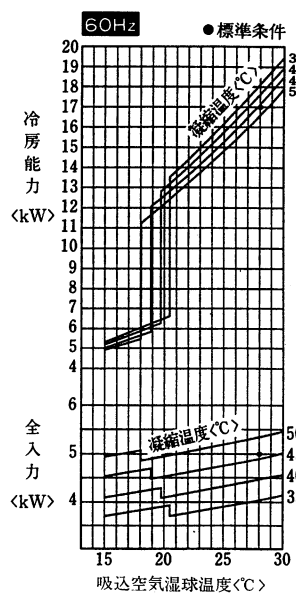
#### SHF線図 50Hz



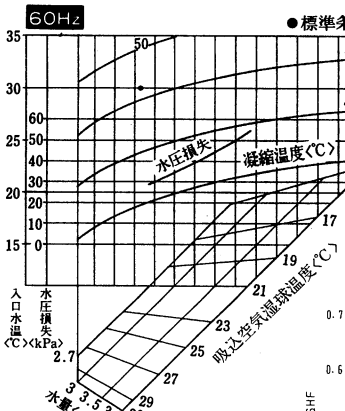
#### 温水・蒸気加熱器 風量補正線図 <別売部品>



#### 冷房能力線図



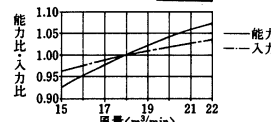
#### 凝縮器特性線図



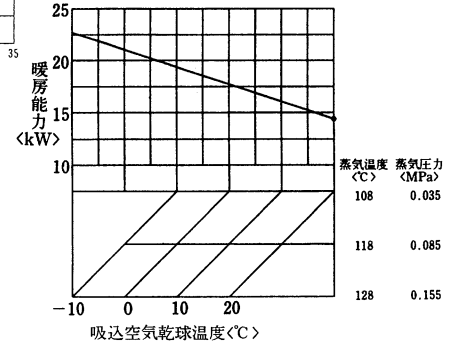
#### SHF線図 60Hz



#### 風量補正線図 60Hz



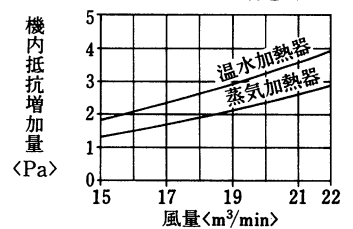
#### 蒸気加熱器能力線図<別売部品>



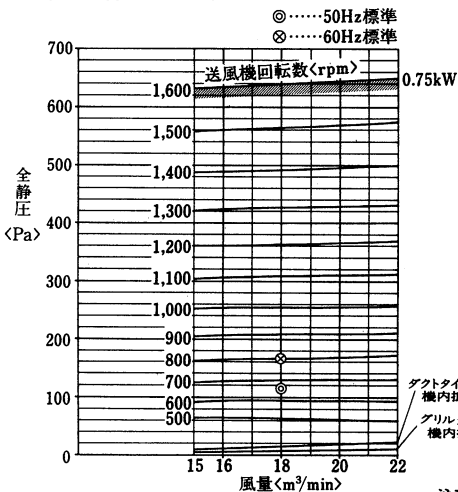
#### 使用上の注意<蒸気・温水加熱器>

- 暖房プルアップ時(又は常時)吸い込み空気が0°C以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結する恐れがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等)
- 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結する恐れがありますので必ず水抜きを実施してください。

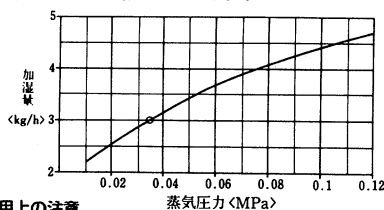
#### 温水・蒸気加熱器機内抵抗線図 <別売部品>



#### 送風機性能線図



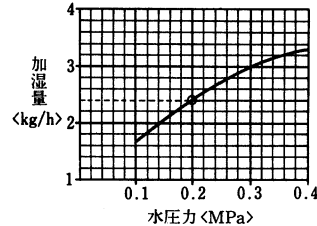
#### 蒸気加湿器能力線図<別売部品>



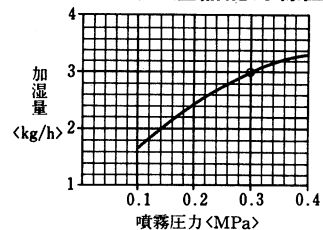
#### 使用上の注意

- 図は次の電磁弁と組合せた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので適宜に調節してください。(塞止弁にしてもよい) 組合せ電磁弁口径 φ3
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水洩れが発生することがあります。必ず電磁弁(または塞止弁)を使用してください。

#### 水スプレー式加湿器能力線図<別売部品>



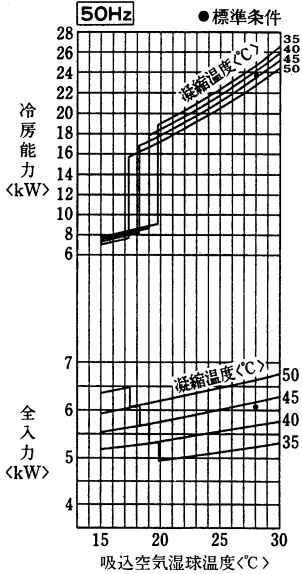
#### 高圧水スプレー式加湿器能力線図<別売部品>



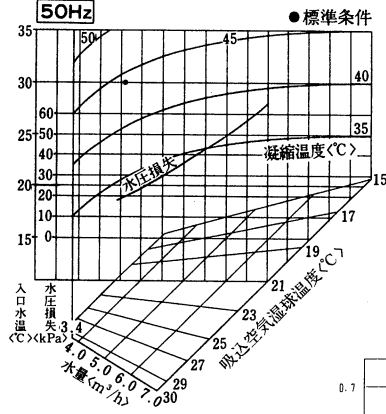
- 注1. 供給水としては60°C以下、水圧0.1~0.4MPa...水スプレー、0.1~0.5MPa...高圧スプレーの範囲で使用してください。
- 注2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水洩れが発生することがあります。
- 注3. 2倍形(ヘッダー本数2本)の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。

PWT-J265G-F形

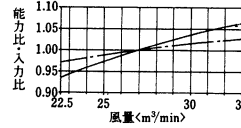
冷房能力線図



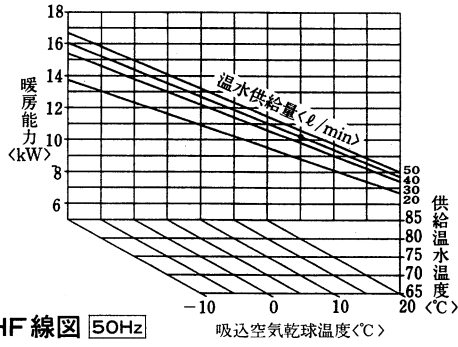
凝縮器特性線図



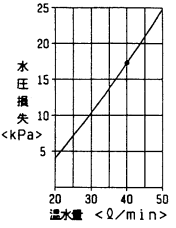
風量補正線図



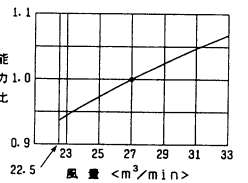
温水加熱器能力線図<別売部品>



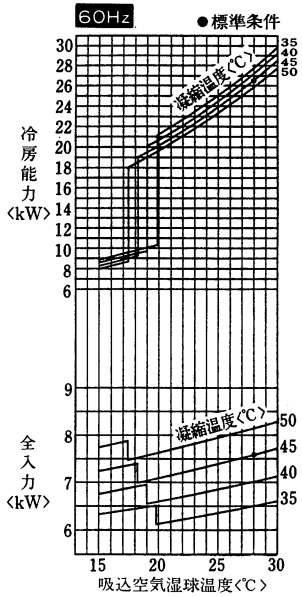
温水加熱器  
水圧損失線図  
<別売部品>



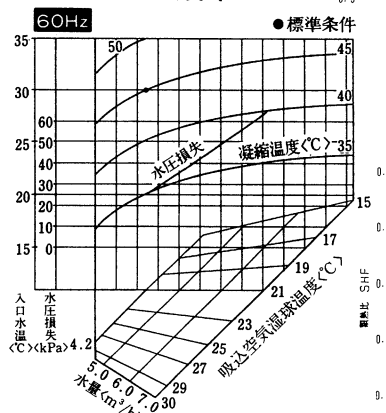
温水・蒸気加熱器  
風量補正線図  
<別売部品>



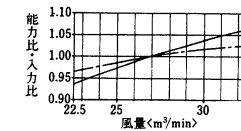
冷房能力線図



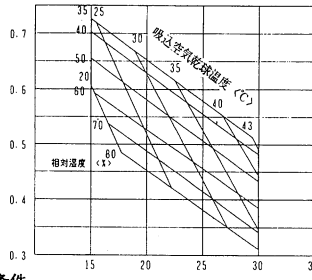
凝縮器特性線図



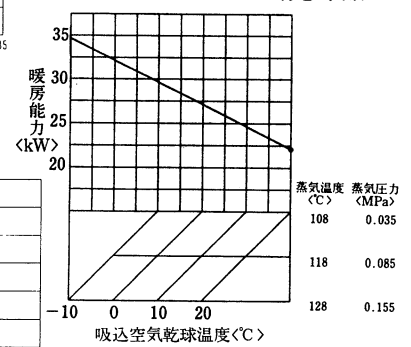
風量補正線図



SHF線図



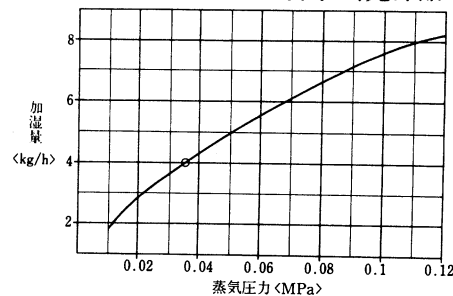
蒸気加熱器能力線図<別売部品>



使用上の注意<蒸気・温水加熱器>

1. 暖房プルアップ時(又は常時)吸い込み空気が0°C以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結する恐れがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等)
2. 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結する恐れがありますので必ず水抜きを実施してください。

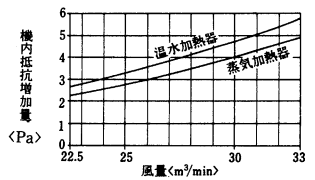
蒸気加湿器能力線図<別売部品>



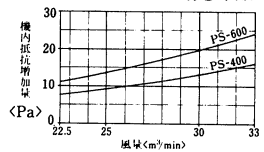
使用上の注意

1. 図は次の電磁弁と組合せた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので適宜に調節してください。(禁止弁にしてもよい) 組合せ電磁弁口径 φ3
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水洩れが発生することがあります。必ず電磁弁(または禁止弁)を使用してください。

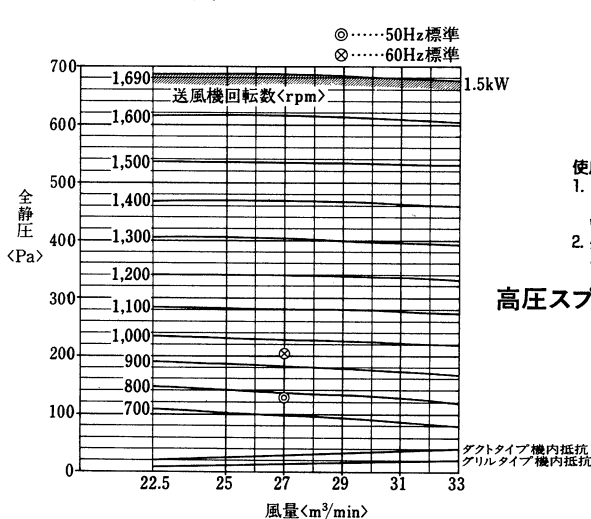
温水・蒸気加熱器機内  
抵抗線図<別売部品>



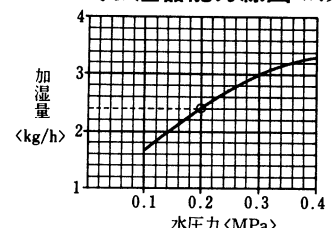
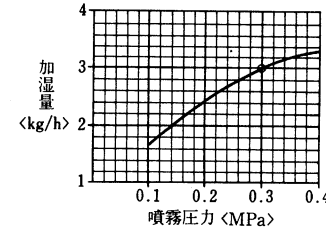
フィルドフィルタ機内抵抗線図  
<別売部品>



送風機性能線図



高圧スプレー式加湿器能力線図<別売部品> 水スプレー式加湿器能力線図<別売部品>



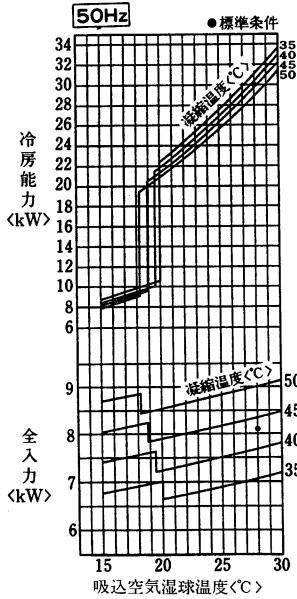
- 注1. 供給水としては60°C以下、水圧0.1~0.4MPa...水スプレー、0.1~0.5MPa...高圧スプレーの範囲で使用してください。
- 注2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水洩れが発生することがあります。
- 注3. 2倍形(ヘッダー本数2本)の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。

汎用・中温用・産業用エアコン  
(オールフレッシュ用)

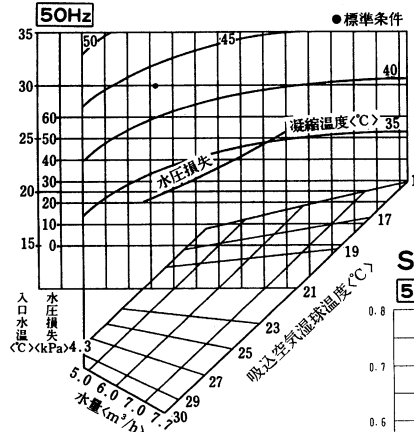


PWT-J335G-F形

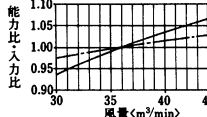
冷房能力線図



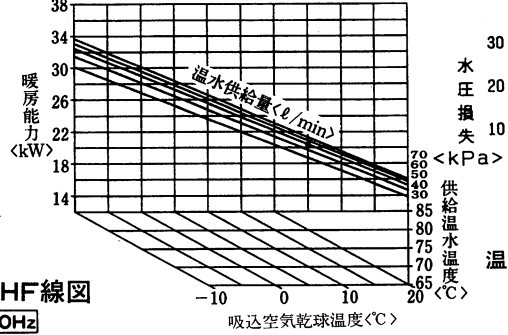
凝縮器特性線図



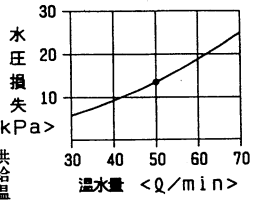
風量補正線図 50Hz



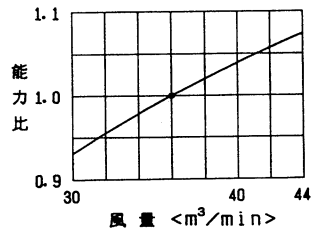
温水加熱器能力線図<別売部品>



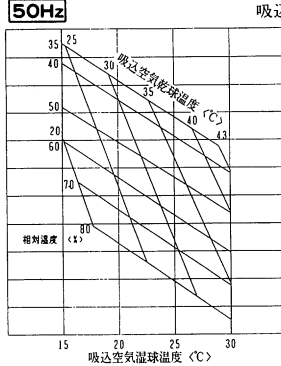
温水加熱器  
水圧損失線図  
<別売部品>



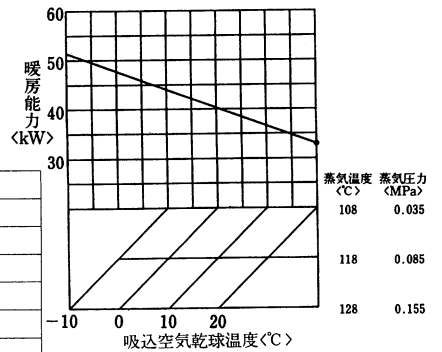
温水・蒸気加熱器  
風量補正線図  
<別売部品>



SHF線図



蒸気加湿器能力線図<別売部品>

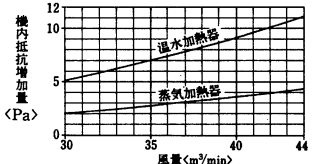


使用上の注意(蒸気・温水加熱器)

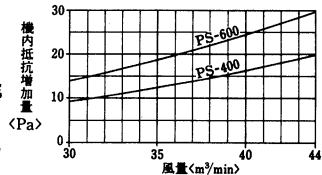
1. 暖房プルアップ時(又は常時)吸い込み空気が0°C以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結する恐れがありますので、適切な凍結防止措置を施してください。(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等)
2. 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結する恐れがありますので必ず水抜きを実施してください。

温水・蒸気加熱器

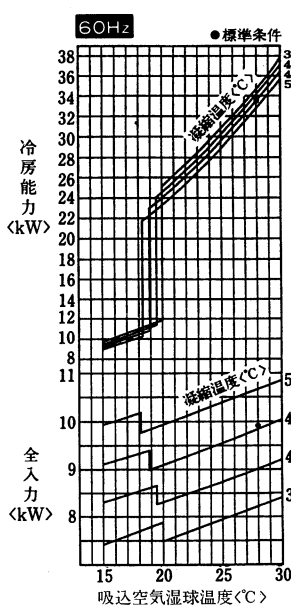
機内抵抗線図<別売部品>



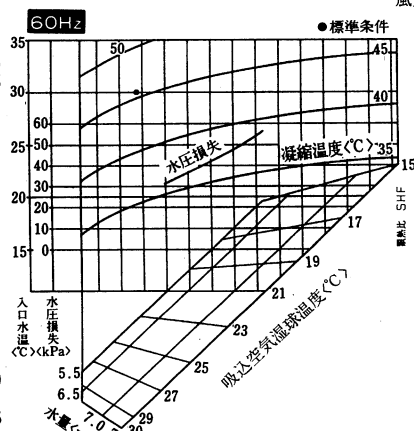
フィードンフィルタ機内抵抗線図  
<別売部品>



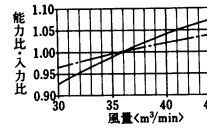
冷房能力線図



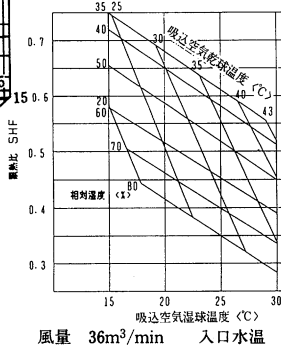
凝縮器特性線図



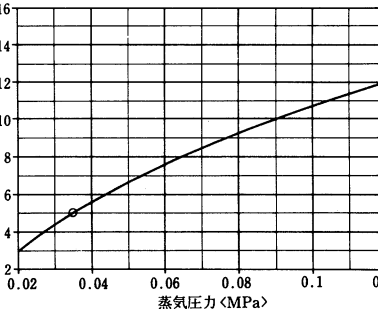
風量補正線図 60Hz



SHF線図 60Hz



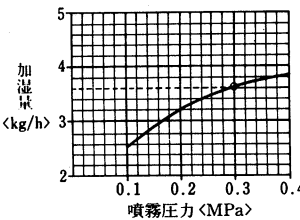
蒸気加湿器能力線図<別売部品>



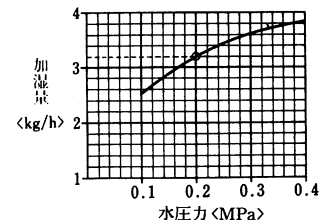
使用上の注意

1. 図は次の電磁弁と組合せた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので適宜に調節してください。(塞止弁にしてもよい) 組合せ電磁弁口径 φ3
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水洩れが発生することがあります。必ず電磁弁(または塞止弁)を使用してください。

高圧スプレー式加湿器能力線図  
<別売部品>

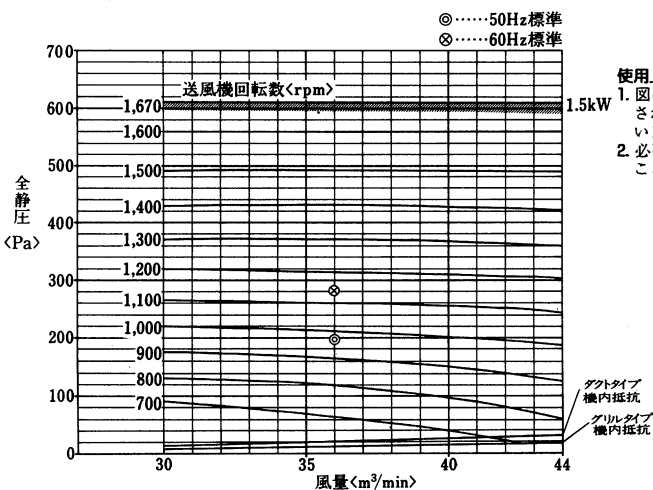


水スプレー式加湿器能力線図  
<別売部品>

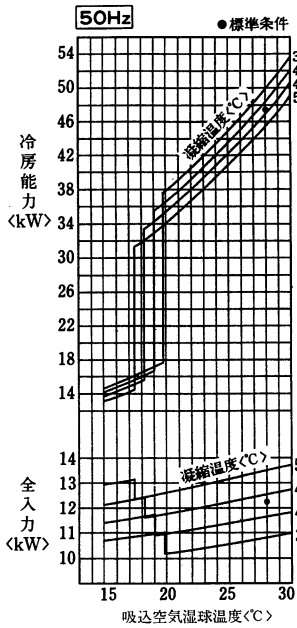


- 注1. 供給水としては60°C以下、水圧0.1~0.4MPa…水スプレー。0.1~0.5MPa…高圧スプレーの範囲で使用してください。  
 注2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水洩れが発生することがあります。  
 注3. 2倍形(ヘッダー本数2本)の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。

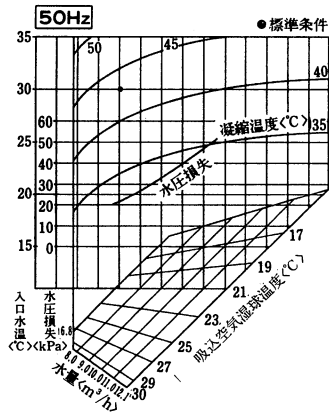
送風機性能線図



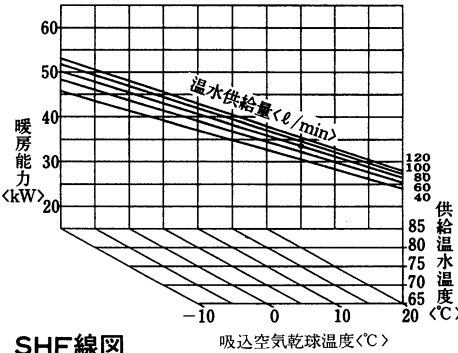
**PWT-J530G-F形  
冷房能力線図**



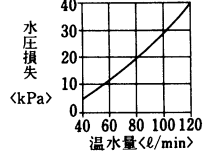
**凝縮器特性線図**



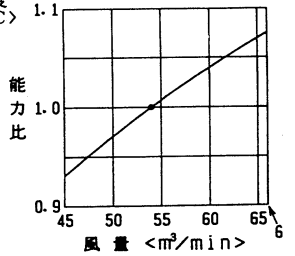
**温水加熱器能力線図<別売部品>**



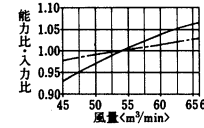
**温水加熱器  
水圧損失線図  
<別売部品>**



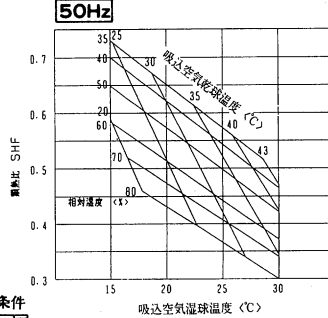
**温水・蒸気加熱器  
風量補正線図  
<別売部品>**



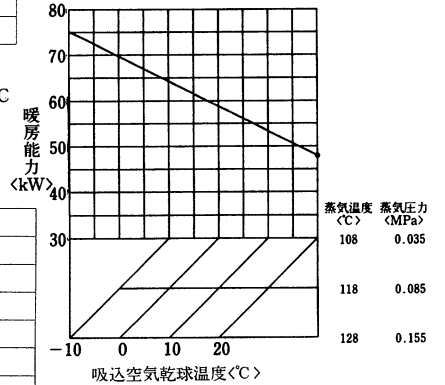
**風量補正線図 50Hz**



**SHF線図**



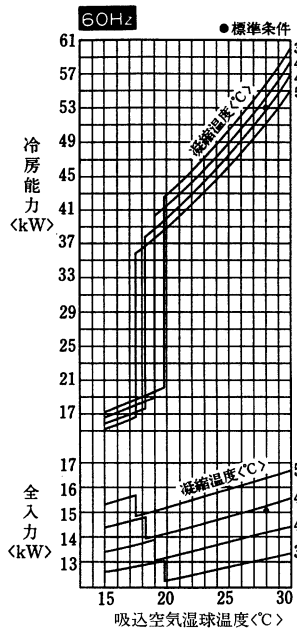
**蒸気加熱器能力線図<別売部品>**



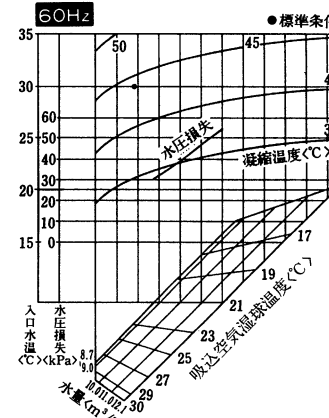
**使用上の注意<蒸気・温水加熱器>**

- 暖房プルアップ時(又は常時)吸い込み空気が0°C以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結する恐れがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等)
- 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結する恐れがありますので必ず水抜きを実施してください。

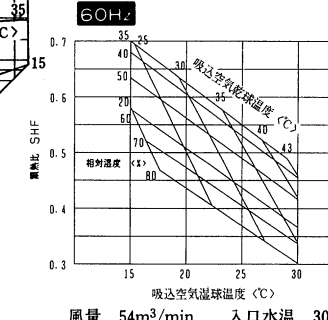
**冷房能力線図**



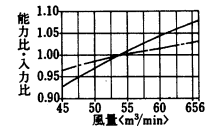
**凝縮器特性線図**



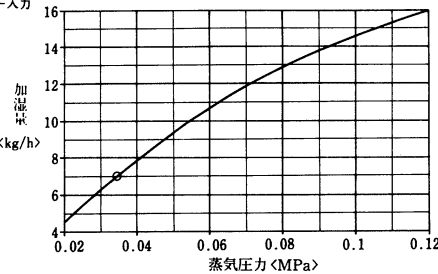
**SHF線図**



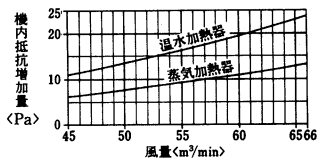
**風量補正線図 60Hz**



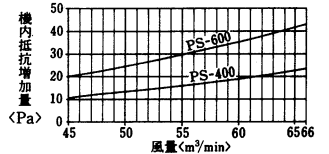
**蒸気加湿器能力線図<別売部品>**



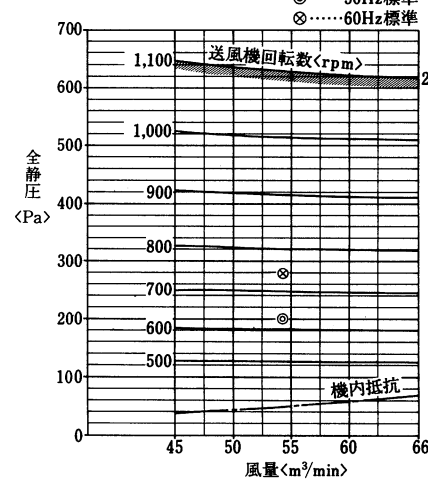
**温水・蒸気加熱器機内  
抵抗線図<別売部品>**



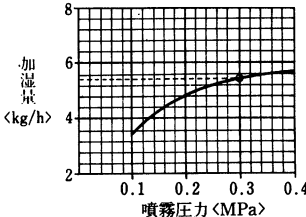
**フィルドフィルタ機内抵抗線図<別売部品>**



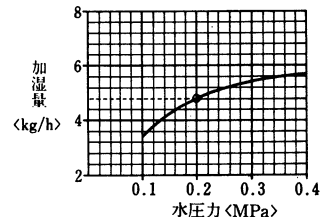
**送風機性能線図**



**高圧スプレー式加湿器能力線図<別売部品>**



**水スプレー式加湿器能力線図<別売部品>**

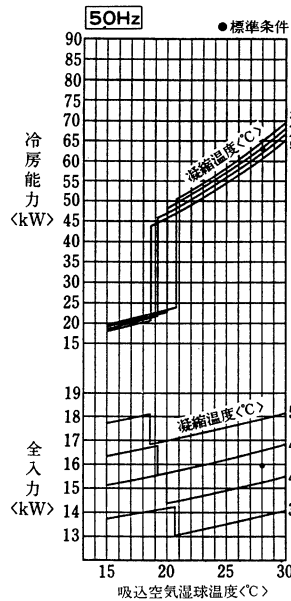


- 注1. 供給水としては60°C以下、水圧0.1~0.4MPa…水スプレー、0.1~0.5MPa…高圧スプレーの範囲で使用してください。
- 注2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水洩れが発生することがあります。
- 注3. 2倍形<ヘッダー本数2本>の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。

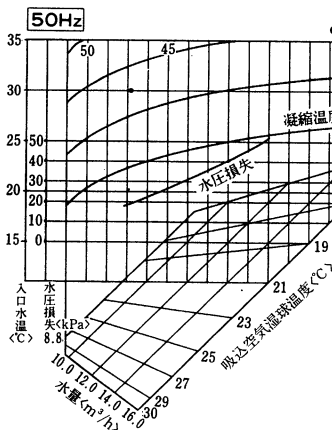
汎用・中温用・産業用エアコン  
(オールフレッシュユ用)

PWT-J71 0G-F形

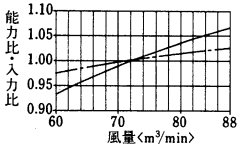
冷房能力線図



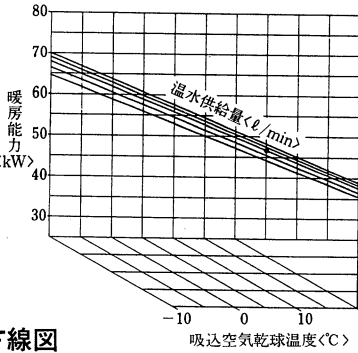
凝縮器特性線図



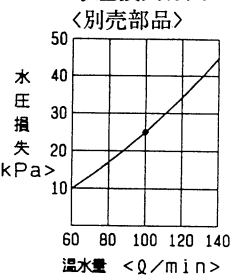
風量補正線図 50Hz



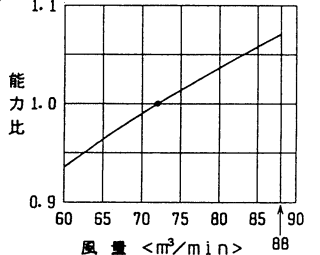
温水加熱器能力線図<別売部品>



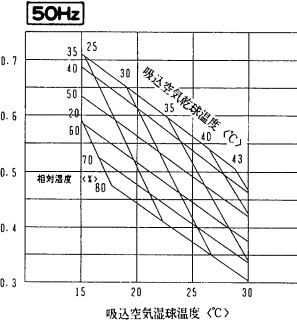
温水加熱器水圧損失線図<別売部品>



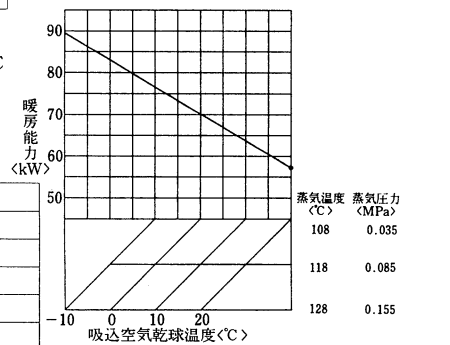
温水・蒸気加熱器風量補正線図<別売部品>



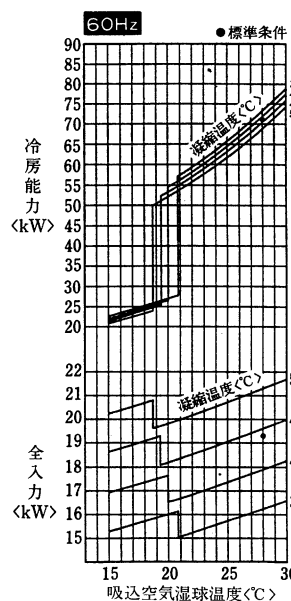
SHF線図



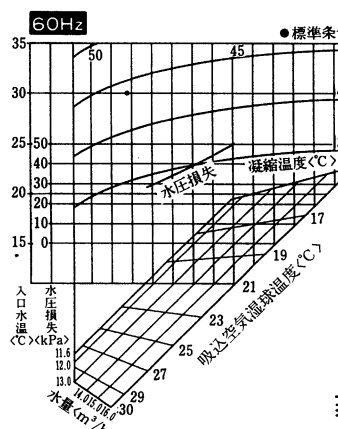
蒸気加熱器能力線図<別売部品>



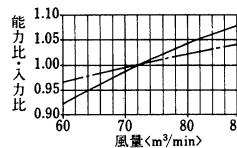
冷房能力線図



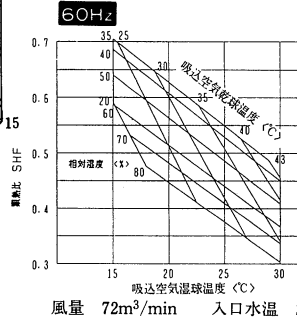
凝縮器特性線図



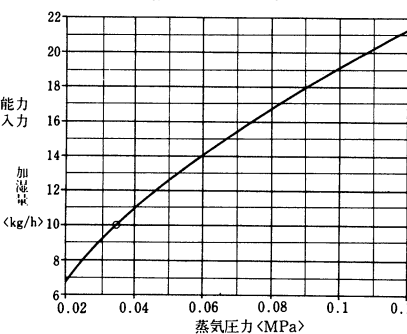
風量補正線図 60Hz



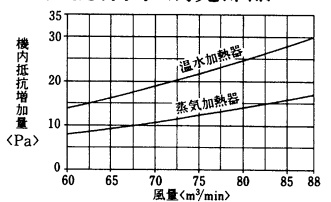
SHF線図



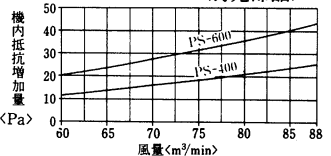
蒸気加湿器能力線図<別売部品>



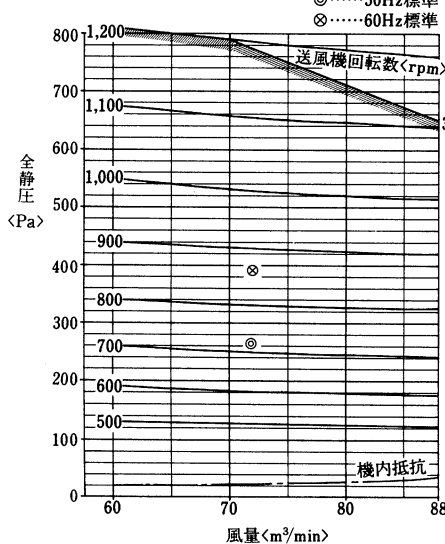
温水・蒸気加熱器機内抵抗線図<別売部品>



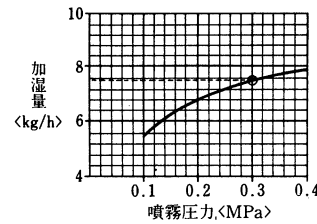
フィルドフィルタ機内抵抗線図<別売部品>



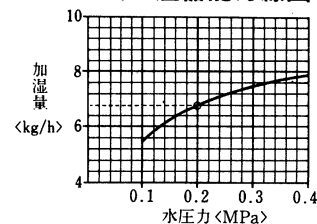
送風機性能線図



高圧スプレー式加湿器能力線図<別売部品>



水スプレー式加湿器能力線図<別売部品>

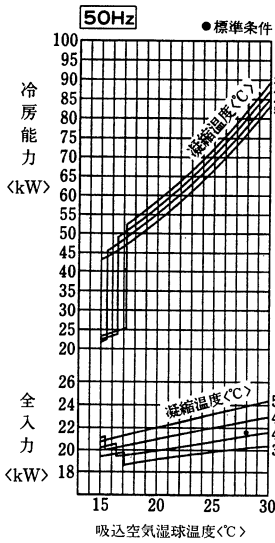


使用上の注意  
 1. 図は次の電磁弁と組合せた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので適宜に調節してください。(塞止弁にしてもよい) 組合せ電磁弁口径 φ3  
 2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水洩れが発生することがあります。必ず電磁弁(または塞止弁)を使用してください。

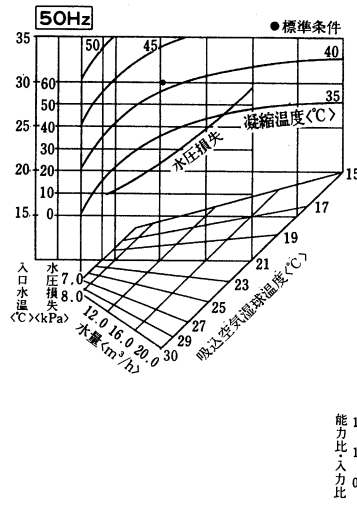
注1. 供給水としては60°C以下、水圧0.1~0.4MPa...水スプレー、0.1~0.5MPa...高圧スプレーの範囲で使用してください。  
 2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水洩れが発生することがあります。  
 3. 2倍形(ヘッダー本数2本)の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。

(b)水冷式ダクト専用形  
PWT-J850G-F形

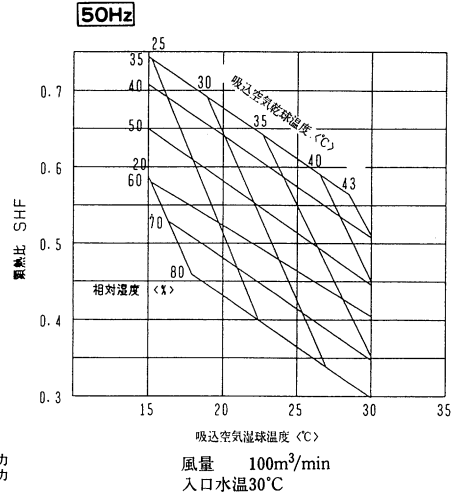
冷房能力線図



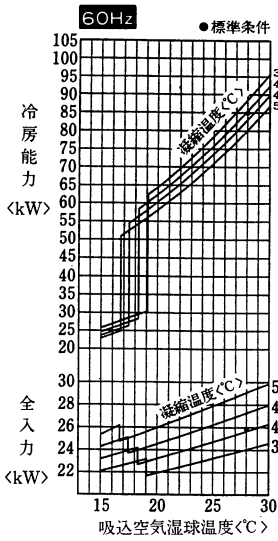
凝縮器特性線図



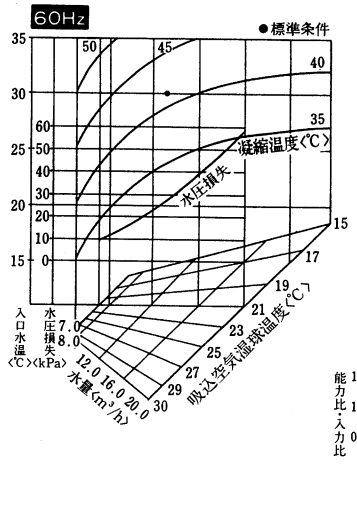
SHF線図



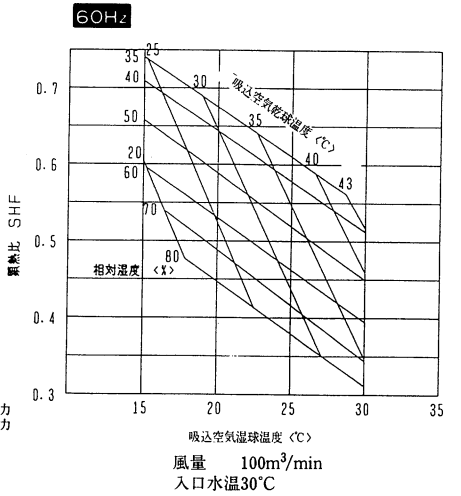
冷房能力線図



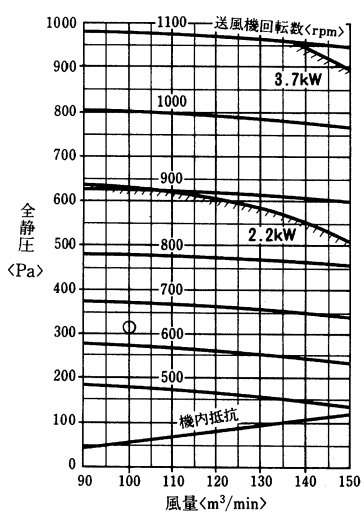
凝縮器特性線図



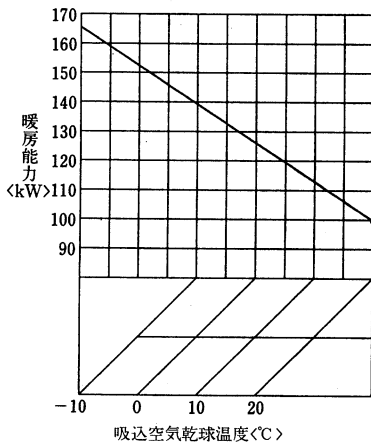
SHF線図



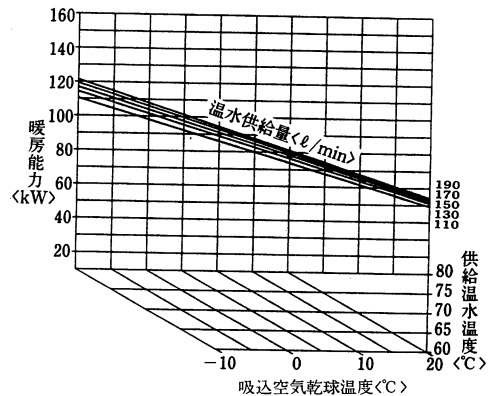
送風機性能線図



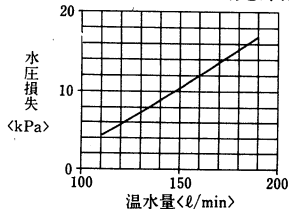
蒸気加熱器能力線図<別売部品>



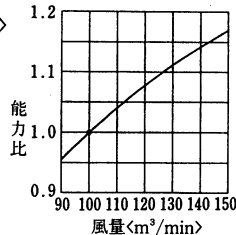
温水加熱器能力線図<別売部品>



温水加熱器  
水圧損失線図<別売部品>



温水・蒸気加熱器  
風量補正線図<別売部品>



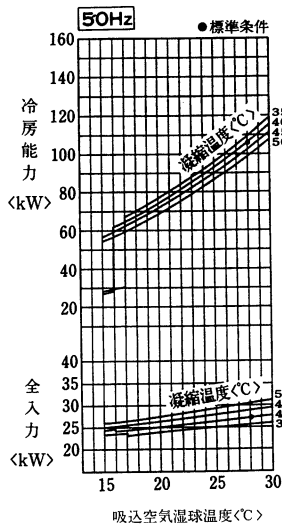
使用上の注意<蒸気・温水加熱器>

- 暖房プルアップ時(又は常時)吸込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結する恐れがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等)
- 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結する恐れがありますので必ず水抜きを実施してください。

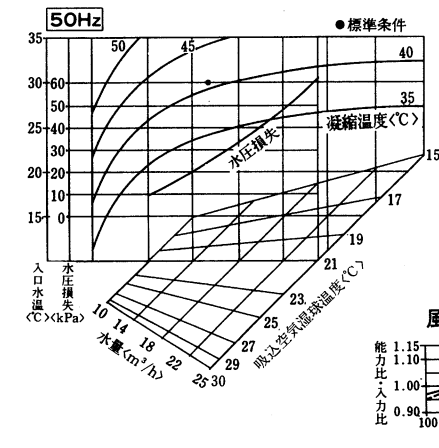
汎用・中温用・産業用エアコン  
(オールフレッシュ用)

PWT-J1120G-F形

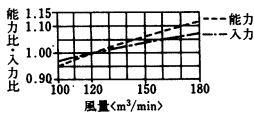
冷房能力線図



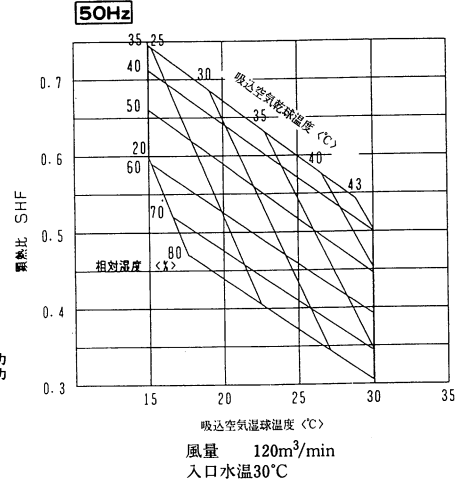
凝縮器特性線図



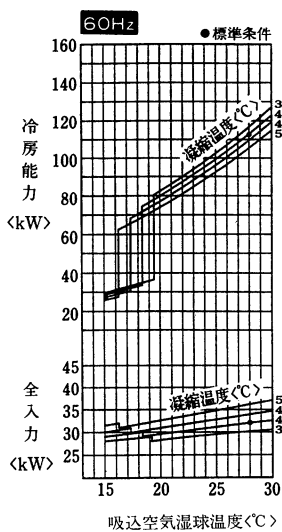
風量補正線図



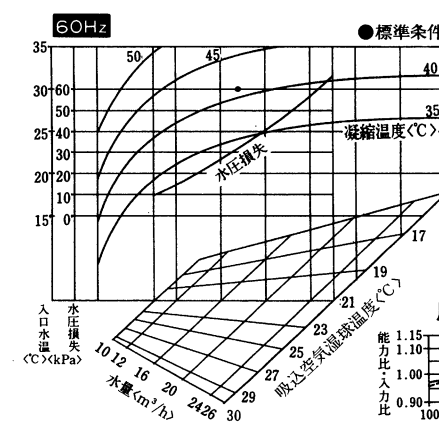
SHF線図



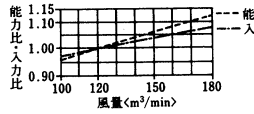
冷房能力線図



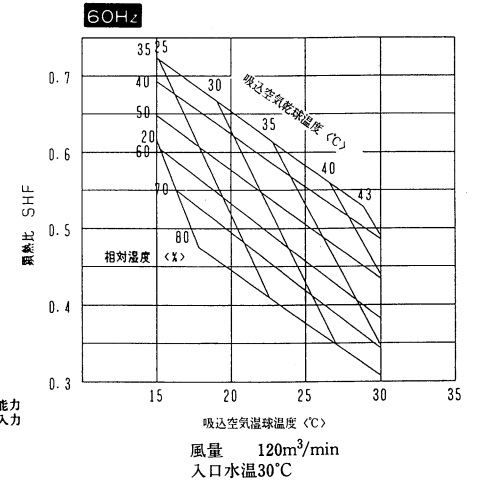
凝縮器特性線図



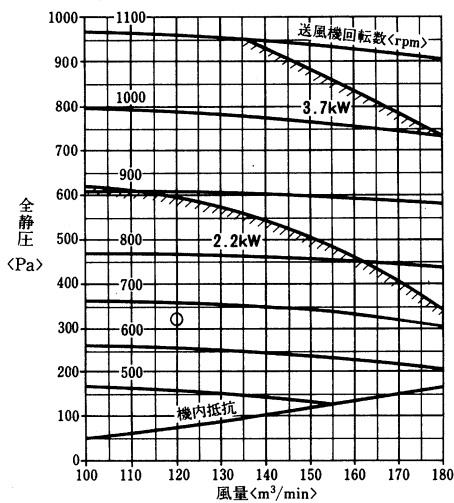
風量補正線図



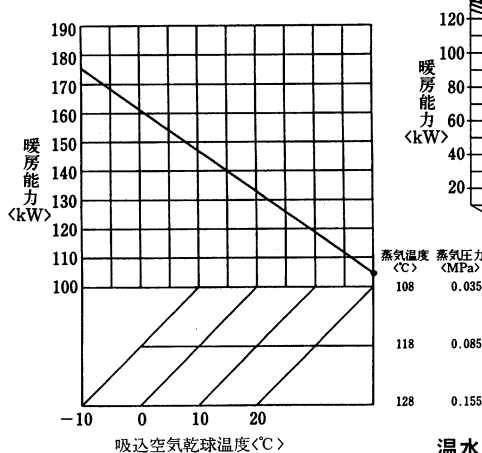
SHF線図



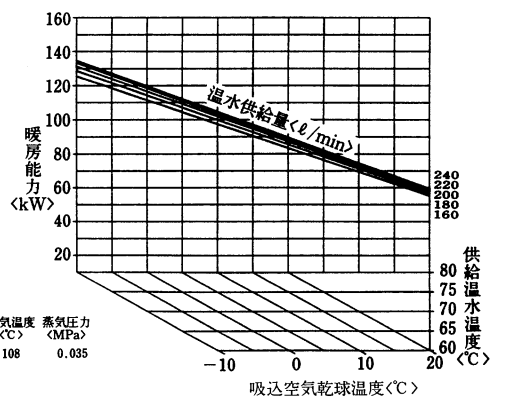
送風機性能線図



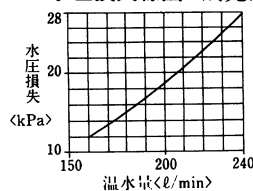
蒸気加熱器能力線図<別売部品>



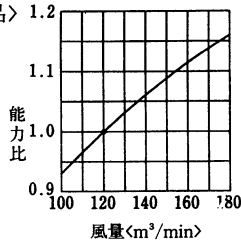
温水加熱器能力線図<別売部品>



温水加熱器 水压損失線図<別売部品>



温水・蒸気加熱器 風量補正線図<別売部品>



使用上の注意<蒸気・温水加熱器>

- 暖房プルアップ時(又は常時)吸い込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結する恐れがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等)
- 冷房中や越冬期で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結する恐れがありますので必ず水抜きを実施してください。

## (7) 騒音

### (a) 騒音値 (A特性値)

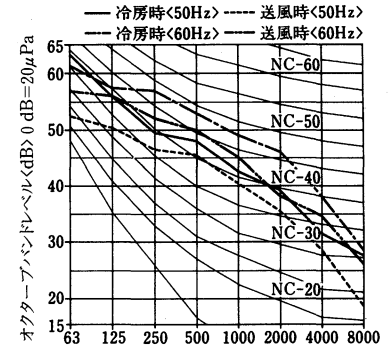
#### 水冷式<PWT-F形><グリルタイプ>

形名	騒音値dB
PWT-J170G-F	49.5/55
PWT-J265G-F	53/57.5
PWT-J335G-F	53/59
PWT-J530G-F	56.5/61
PWT-J710G-F	59/62.5
PWT-J850G-F	63
PWT-J1120G-F	65/64.5

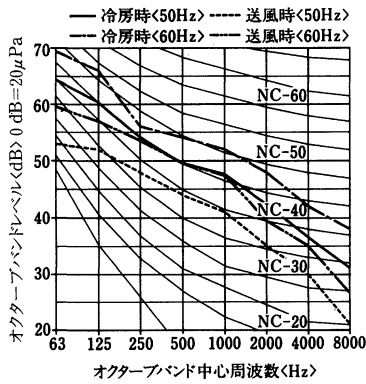
#### 測定方法

試験室におけるユニットの正面1m×高さ1mの位置で測定。

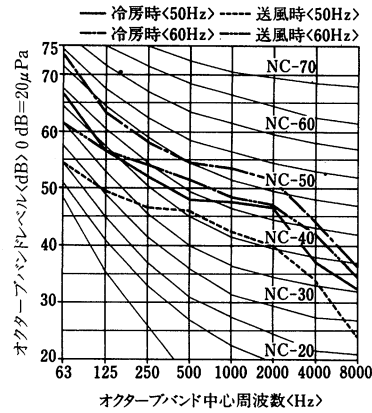
### (b) NC曲線 (グリルタイプ) PWT-J170G-F形



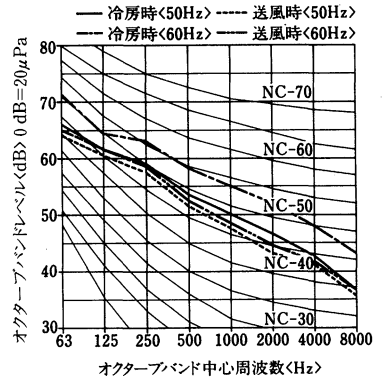
#### PWT-J265G-F形



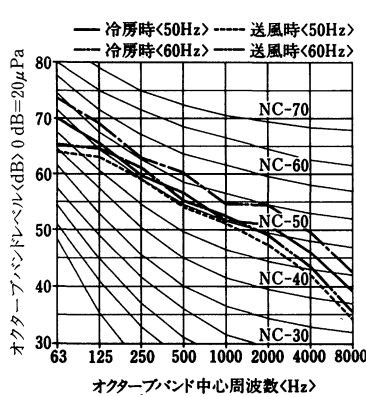
#### PWT-J335G-F形



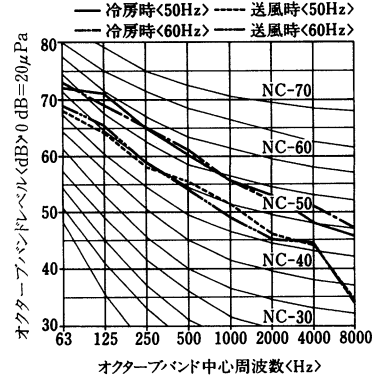
#### PWT-J530G-F形



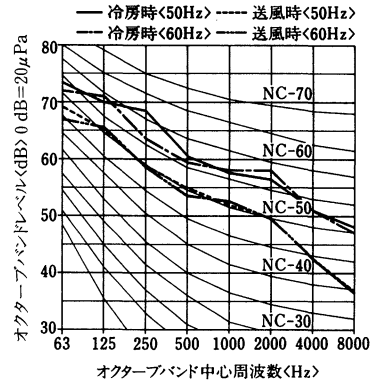
#### PWT-J710G-F形



#### PAT-J670G-F形 PWT-J850G-F形

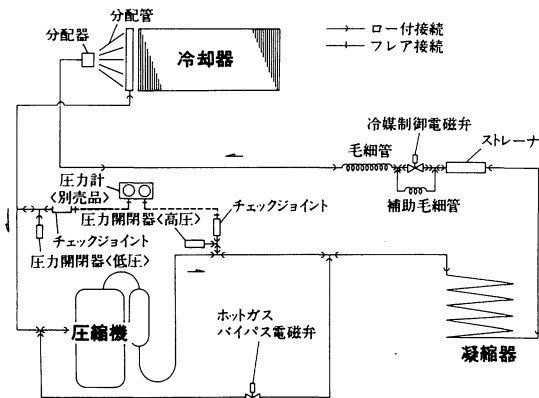


#### PAT-J850G-F形 PWT-J1120G-F形



## (8) 冷媒配管系統図

### PWT-J170G-F形



注. PWT-J530・710G-F形は本図の冷媒回路を2系統使用しています。

汎用・中温用・産業用エアコン  
(オールフレッシュユ用)

## (9) 据付関係資料

### (a) 据付工事

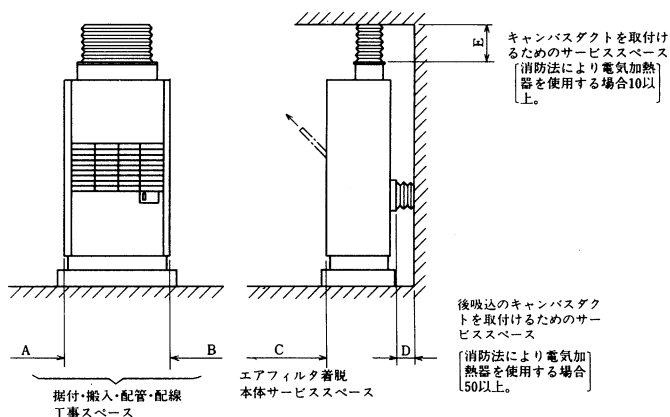
#### (I) PWT-F形

##### (イ) 室内ユニット

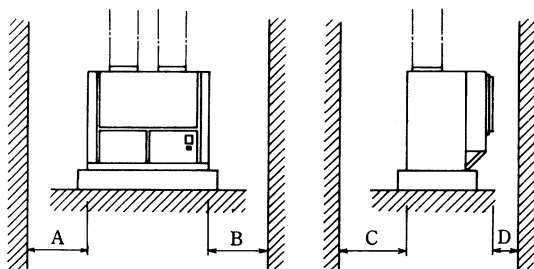
###### ① 据付上の注意

オールフレッシュ用パッケージエアコンの稼働時間は、一般空調に比べて若干長く定期的な保守・点検の実施は必ず必要であり、このためパッケージエアコンの周囲には、機器ごとに異なりますがサービススペースをとることが必要になります。

###### ② 据付スペース PWT-J170~J335G-F、PWT-J530~J710G-F形



###### PWT-J850G-F、J1120G-F形



形名	項目	A	B	C	D	E
PWT-J170~335G-F						
PWT-J530・710G-F		600	600	1,000	50	300
PWT-J850・1120G-F		900	1,200	1,000	400	—

#### (II) PWT-F形 〈ダクト専用形〉

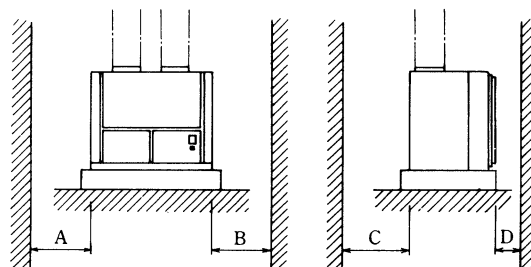
##### (イ) 据付上の注意

大形パッケージでは一度据付けると、その位置を簡単には変更できないのが普通です。据付後の運転・取扱いに便利のように見積設計時点で十分に検討を加えておく必要があります。特にサービススペースについては機械室の大きさを決定する際、ユニットの外形寸法に加えて考慮し、後々のサービスに不便のないようにしてください。また、室外ユニットにおいては、騒音の問題も考慮する必要があります。

##### (ロ) 据付スペース

室内ユニットの設置は、強固な床面と冷媒配管を室外へ出し易い場所を選定してください。保守、サービスができるように、右上図に示したスペースを本体の周囲に取ってください。また、風路に障害物がないように設置してください。

- 前面のサービススペース〈圧縮機交換および制御箱点検のため〉
- 後面スペース〈風吸込スペース、ドレン配管スペース〉
- 側面スペース〈エアフィルタの取出、配管、配線〉



形名	項目	A	B	C	D
PWT-J850G-F		900	1,200	1,000	400
PWT-J1120G-F		900	1,200	1,000	400

● 〈 〉寸法は軸を抜き出すために必要なスペースです。

##### (ハ) 据付台

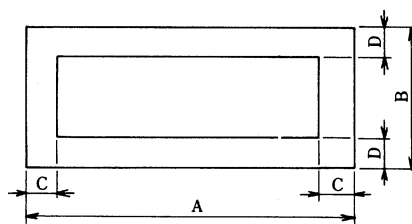
###### ● PWT-J170~710G-F

###### ① 室内ユニット

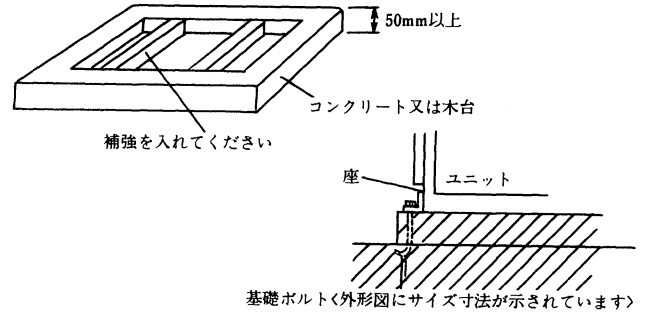
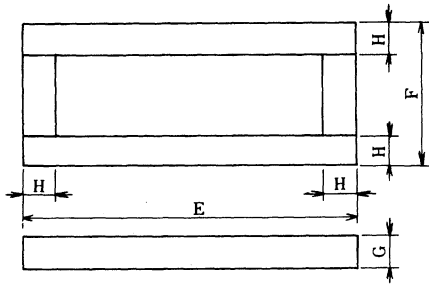
室内ユニットを据付ける場合、機械室ドレン配管の施工を容易にし、防振効果をあげるため床面とエアコンの間に据付台を設ける場合があります。

エアコンと据付台の間に防振ゴムパット等を入れると防振に対し一層効果的です。

###### 製品底フレーム寸法図

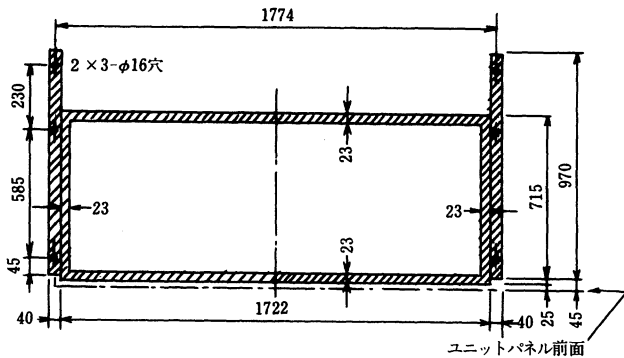


据付台寸法図<別売部品：PAC-CQ31MD～CQ35MD>



形名	製品底フレーム寸法				据付台寸法			
	A	B	C	D	E	F	G	H
PWT-J170G-F	962	456	25	25	970	460	85	40
PWT-J265G-F	1,182	456	25	25	1,190	460	85	40
PWT-J335G-F	1,402	456	25	25	1,410	460	85	40
PWT-J530G-F	1,621	605	28	25	1,630	610	98	40
PWT-J710G-F	1,841	605	28	25	1,850	610	98	40

●PWT-J850G-F・J1120G-F形



印部分はユニット台枠下面が基礎に接触する部分を示します。  
 <寸法は、25HP、30HP全機種共通です。>

ユニットを機械室に据付ける際、木台またはコンクリートの台をつくり、その上に据付けてください。据付台は図のようにしてください。また、床へ振動が伝わるのを特に避けたい場合には防振パッドをユニットと据付台の間に敷いてください。またユニットには4ヵ所固定用の座が取付けられておりますので基礎ボルトを使ってユニットを固定してください。

(二)マンホール

空調機を数シーズン運転すると、段々に冷えが悪くなるという現象がよく見受けられます。これは空気冷却器が汚れて伝熱効果が悪くなるためです。そこでシーズンオフに冷却器を洗浄するため、吸込ダクトがある場合には必ず「マンホール」を設けてください。

(ホ)ダクト接続

吸込側及び吐出側にはダクトフランジを設けております。このフランジは本体から取り外し可能となっております。<ただし、吸込側は取外し不可>

(ハ)その他 ポンプインターロック<63PW>

冷却水ポンプが運転を始めて冷却水が流れなければ圧縮機が始動しないようにするため、「ポンプインターロック」結線を必ず行なってください。<冷凍保安規則による>。見積計画時点で必ず考慮してください。<詳しくは電気配線図をご参照ください>。



## (b)冷媒配管工事

### (I)水冷式〈PWT-F形〉

#### 配管接続方向および寸法表

項目	形式		床置形〈ダクトタイプ〉					
	形式名		PWT-J170G-F	PWT-J265G-F	PWT-J335G-F	PWT-J530G-F	PWT-J710G-F	
水配管	冷却水出入口	B	左右1	左右1½	左右1½	左右1½	左右2	
	ドレン	B	—	—	—	—	—	
	冷却器	B	左右1	左右1	左右1	左右1½	左右1½	
	加熱器	B	左右1	左右1	左右1½	左右1½	左右1½	
	蒸気出入口	B	左右1	左右1	左右1½	左右1½	左右1½	
	ペーパーパン	B	左右1	左右1	左右1½	左右1½	左右1½	
	加湿器	高圧スプレー式	B	左右½おす	左右½おす	左右½おす	左右½おす	左右½おす
		超音波式	B					
		水スプレー式	B					
		蒸気スプレー式	B					
配線	電熱器	φ	左右52	左右52	左右52	左右52	左右52	
	加湿器	φ	左右27	左右27	左右27	左右27	左右27	
	別売部品制御回路	φ	左右27	左右27	左右27	左右37	左右37	
	主電源	φ	左右43	左右43	左右43	左右52	左右52	
	アース端子	φ	電気品箱5ねじ	電気品箱5ねじ	電気品箱5ねじ	電気品箱5ねじ	電気品箱5ねじ	

### (II)水冷式ダクト専用形

#### 配管接続方向および寸法表

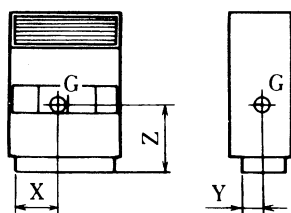
項目	形式		床置形	
	形式名		PWT-J850G-F	PWT-J1120G-F
水配管	冷却水	B	2½<左右>	2½<左右>
	ドレン〈冷却器〉	B	1½<後>	1½<後>
	加熱器〈温水・蒸気〉	B	2<左右>	2<左右>
	加湿器〈水・蒸気〉	B	1<左右>	1<左右>
配線	主電源	φ	62<左右>	62<左右>
	アース端子	ねじ	M6<後>	M6<後>

注1. 詳細は外形図をごらんください。

## (c)重心位置

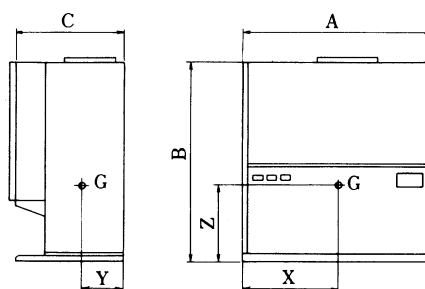
### ●室内ユニット

#### PWT-F形



形名	重心		
	X	Y	Z
PWT-J170G-F	430	215	700
PWT-J265G-F	530	215	705
PWT-J335G-F	635	215	710
PWT-J530G-F	810	290	790
PWT-J710G-F	915	270	800

#### PWT-J850・J1120G-F形



形名	項目	A	B	C	X	Y	Z
PWT-J850G-F		1,750	1,850	1,018	870	420	740
PWT-J1120G-F		1,750	1,850	1,018	870	410	710